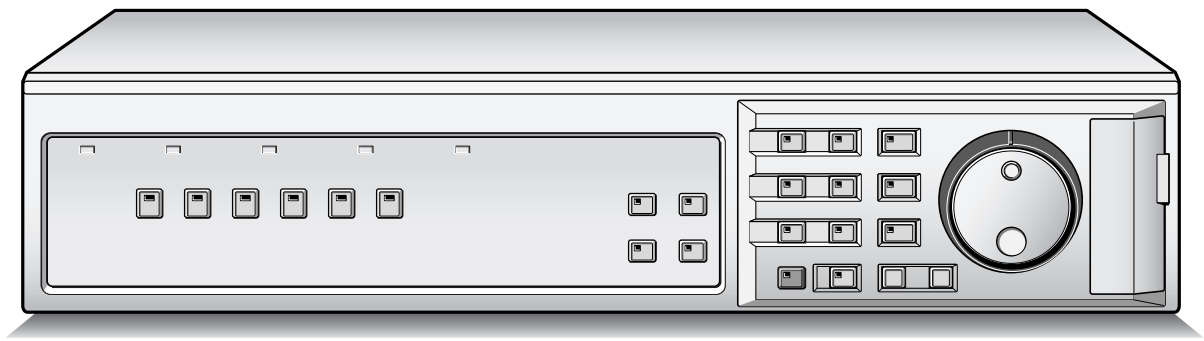
取扱説明書

SANYO

フレームスイッチャー機能付き
ハードディスクデジタルレコーダー
品番 VDH-F610A

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
また、後々のために『保証書』とともに大切に保管してください。



- 製造番号は、品質管理上、重要なものです。
- お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。
- 取扱説明書、本体、定格板には色記号の表示を省略しています。

目次

はじめに

安全上のご注意 3
安全のため必ずお守りください 3
正しくご使用いただくために必ずお守りください 5
主な特長 7
付属品 7
各部のなまえとはたらき（前面部） 8
各部のなまえと接続（後面部） 10
一般接続 10
アラーム接続 11
ネットワーク端子の接続（LAN） 11
コントロール端子 12

使いかた

操作前の準備 13
本機の電源を入れる 13
時刻設定 13
操作表示部 14
ライブ映像を色々な分割画面で見る 15
他の1画面に切り換える 15
4画面にして、切り換える 15
マルチ画面にする 15
■ プラス画面を再生状態にする 15
分割画面で必要な画面を拡大する 15
画面を自動的に切り換える 16
モニタ2端子に接続したモニターで見る 16
ハードディスクに映像を録画する 17
記録フォーマットの確認 17
通常録画（通常記録領域） 17
録画した映像を見る（通常記録領域） 18
再生について 18
1画面で見る 18
再生中に早送り/早戻しをする 18
再生スピードを変えて見る 19
静止画で見る 19
コマ送り（正逆）で見る 19
映像を拡大して見る 20
4画面で見る 20
マルチ画面で見る 20
録画した映像を日時などで指定して見る 21
A アラームサーチ 22
B アラームサムネイルサーチ 22
■ プリアラームの映像を見るには 22
C 日時サーチ 23
■ プリビュー画面を再生する 23
D バックアップ領域のサーチ 24
E モーション検出サーチ 24
■ プリビュー画面で確認する 26
■ 通常の再生画面で見る 26
録画した映像をメディアなどにコピーする 27
A 通常記録領域またはアラーム記録領域の映像をバックアップ領域にコピー（例：10秒）する 28
B 内蔵ハードディスクの映像をCFカードまたはマイクロドライブにコピー（例：10枚）する 29
C CFカードまたはマイクロドライブの映像をパソコンで見たり印刷したりする 30
CFカードのフォーマット 31
CFカードにコピーした映像をパソコンで見る 31

設定のしかた

メインメニュー構成 32
基本設定 33
メニュー構成 33
■ 初期設定画面の表示のしかた 33
A 外部時刻設定 34
B カメラ検出 34
C タイトル設定 35
D 休日設定 35
E 時刻周期設定 36
■ 各操作の時刻周期を変更する場合 37
■ 時刻周期の時刻設定について 37
記録設定 38
メニュー構成 38
■ 記録設定画面の表示のしかた 38
A 簡易記録のメニュー説明 39
A-1 簡易記録設定1 40
A-2 簡易記録設定2 41
B 記録領域画面のメニュー説明 42
■ 記録領域の容量を確認する 42
B-1 通常記録領域とアラーム記録領域の変更 43
B-2 バックアップ領域の記録再開許可 44

C 記録条件設定のメニュー説明 45
■ ディスク残量警告について 45
C-1 記録領域の上書き記録設定 46
C-2 記録領域の保存期間の設定 46
D 通常記録設定のメニュー説明 47
D-1 通常記録領域の設定 47
E プログラム記録設定のメニュー説明 48
E-1 プログラム記録設定 48
F タイマー設定のメニュー説明 49
■ タイマー録画について 49
■ タイマー設定が重なった場合 49
■ 各曜日、毎日が重なった場合 49
■ タイマー予約の削除 49
F-1 曜日（毎日、同時間、同記録レート）毎の
タイマー録画 50
■ タイマー録画をプログラム設定する 50
F-2 毎日（24時間以上）のタイマー録画 51
F-3 外部タイマー（アラーム）録画 52
■ タイマー録画をプログラム設定する 52
G アラーム記録設定のメニュー説明 53
G-1 アラーム記録設定 54
G-2 プリアラーム記録設定 55
G-3 アラームトリガーの設定 55
G-4 モーションセンサーの説明 56
G-5 モーションセンサー設定 57
H アラーム動作/表示設定のメニュー説明 58
H-1 アラーム動作設定 59
H-2 アラーム表示設定 59
■ アラームを解除する 59

一般設定 60
メニュー構成 60
■ 一般設定画面の表示のしかた 60
A データ表示設定/VIDEO LOSS設定 61
B ブザー表示 62
C セキュリティーロック画面のメニュー説明 63
C-1 本機を管理者と使用者でパスワードを設定する 63
C-2 セキュリティーロックの設定 64
C-3 セキュリティーロックの解除 64
■ パスワード設定後の操作表 65
■ パスワード設定例 66
D ハードディスク設定のメニュー説明 67
■ ハードディスクの増設について 67
D-1 ハードディスクの初期化 67
E ネットワーク設定 68
E-1 ネットワークのパスワードを変更する 68

画面設定 69
メニュー構成 69
■ 画面設定画面の表示のしかた 69
A 分割画面を並び換える 70
B メインモニターとモニター2のライブ映像を同じ
時間間隔（例：5秒）で自動的に切り換える 71
B-1 メインモニターとモニター2のライブ映像を
個別の時間間隔で自動的に切り換える 71
B-2 メインモニター（1画面）のライブ映像を個別の
時間間隔、モニター2のライブ映像を同じ
時間間隔（例：3秒）で自動的に切り換える 72
B-3 時刻周期設定の時間帯でモニターを
表示させないカメラを設定する 72
C 特定のライブ映像を見えなくする 73
D ライブ映像の色調を調整する 74

停電情報／使用時間 75
A 停電情報／使用時間画面のメニュー説明 75
A-1 情報を確認する 75

初期化履歴 76
A 初期化履歴画面のメニュー説明 76
A-1 履歴を確認する 76

メニューコピー 77
A メニュー設定コピーの説明 77
A-1 CFカードにメニュー内容を保存する 77
A-2 CFカードに保存されたメニュー内容を
他の同機に読み込む 78

その他

仕様 79
記録レートと録画時間一覧表 80
記録レート設定／プリアラーム録画時間一覧表 82
プッシュロック端子仕様 83
アフターサービスについて 84

安全上のご注意

安全のため必ずお守りください

この**安全上のご注意**は、安全な使いかたを理解していただくため、記号（絵表示）を使って、わかりやすくまとめています。

■絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容（左図の場合はACアダプターの電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告

■煙が出ている、変な音やにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げ販売店または工事店に修理をご依頼ください。
お客さまによる修理は危険ですから絶対におやめください。

■分解したり、改造しない

内部に手を触れると危険なうえ、火災、感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は、お買い上げ販売店または工事店にご依頼ください。

■ぬらさない

- 本機は防水構造になっていませんので、ぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。
  風呂場、シャーワー室では使用しないでください。
- 万一内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店または工事店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。

■雷が鳴り出したら使わない

雷が鳴り出したら使用しないでください。特に接続ケーブルには絶対に触れないでください。感電の原因になります。

■不安定な場所に設置しない

- 落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。
- 万一落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または工事店にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

⚠警告

■ 衝撃や振動を与えない

衝撃、振動が加わるとハードディスクが故障して、データが破損する恐れがあります。

■ 爆発の危険があるところでは使わない

可燃性ガスおよび爆発性ガスが、大気中に存在するおそれのある場所では、使用しないでください。引火、爆発の原因となります。

■ 電源電圧100V以外の電圧で使用しない

火災、感電の原因となります。

■ 国外では使用しない

使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
(This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

⚠注意

■ 搬送・持ち運びについて

- 通電中は本機の移動は絶対に行なわないでください。
- 搬送する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルを外したことを確認して、ご購入時の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできだけ衝撃や振動の少ない方法で行なってください。また、落下しないようにご注意ください。

■ お手入れの際、長期間使用しない場合

電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したままお手入れすると、感電の原因となることがあります。

■ 内部の掃除について

内部の掃除については、お買い上げ販売店または工事店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災、故障の原因となることがあります。

⚠注意

■ 通風孔や放熱ファンをふさがない

- 本機はハードディスクなどによる放熱を換気するために通風孔や放熱ファンを設置しています。
  本機にカバーを掛けたり、ケースや本棚などで覆うと内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

本機をラックに設置する場合は、本機と壁面間などに隙間を開けてください。

- 上下間は1cm以上の隙間を開ける
- 左右・後面間は5cm以上を開ける

■ 急激な温度・湿度変化の場所に置かない

- 急激な温度（毎時10℃以上）変化および湿度変化の激しい場所には置かないでください。

■ 設置場所の注意

本機は精密な電子部品で構成しています。次の様な場所での設置は、動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

- 直射日光が当たる場所
- 水にぬれやすい場所
- 冷暖房器具や加湿器に近い場所
- エアコンなどの冷風が直接当たる場所
- ほこりやちりの多い場所
- 火気のある場所
- 磁気を持っているものに近い場所
- 揮発性物質のある場所
- 常に振動のある場所や車や列車など

■ 露つき（結露）のご注意

よく冷えた水をコップに注ぐと、コップのまわりに水滴がつきます。これと同じように、本体内部にも水滴がつくことがあります。このような状態を露つき（結露）といいます。

結露状態では動作させない

結露が起きた状態で動作させると故障の原因となることがあります。急激な温度変化があった場合は、電源を切り、設置場所の温度が安定（約2時間）するまで待ってから動作させてください。
通電時は露つきは起こりません。

露つきが起こりそうなときは・・・

本機の電源を切って、1～2時間放置してからご使用ください。

正しくご使用いただくために必ずお守りください

■ ハードディスクについて

本機には**ハードディスク**を搭載しております。本機に衝撃や振動が加わると、ハードディスクが故障し、データが破損する恐れがあります。
本機を設置・移動・操作を行なうときは、以下の事項を必ずお守りください。

⚠警告

☐ **本機は横置き型です。絶対に縦置きはしない**

☐ **通電中は絶対に衝撃や振動を与えたり、移動させない**

ラックなどの出し入れ時も必ず電源は切ってください。

☐ **録画や再生中は絶対にコンセントは抜かない**

☐ **電源を切ってから約30秒間は動かさない**

電源を切っても、しばらくの間はハードディスクは回転しています。この間は通電中よりもさらに衝撃や振動に弱い状態ですので、絶対に動かさないようにしてください。

☐ **衝撃や振動を与えない**

本機を床などには置かないでください。やむを得ず置く場合は、本機底面に備え付けの4箇所のスタンド（足）が付いていることを確認して丁寧に置いてください。

☐ **搬送時は必ず購入時の梱包材を使用すること**

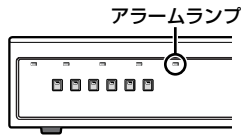
本機ならびに単品のハードディスクなどを搬送する場合は、ご購入の際の梱包材料で梱包してください。また、搬送時はできるだけ振動の少ない方法で行なってください。

⚠注意

☐ **ハードディスクと放熱ファンの自動動作確認**

前面部のアラームランプ点滅状態で、機器の状態の確認ができます。点滅状態を確認してから販売店にご相談ください。

- **消灯**：正常動作中
- **早い点滅**：ハードディスク異常
- **遅い点滅**：放熱ファン異常



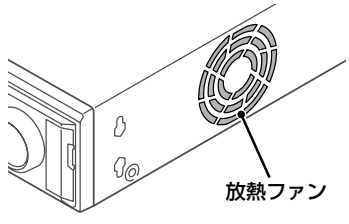
☐ **主要部品の交換時期**

本機を周囲温度25℃の環境下で連続してご使用した場合は、使用環境により部品が摩耗したり劣化します。本機の性能を維持させるためにも下記の年数を目安に交換をお勧めします。交換年数は目安であり、部品の性能を保証するものではありません。

- **ハードディスク**：2年
  ヘッドやモーターが摩耗・劣化します。交換時はダンパー（振動吸収部品）も同時に交換することをお勧めします。
- **放熱ファン**：3年
  ファンが正常に動作しなくなると、内部温度が上昇し、ハードディスクが不具合となる原因となります。

ハードディスクの交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

- ハードディスクは静電気に弱いため、必ず静電対策を行なってください。
- 梱包していないハードディスクは基板面を上にして柔らかい物の上に水平に置いてください。ハードディスクに衝撃や振動が加わると故障することがあります。
- ハードディスクを交換時に、ネジの締め付けや取り外しによる衝撃や振動を与えないでようにしてください。交換後はしっかりとネジを締め付けてください。



ハードディスクの取り扱いについて

■ 磨耗・劣化する部品の交換時期

ハードディスクは、使用環境により寿命は異なりますが、磨耗劣化する部品です。
25℃の環境下でご使用された場合、通電時間が2年を越えるころより、書込みエラー等が発生しやすくなり、さらに経過するとヘッドやモータの劣化等により寿命に至る場合があります。
より安心してご使用いただく為には、機器周囲温度を25℃に保ち、2年を目安に交換することをおすすめします。
（ただし、この時間はあくまで目安であり、寿命を保証するものではありません。）

■ ハードディスク寿命について

ハードディスクは精密機器ですので、衝撃を与えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
① 衝撃・振動はハードディスクの故障の原因になります。
② 電源をいれた時や電源を切った直後（30秒間）はハードディスクの動作が安定しておりませんので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。
③ 放熱穴をふさいだり、放熱ファンを止めないようにしてください。機器内部の温度が上昇しますと、ハードディスクの寿命が短くなります。

■ バックアップバッテリーについて

- 本機にはリチウムバッテリーが内蔵（固定）されています。日付と時刻をセットしてから、48時間以上電源を入れますと、電源プラグを抜いた場合でも30日以内は時計機能が維持されます。
- バッテリーの寿命は充放電を繰り返し使用した場合で約5年です。
- バッテリーの液漏れ処置について
  万一、液漏れが発生し、液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。
  目に入ったときは、失明の恐れがあります。こすらずに、直ぐにきれいな水で洗ってから、医師にご相談ください。
  液漏れの発生や寿命の場合は、次の症状になります。お取り替えについては、お買い上げの販売店またはお近くの「修理相談窓口」にお問い合わせください。
  - **電源が切れると、時計が自動的にリセットされる**
  - **自動待機状態に戻らない**
  - **見ていた映像の番号を覚えなくなる**

本機を処分される場合は
リチウムバッテリーの処理方法もお買い上げの販売店にご相談ください。

■ 長時間使用しないとき

電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて作動させてください。

■ 録画内容は事前に確認してください

本機もしくは接続機器などの不具合などより、録画や再生ができない場合がありますので、**必ず事前に録画を行ない、正常に再生されることを確認してください。**録画内容などについての保証はできません。
万一の故障や事故による映像の破損を防ぐためにも、定期的にバックアップを行なうか、ミラーリングをお勧めします。

■ 本機のお手入れ

電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて柔らかい布で汚れを軽くふき取る

汚れがひどいときは…

水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げる

ご注意

- お手入れの際、ベンジン・シンナーは使用しないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 本体に殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■ 著作権について

- 本書およびソフトウェアは三洋電機株式会社の著作物です。
- 本書に記載されているブランドおよび商品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

著作権を有する映像などを記録する際は、個人として使用するほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 個人情報の保護について

カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で個人を特定できるものは個人情報となります。個人情報の取扱いは個人情報保護法によりシステムを運用する方の責務となりますのでご注意ください。

主な特長

■本機は、監視カメラ映像を内蔵のハードディスクに録画できます。録画中にカメラ映像を分割画面（4/6）で表示したり、録画した映像も分割画面で表示できます。

■大容量ハードディスク（160GB）の標準搭載により、長時間録画ができます。さらに、別売のハードディスク（80/250/300GB）の増設ができます。

■充実した録画・再生機能を搭載

- 録画と同時に、再生が可能。
- タイマー録画により、曜日ごとに異なる録画が可能。
- 監視中および再生中の映像を拡大して表示するズーム機能。
- 不審者の行動を録画するアラーム録画。
- 特定のカメラの映像をグレーパターンで覆い、モニターできなくするマスク機能。
- 各カメラにモーションセンサー検知が可能です。さらに動きのある被写体を優先的に録画したりアラーム動作が可能。

■見たい映像が瞬時に表示できる検索機能(P21)

- アラームの発生順によるアラームサーチが可能
- アラームのサムネイルによるアラームサーチが可能
- 録画した日付・時間で検索する日時サーチが可能
- バックアップ領域のサーチが可能
- 侵入者の動きを検索するモーション検出サーチが可能

■2段階のセキュリティーロックにより使用者を制限して、データと機器の管理が可能(P63)

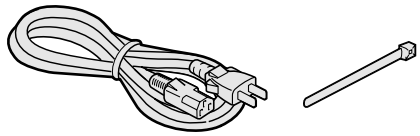
■拡張性が高いためコンピュータとの連携が可能

- 録画した画像を、コンパクトフラッシュ（CF）カードにコピーすることができます。
- CFカードまたはマイクロドライブに保存された画像を、パソコンで見たり、印刷したりできます。
- 後面のLAN端子との接続により、ネットワークコントロールが可能です。本機のライブ映像監視、再生・サーチやメニュー設定ができます。
- メインモニターとモニター2端子により2台のモニターで同時に監視することができます。メインモニターでは分割画面表示が可能ですが、モニタ2では1画面でしか監視することができません。

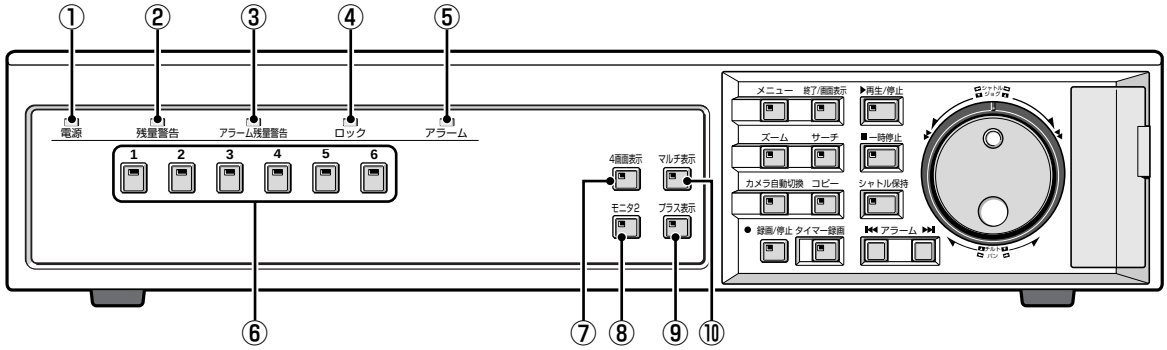
付属品

次の部品が入っているかをご確認ください。

- 簡易操作説明書
- 本体取扱説明書
- ネットワーク接続による遠隔操作説明書
- 電源ケーブル／フィクサー



各部のなまえとはたらき（前面部）



①電源ランプ

付属の電源コードを後面の電源ソケットに接続してください。

点灯：本機後面の電源スイッチを「入」にしたとき
消灯：本機後面の電源スイッチを「切」にしたとき

②残量警告ランプ（通常記録領域用）(P45)

点灯：ハードディスクの記録ができなくなったとき
点滅：ハードディスク残量が指定した数値以下になったとき
消灯：ハードディスクの初期化や上書き許可でディスク残量をリセットしたとき

③アラーム残量警告ランプ（アラーム記録領域用）(P45)

点灯：ハードディスクの記録ができなくなったとき
点滅：ハードディスク残量が指定した数値以下になったとき
消灯：ハードディスクの初期化や上書き許可でディスク残量をリセットしたとき

④ロックランプ（セキュリティー用）(P64)

点灯：セキュリティーロックにより、操作がロック状態になっているとき
消灯：ロック解除のために正しい管理者のパスワードを入力したとき（ブザーがなります）

⑤アラームランプ

早い点滅：ハードディスク異常時
遅い点滅：放熱ファン異常時
消灯：正常動作中
点滅の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

⑥カメラ選択ボタンとランプ

点灯：カメラを選択したとき（マルチ画面を選択したときは複数点灯）
点滅：VIDEO LOSSの検出やアラームを検出したとき

⑦4画面表示ボタンとランプ(P15)

点灯：4画面を表示中
消灯：他の操作を選択したとき

⑧モニタ2ボタンとランプ(P16)

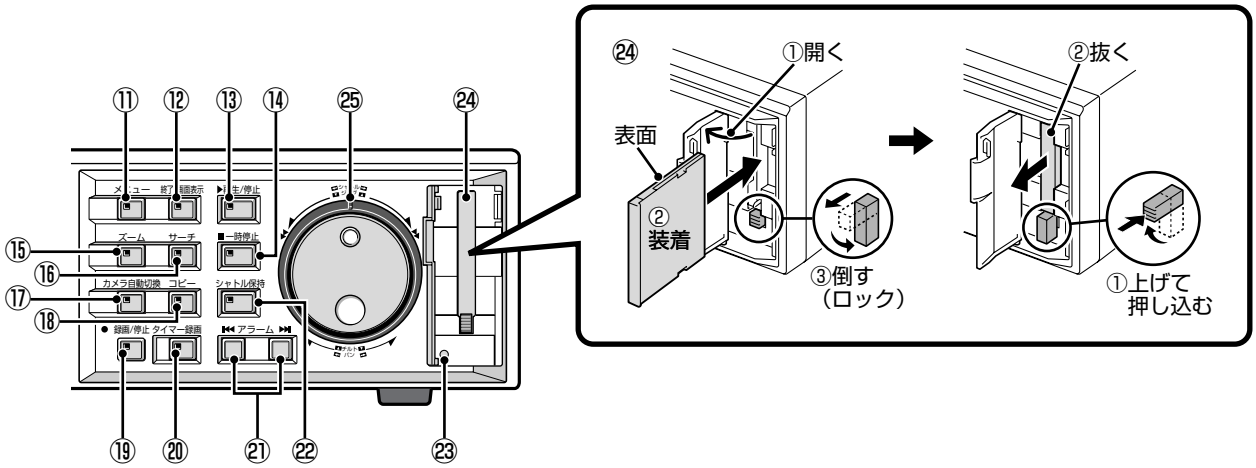
点灯：モニタ2を監視中
消灯：他の操作を選択したとき

⑨プラス表示ボタンとランプ(P15)

点灯：マルチ画面（6）を表示中に、1台のカメラ映像だけを4画面分のサイズに拡大したとき
消灯：もう一度、プラス表示ボタンを押したとき

⑩マルチ表示ボタンとランプ(P15)

点灯：6画面を表示中
消灯：他の操作を選択したとき



⑪ **メニューボタンとランプ**
点灯：メニュー画面を表示中
消灯：終了/画面表示ボタンを押したとき

⑫ **終了／画面表示ボタンとランプ**
点灯：メニュー画面などからライブ映像や再生画面に切り換えたときや、ライブ映像や再生画面でＣＨ（チャンネル）情報や動作情報を画面に表示中
消灯：メインメニュー画面などを表示中やチャンネル情報や動作情報が非表示のとき

⑬ **再生／停止ボタンとランプ（▶）**
点灯：ハードディスクなどに記録された映像を再生中
消灯：再生を停止したとき

⑭ **一時停止ボタンとランプ（⏸）**
点灯：静止画にしたとき
消灯：もう一度押したとき（解除）

⑮ **ズームボタンとランプ**
点灯：デジタルズーム操作中
消灯：デジタルズーム操作を解除したとき

⑯ **サーチボタンとランプ**
点灯：録画した映像を検索中
消灯：検索画面を終了したとき

⑰ **カメラ自動切換ボタンとランプ**
点滅：ライブ映像を自動的に切り換え中
消灯：もう一度押したとき（解除）

⑱ **コピーボタンとランプ**
点灯：録画した映像をバックアップ領域や他の記録メディアにコピー中
消灯：コピー終了および解除したとき

⑲ **録画／停止ボタンとランプ**
点灯：通常の録画中（3秒以上押すと録画／停止ランプが消灯）
消灯：録画を終了したとき

⑳ **タイマー録画ボタンとランプ**
点灯：タイマー録画中または待機中
消灯：もう一度押したとき（解除）

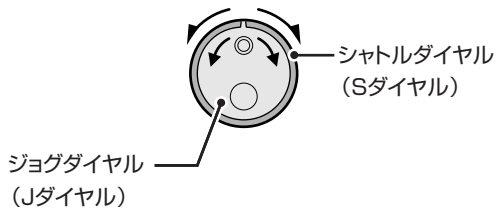
㉑ **アラームボタン（⏮/⏭）**
再生中、または一時停止中に押すと、直前または直後のアラーム映像にスキップします。

㉒ **シャトル保持ボタンとランプ**
点灯：シャトルダイヤルの回転角度を固定中
消灯：もう一度押したとき（解除）

㉓ **メニューリセットボタン**
メニュー設定後にボタンを押すと、表示中のメニュー数値を初期値に戻します。

㉔ **コンパクトフラッシュカードスロット**
コンパクトフラッシュカードまたはマイクロドライブの挿入方向を確認し、正しく装着してください。

㉕ **操作ダイヤル**



再生中

- ジョグダイヤルで再生速度を変更できます。
- シャトルダイヤルで早送り、早戻し再生ができます。

メニュー画面表示中

- ジョグダイヤルでカーソルの移動や設定値を変更できます。
- シャトルダイヤルで設定の確定ができます。

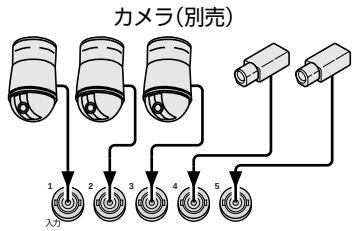
各部のなまえと接続（後面部）

一般接続

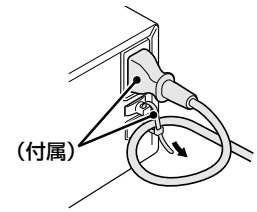
①クリアーボタン
本機に設定している時刻などを初期値に戻すときに押します。

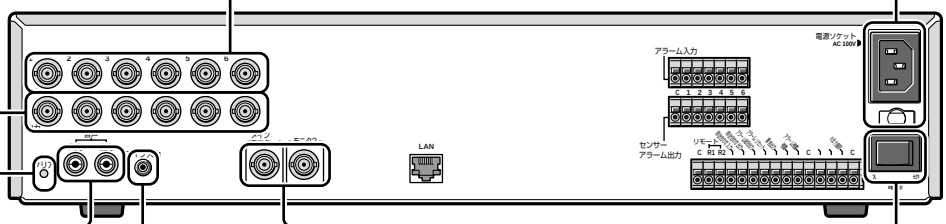
②映像出力端子
映像入力端子の映像を出力します。

③映像入力端子
カメラのライブ映像を入力します。



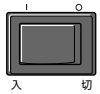
④電源ソケットとケーブルフィクサー
電源ケーブルを電源ソケットにしっかりと差し込み、フィクサーでケーブルフィクサーに固定してください。



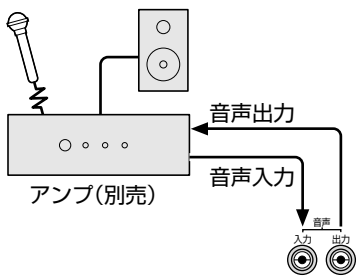


⑥マイク入力端子
外部の音声を入力できます。

⑧電源スイッチ
「入」または「切」側を押してください。

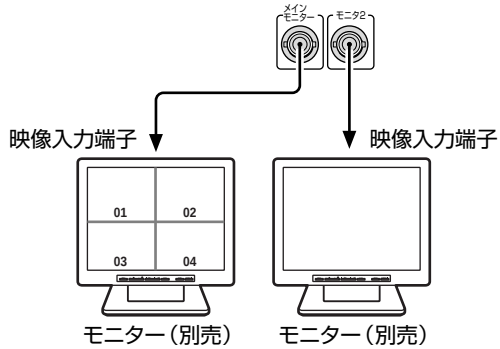


⑤音声入出力端子
アンプを通して、マイクロフォンから外部音声の入力や、外部スピーカで音声を聴くときに接続します。



音声入力端子とマイク入力端子からは、同時に音声を入力することはできません。同時に接続した場合は、マイク入力端子が有効となります。

⑦モニター接続端子
- **メインモニター端子：**
  通常のライブ映像を1画面や分割画面などで見るときに接続します。
- **モニタ2端子：**
  ライブ映像を1画面で見るときに接続します。



モニタ2端子に接続したカメラ映像の同期が不安定な場合は、カメラ映像を切り換えると縦揺れが発生します。

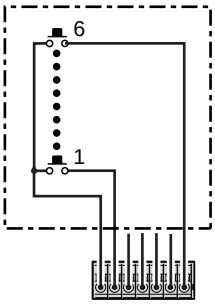
各部のなまえと接続（後面部）

アラーム接続

①アラーム入力端子

本端子にスイッチや防犯センサーなどを接続すると、ドアなどの開閉で侵入者などを検知することができます。

●検知するにはアラーム入力の設定が必要です。（P54）

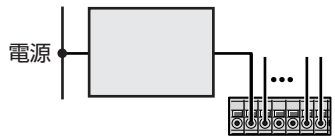


アラーム入力端子に
外部スイッチを
接続する

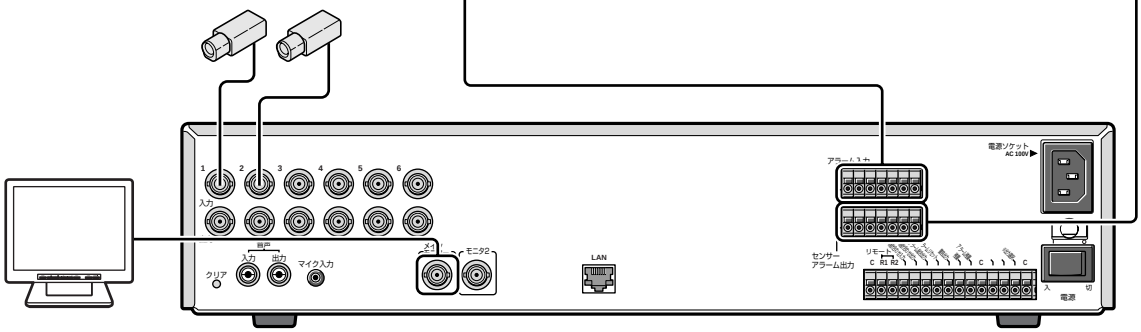
②センサーアラーム出力端子

本機内蔵のモーションセンサーが検知すると、本端子から下記の信号が出力されますので、出力端子にランプなどを接続している場合は、警告灯などとなります。

●使用するにはモーションセンサーの設定が必要です。（P57）



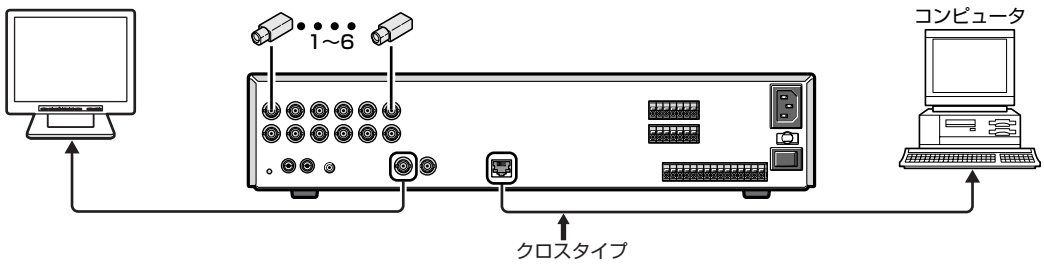
各端子ごとの定格値
- 最大電流　25 mA
- 最大電圧　DC 25 V



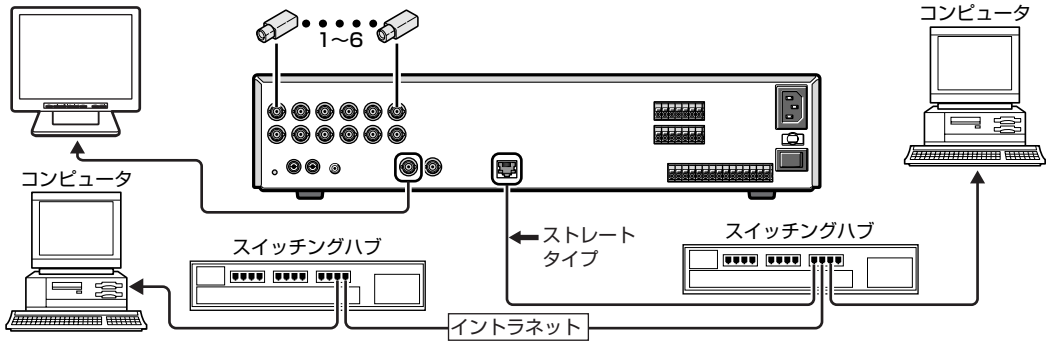
ネットワーク端子の接続（LAN）

LANケーブルは10BASE-T/100BASE-TXカテゴリー5を使用してください。

A パソコンに直接接続する場合（ハブを使用しない）



B イントラネットに接続する場合（ハブを使用する）

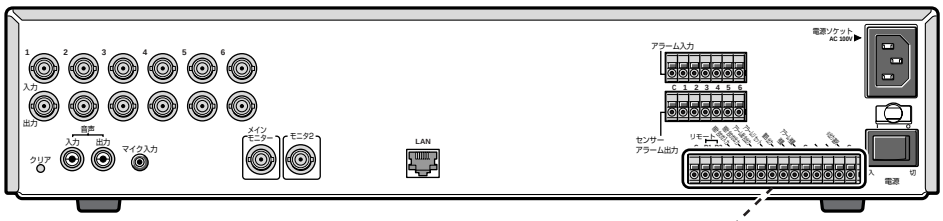


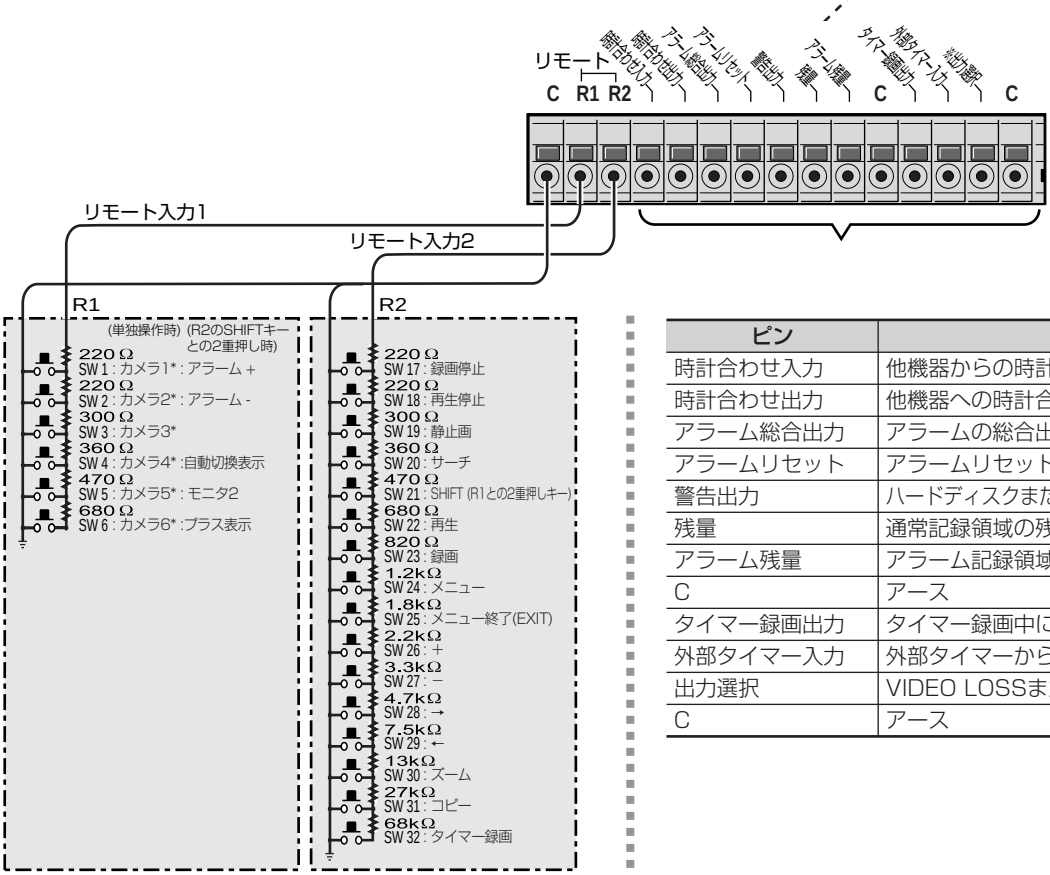
コントロール端子

■リモート（R1、R2、C）端子

本機をリモートコントロールするときは、下記のようにリコモン回路を製作して、リモート端子に接続してください。

- **使用ケーブル**：5m以下
- **使用抵抗**：1/10Ω以上、Dランク（±0.5%以上）





ピン	信号
時計合わせ入力	他機器からの時計合わせ入力
時計合わせ出力	他機器への時計合わせ出力
アラーム総合出力	アラームの総合出力
アラームリセット	アラームリセット入力
警告出力	ハードディスクまたは放熱ファン異常警告出力
残量	通常記録領域の残量警告出力
アラーム残量	アラーム記録領域の残量警告出力
C	アース
タイマー録画出力	タイマー録画中に出力
外部タイマー入力	外部タイマーからの信号入力
出力選択	VIDEO LOSSまたは録画停止の出力選択
C	アース

操作前の準備

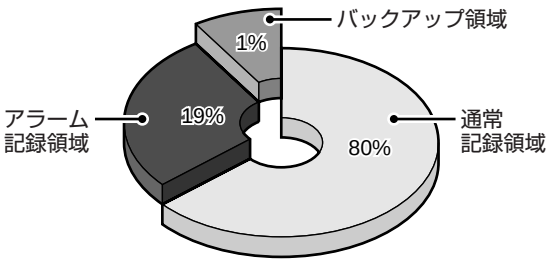
本機の電源を入れる

1 付属の電源ケーブルを接続して、電源を「入」にする

電源ランプが点灯し、モニターに **"時刻を設定しないと記録できません！"** と表示します。

本機は録画した日時で再生や検索をおこないます。
必ず**<時刻設定>**で時刻を設定してください。

- 同時に内蔵ハードディスクには記録領域が自動的に設定されますので、**録画/停止**ボタンを押すと録画を始めます。
  詳細は**「記録領域画面のメニュー説明」**を参照ください。(P42)



（ハードディスク記録領域）

電源投入時や設定時などに、アラームランプが点滅をしている場合は、ハードディスクまたは放熱ファンに不具合が生じています。(P5、8)
- **早い点滅**：ハードディスク異常
- **遅い点滅**：放熱ファン異常

2 時刻設定が終了すると、モニターに「操作表示部」を表示する

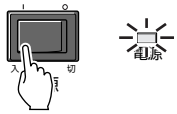
操作表示部には、操作に必要な日付、時刻、操作記号などが表示されます。
(P14)

（操作表示部）

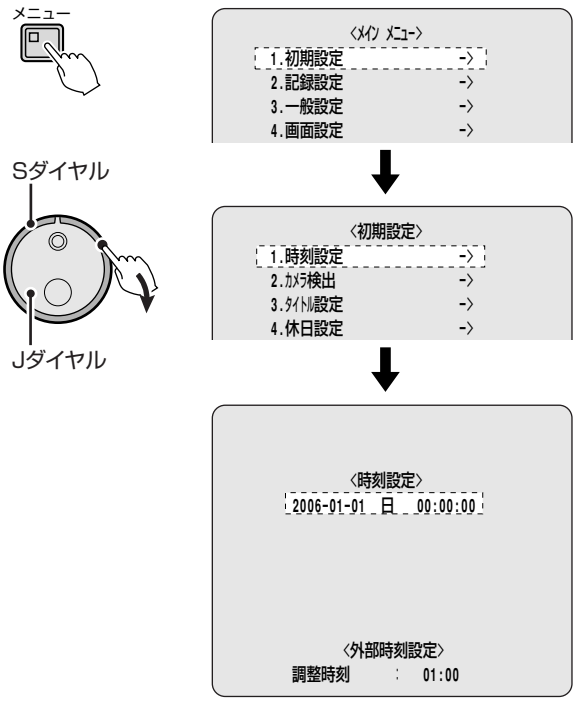
時刻設定

1 後面の電源スイッチを「入」にする

前面部の電源ランプが点灯します。



2 メニューボタンを押して、Sダイヤルを右に2回まわす



3 Sダイヤルを回して時刻を設定する

例：2006年10月26日の8時30分

Jダイヤルで数値を設定して、Sダイヤルを右に回す操作をくり返し設定してください。

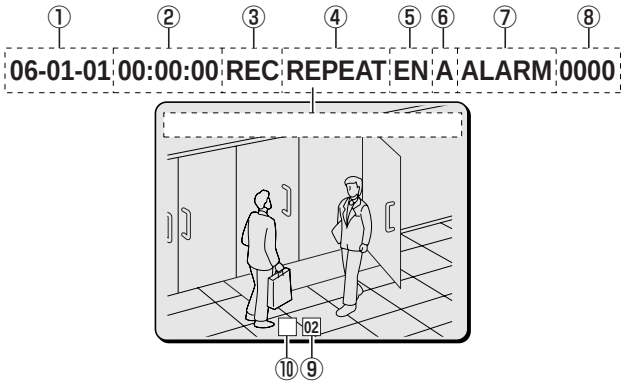
「分」の設定が終了すると、カーソルが〈外部時刻設定〉へ移動し、00秒からスタートします。

- 曜日は自動的に設定されます。
- 時計の設定中は、時刻が停止します。

4 終了するときは、終了/画面表示ボタンを押す

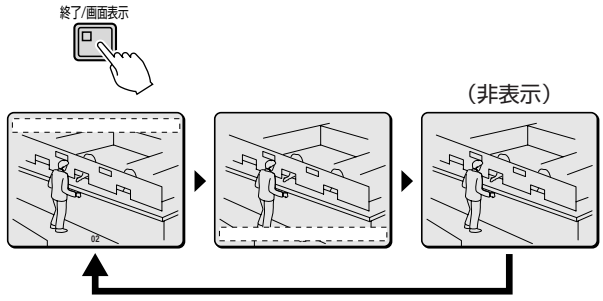
操作表示部

操作表示部には、操作に必要な日付、時刻、画質などを表示または非表示できます。



操作表示部の位置の変えかた

終了/画面表示ボタンを押すごとに、操作表示部の位置が変わります。



① 日付表示

06-01-01（年月日）：初めて電源を入れたときは、必ず時刻設定で日付を設定してください。

② 時刻表示

00:00:00：初めて電源を入れたときは、必ず時刻設定で時刻を設定してください。

③ 操作シンボル

録画や操作中などに表示します。

REC：録画中	▶▶：早送り再生中
EXT：外部タイマー録画中	◀◀：早戻し再生中
◀：逆再生中	▮▮▶：スロー再生中
▮▮：一時停止中	◀▮▮：逆スロー再生中
▶：再生中（録画と再生を同時操作中も含む）	

④ 記録領域の残量（P42）

通常記録、アラーム記録中のみ表示します。

1%～100%：
ハードディスクの上書き禁止設定をした場合は、記録できる容量をパーセントで表示する

REPEAT：
ハードディスクの映像をくり返し上書きする

⑤ 画質表示

ハードディスクに記録される映像の画質を表示します。

BA（Basic）：ラフ画質、約15kB
NO（Normal）：標準画質、約22kB
EN（Enhanced）：準高画質、約30kB
FI（Fine）：高画質、約42kB
SF（Super fine）：最高画質、約50kB

⑥ 音声記録表示（P47：② 音声記録）

A：音声記録がある場合に表示する

⑦ 記録種類

- ALARM：アラーム再生中および待機中
- ALARM（点滅）：アラーム記録中
- PRE：プリアラーム再生中および待機中
- BACKUP：バックアップ再生中

⑧ アラーム回数

アラーム回数を表示する。

⑨ カメラタイトル

- 01～06：
  当初はカメラ番号を表示します。カメラ番号をカメラ設置場所などの名称に変更できます。
- VIDEO LOSS：
  カメラ映像が途切れたときにカメラ番号と交互に表示します。モニターの操作表示部が非表示状態で同じ位置で点滅します。
- NO VIDEO：
  映像入力端子に映像信号が接続されていないときは、カメラ番号の代わりに表示する。

⑩ アラーム種類

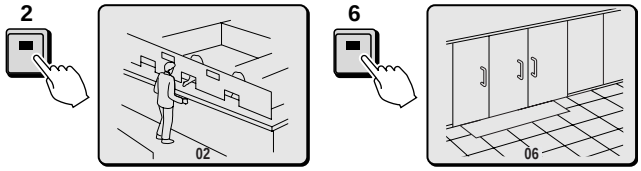
- EA：
  外部アラーム信号を検知したときは、カメラタイトルを交互に表示する
- SA：
  モーションセンサーアラーム信号を検知したときは、カメラタイトルを交互に表示する
- ES：
  外部アラームとモーションセンサー信号を検知しときは、カメラタイトルを交互に表示する

ライブ映像を色々な分割画面で見る

他の1画面に切り換える

見たいカメラのカメラ選択ボタン（例2、6）を押す

カメラ2の映像になり、カメラ6の映像になります。

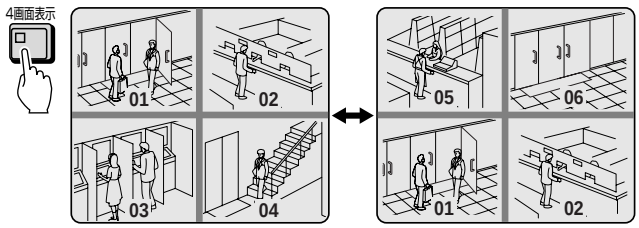


☞ 映像を拡大（ズーム画）するときはP20を参照ください。

4画面にして、切り換える

4画面表示ボタンを押し、くり返し4画面表示ボタンを押す

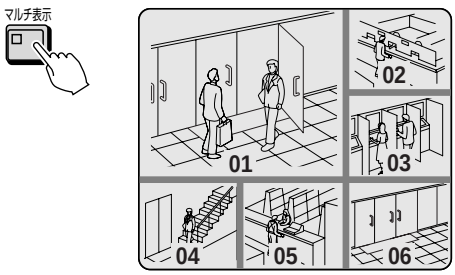
モニターの映像が4画面単位で切り換わります。
カメラ選択ボタンを押すと1画面に戻ります。



マルチ画面にする

マルチ表示ボタンを押す

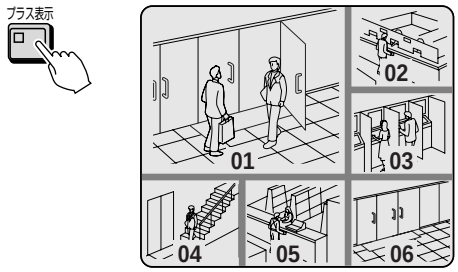
分割画面を表示します。
カメラ選択ボタンを押すと1画面に戻ります。



分割画面で必要な画面を拡大する

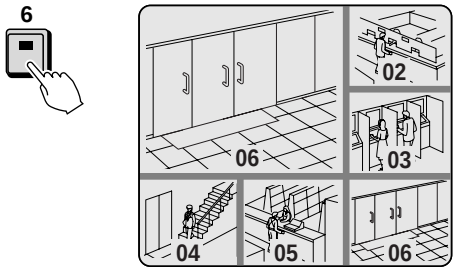
1 **プラス表示ボタンを押す**

カメラ映像が拡大されます。



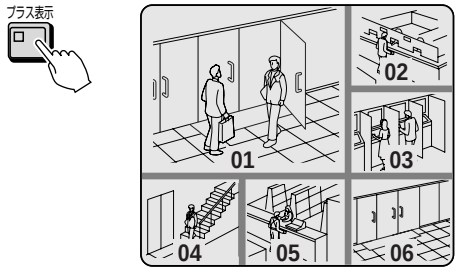
2 **カメラ選択ボタン（例6）を押す**

押したボタンの画面が拡大されます。



■プラス画面を再生状態にする

再生中にプラス表示ボタンを押すと、プラス画面になりすべての画面は再生状態になります。もう一度プラス表示ボタンを押すと、左上部の画面のみが再生画面になります。
さらにプラス表示ボタンを押すと、再生中の1画面に戻ります。



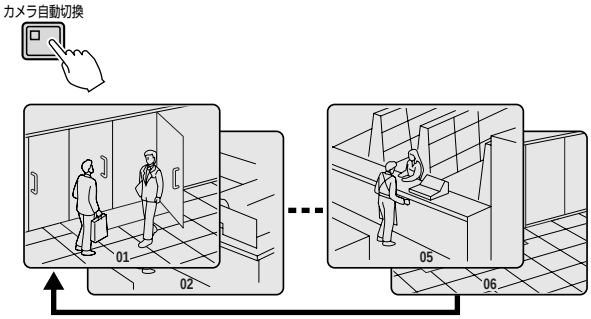
- プラス画面をライブ映像にして、カメラ自動切換ボタンを押すと、プラス画面を自動で切り換えることができます。

画面を自動的に切り換える

A 1画面の自動切換

カメラ自動切換ボタンを押す

監視中のライブ映像から順番に自動的に切り換わります。
もう一度、カメラ自動切換ボタンを押すと、自動切換がとまります。



☞カメラ自動切換の間隔をかえるときはP72を参照ください。

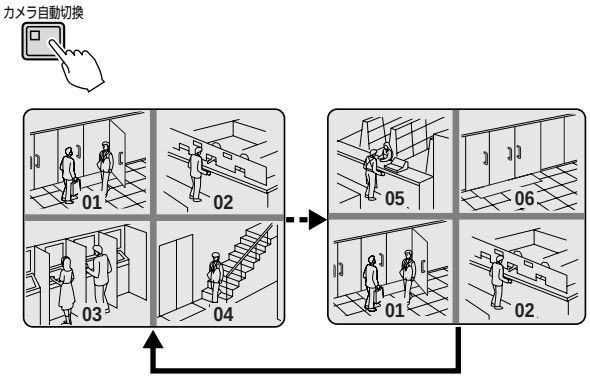
B 4画面の自動切換

1 4画面表示ボタンを押す

ライブ映像の4分割画面になります。

2 カメラ自動切換ボタンを押す

モニターの映像が4画面単位で切り換わります。
もう一度、カメラ自動切換ボタンを押すと、自動切換がとまります。

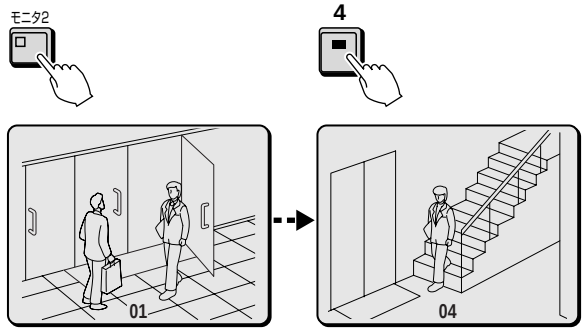


モニタ2端子に接続したモニターで見る

後面部のモニタ2端子にモニターを接続してください。画面は1画面でしか見ることができません。(P10)
メインモニター端子に接続したモニターを分割画面で監視し、モニタ2に接続したモニターでは、各ライブ映像を1画面または自動切換画面で見ることができます。

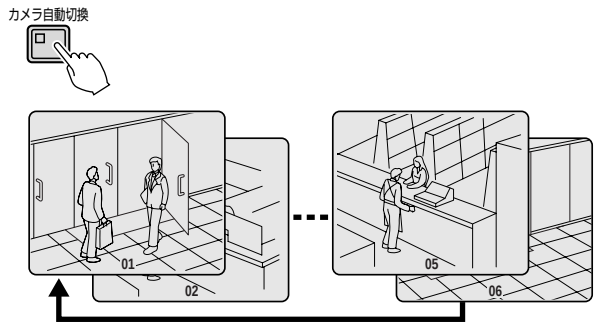
1 モニタ2ボタンを押して、カメラ選択ボタン(例4)を押す

4チャンネル(04)の映像が表示されます。
もう一度、モニタ2ボタンを押すと、モニタ2の映像は表示されなくなります。



2 カメラ自動切換ボタンを押す

モニターが1画面の自動切換画面になります。
もう一度、カメラ自動切換ボタンを押すと、1画面の映像になります。



- メニュー画面を表示中はモニタ2ボタンの操作はできません。
- モニタ2端子に接続したモニターでは録画した映像を見ることはできません。

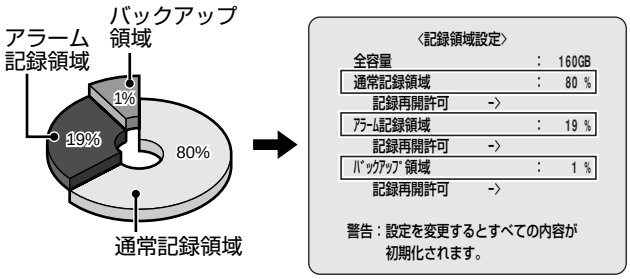
☞アラーム検出したライブ映像は、モニタ2端子に接続したモニターで見ることができます。(P58)

ハードディスクに映像を録画する

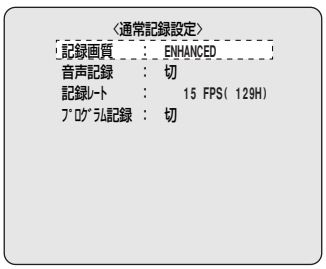
内蔵ハードディスクは自動的に記録領域、通常記録、記録条件などがフォーマットされます。録画をおこなう前に通常記録で録画できる時間（記録レートと録画時間一覧表：P80）を確認しておいてください。

記録フォーマットの確認

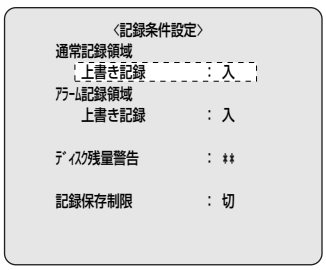
A ハードディスクの全容量と各記録領域の確認ができます。(P42)



B 記録時の画質（ENHANCED：準高画質）、音声記録、記録レート、プログラム記録の設定内容が確認できます。(P47)



C 各記録領域の映像がいっぱいになると、古い順から上書きをおこなうかの確認ができます。初期設定は「上書き記録」が "入" 設定ですので、映像がいっぱいになると、自動的に古い順から上書きをおこないます。(P45)



■ネットワークのダウンロードについて

ネットワークを経由して、本機の画像データをダウンロードする場合は、バックアップ領域の容量は最高画質（40000枚：音声データなし）の場合で約2GB必要です。

通常録画（通常記録領域）

本機の映像入力端子に接続されている全カメラの映像をワンタッチで録画できます。

1 ライブ画面を表示中に録画/停止ボタンを押す

操作表示部に "REC" が表示され録画を開始します。

2 録画を終了するときは、録画/停止ボタンを約3秒間押す

"REC" 表示が消えます。

- 再生/停止ボタンを押すと、再生が始まります。（P18）
- 録画中も再生できます。（P18）

■そのほかの録画について

録画の種類には、通常録画のほかに下記の録画方法がありますが、設定や設置などが必要です。該当ページをご参照ください。

☞ タイマー録画（P49）
通常記録領域に設定した時間内で自動的に録画をおこないます。

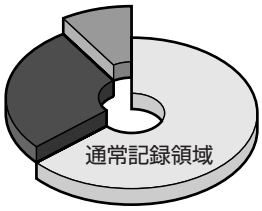
☞ 外部タイマー（アラーム）録画（P52）
外部に設置したアラームスイッチや内蔵のモーションセンサーからアラーム入力があると、アラーム記録領域に自動的に録画をおこないます。

☞ プリアラーム録画（P55）
アラーム入力直前の映像・音声をアラーム記録領域に記録し、アラーム発生時の状況分析に役立てることができます。

録画した映像を見る

（通常記録領域）

通常記録領域（通常録画、タイマー録画）の録画中または録画済みの映像を再生できます。



（ハードディスク記録領域）

再生について

録画の削除やリセットなどにより、再生の開始点が不明になった場合は、もっとも古く録画した映像から再生します。一度再生すると、前回再生した場面を記憶していますので、再生を終了した時点から再生をおこないます。

録画中でも再生できます。

録画中に**再生/停止**ボタンを押すと、録画を開始した時点から再生を始めます。再生操作などにより録画中の付近を再生しますと、再生中の画像が一時的に静止画になることがあります。

早送り/早戻し速度を一定にするには

早送りまたは早戻し中に**シャトル保持ボタン**を押してください。
操作中にSダイヤルを離しても速度は変わらなくなります。

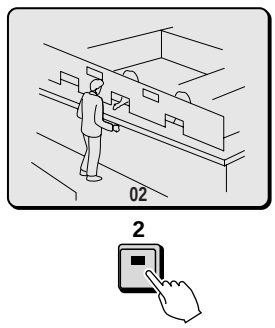
1画面で見る

1 再生/停止ボタンを押す

操作表示部には“▶”を表示し、再生が始まります。

- 再生が終了すると、自動的に一時停止状態となり、一時停止ランプが点灯します。操作表示部には“⏸”が表示されます。

2 録画した映像を見るときは、カメラ選択ボタン（例2、6）を押す

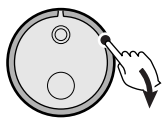


3 終了するときは、再生/停止ボタンを押す

再生中に早送り/早戻しをする

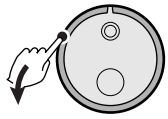
Sダイヤルを右に回すと早送り

操作表示部に“⏩”が表示します。



Sダイヤルを左に回すと早戻し

操作表示部に“⏪”が表示します。

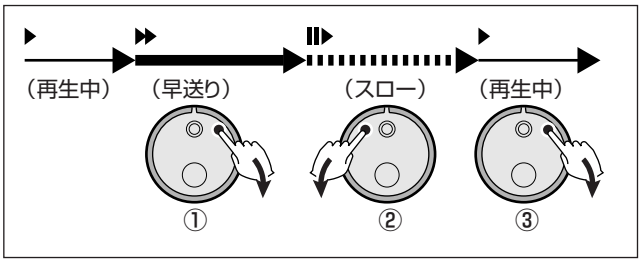


☞ Sダイヤルを離すと通常の再生になります。

再生スピードを変えて見る

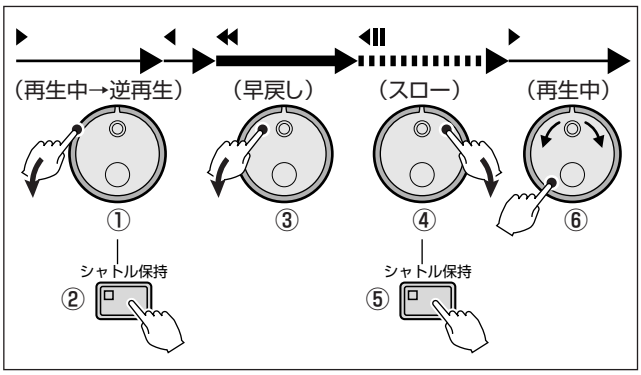
各操作中は操作表示部に操作シンボル（▶、▶▶…）が表示されます。再生スピードを変えているときは音声は再生されません。

A 早送り/スロー再生



① **Jダイヤルを右に回す**
早送り再生になる
② **Jダイヤルを左に回す**
スロー再生になる
③ **Jダイヤルを右に回す**
通常再生になる

B 早戻し/逆スロー再生



① **Sダイヤルを左に回す**
通常の逆再生になる
② **シャトル保持ボタンを押す**
逆再生で速度が固定される
③ **Jダイヤルを左に回す**
早戻り再生になる
④ **Jダイヤルを右に回す**
逆スロー再生になる
⑤ **シャトル保持ボタンを押す**
シャトル保持解除
⑥ **Jダイヤルを右または左に回す**
通常再生になる

静止画で見る

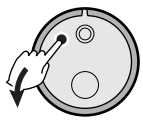
再生中に一時停止ボタンを押す
映像が静止画になります。操作表示部には“⏸”が表示されます。
もう一度、一時停止ボタンを押してください。再生状態に戻ります。

コマ送り（正逆）で見る

静止画中に操作します。

● **Jダイヤルを右に回すと…**
静止画が1コマ（1フィールド）進む

● **Jダイヤルを左に回すと…**
静止画が1コマ（1フィールド）戻る



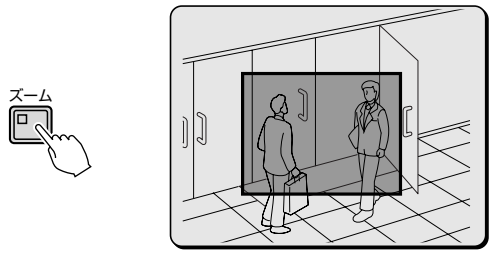
通常記録領域とアラーム記録領域間を続けて再生したり、アラーム録画中に再生すると次のような症状になることがあります。
- 各記録領域の切り換わりに画像が乱れる。
- 通常再生や早送り/早戻しで、画像が静止したように見える。

映像を拡大して見る

モニタ2の映像や、分割画面、プラス画面の映像はズーム操作はできません。
ズーム映像は画質が粗くなります。

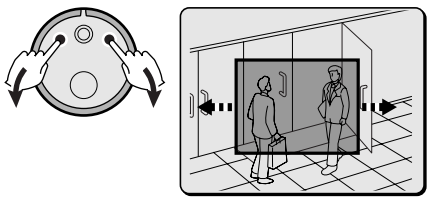
1 ズームボタンを押す

画面中央にズーム枠を表示します。
ライブ映像の監視中でも拡大できます。

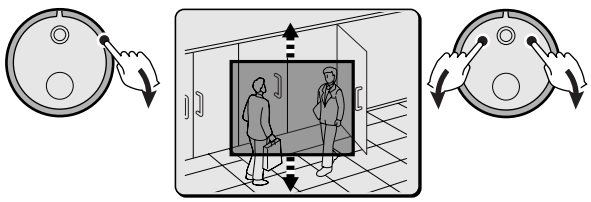


2 ズーム枠を拡大したい位置に移動する

①**Jダイヤルを左右に回す**：枠が左右移動する

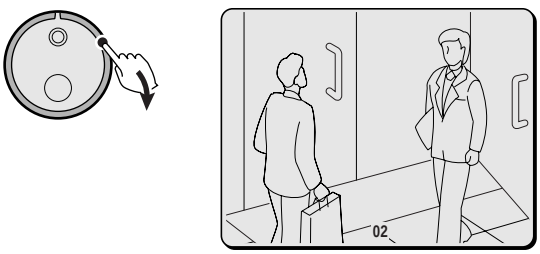


②**Sダイヤルを右に回してJダイヤルを左右に回す**：
枠が上下移動する



3 Sダイヤルを右に回す

ズーム枠の範囲が2倍に拡大されます。



4 ズーム画の解除は、ズームボタンを押す

4画面で見る

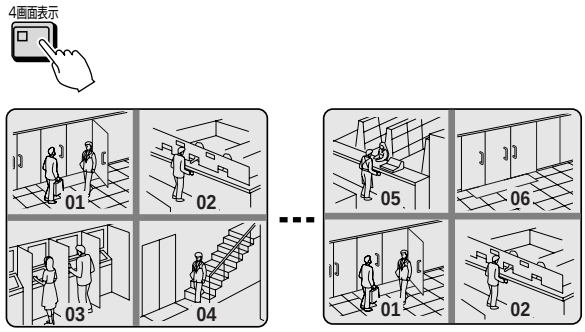
複数のライブ映像を録画すると、録画した映像を4分割画面で再生できます。

1 再生中に4画面表示ボタンを押す

記録領域に記録したカメラ番号1～4までの映像を4画面で表示します。

2 くり返し、4画面表示ボタンを押す

モニター映像が4画面単位で切り換わります。
1画面に戻すときは、カメラ選択ボタンを押してください。

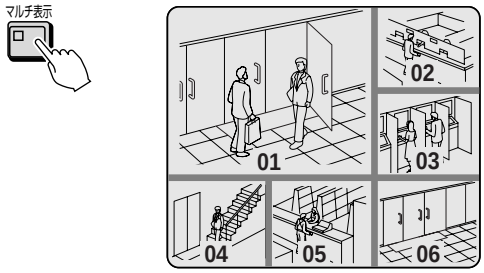


マルチ画面で見る

複数のライブ映像を録画すると、録画した映像をマルチ画面で再生できます。

1 再生中にマルチ表示ボタンを押す

記録領域に記録したカメラ番号1～6までの映像を6画面で表示します。



☞ 画面位置を並び換える場合はP70を参照ください。

録画した映像を日時などで指定して見る

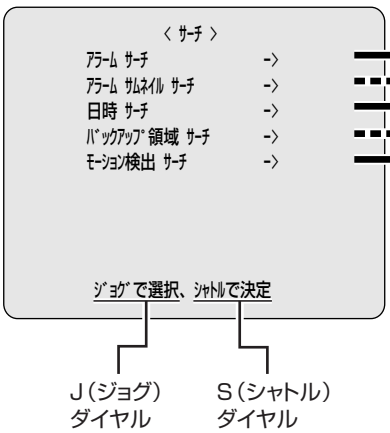
通常記録領域、アラーム記録領域やバックアップ領域に録画されている映像を検索して再生することができます。検索は5種類の方法から選ぶことができます。

サーチボタンを押す：

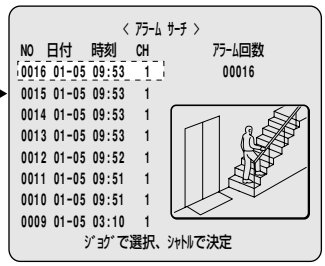
＜サーチ＞画面を表示します。

再生中やメニュー表示中は検索できません。

メモ　再生した映像は、Sダイヤルや Jダイヤルまたは各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。

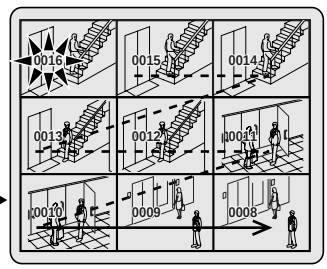


A アラームサーチ (P22)



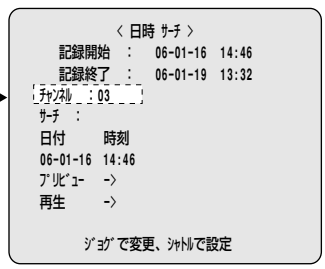
アラーム記録領域のアラーム映像を記録リストから日時を検索して再生します。プリアラーム映像を録画している場合は、アラーム直前の映像も再生できます。

B アラームサムネイルサーチ (P22)



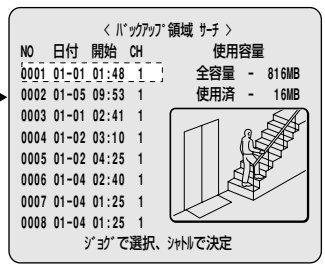
アラーム記録領域のアラーム映像をサムネイル（一覧）からアラーム番号を検索して再生します。

C 日時サーチ (P23)



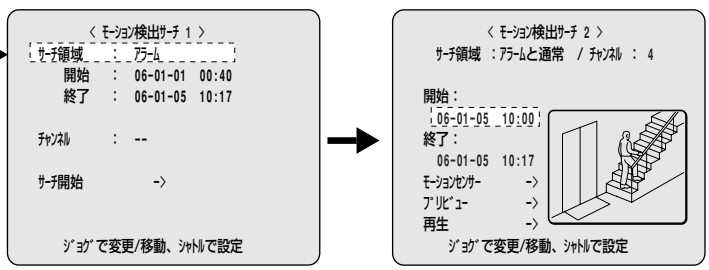
通常記録領域（通常録画・タイマー録画の映像）とアラーム記録領域に記録した映像を日付と時間で検索して再生することができます。

D バックアップ領域サーチ (P24)



バックアップ領域に保存した映像を日時で検索して再生します。

E モーション検出サーチ (P24)



指定した領域やチャンネル（カメラ番号）などで録画した映像の中でモーションセンサーが検知した映像を検索して再生します。

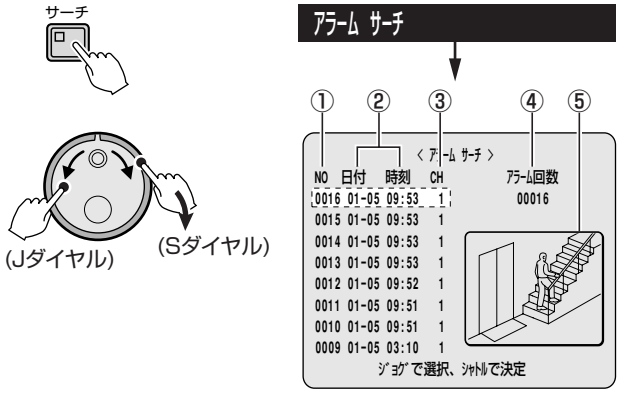
A アラームサーチ

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“アラームサーチ” を選択し、Sダイヤルを右に回す

<アラームサーチ>画面が表示され、最新のアラーム記録を8件表示します。

☞ **解除するときはサーチボタンを押す**
通常の画面に戻ります。



(メニュー説明)

① **NO：**
アラームの番号を表示します。

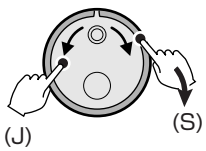
② **日付/時刻：**
アラーム録画した日付・時間を表示します。

③ **CH（チャンネル）：**
アラーム録画したチャンネル（カメラ番号）を表示します。

④ **アラーム回数：**
録画したアラーム映像の総数を表示します。

⑤ **プリビュー画面：**
選択したアラーム映像を表示します。

3 Jダイヤルを回して、カーソルを再生したい「NO」に移動させ、Sダイヤルを右に回す



プリビュー画面に、アラームが発生した瞬間の画像を表示した後、選択した映像を1画面で再生します。終了すると静止画になります。

4 再生/停止ボタンを押す

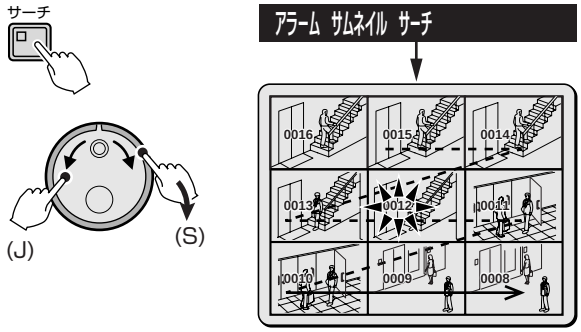
B アラームサムネイルサーチ

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

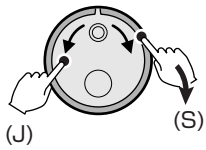
2 Jダイヤルを回して、“アラームサムネイルサーチ” を選択し、Sダイヤルを右に回す

最新のアラーム映像を9件表示します。
各アラーム映像にはアラーム番号が表示され、選択中の番号が点滅します。

☞ **解除するときはサーチボタンを押す**
通常の画面に戻ります。



3 Jダイヤルを回して、再生したいアラーム番号を選択（点滅）し、Sダイヤルを右に回す



選択した映像を1画面で再生します。終了すると静止画になります。

4 再生/停止ボタンを押す

■プリアラームの映像を見るには

アラームサーチでアラーム発生した画像を再生させてから、Sダイヤルを左に回してください。

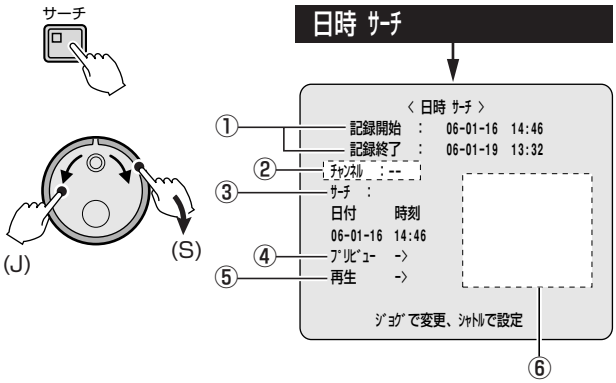
- アラームサーチと同様に各アラーム記録内でしか再生できません。前後のアラーム映像は、アラームボタンで再生してください。
- SダイヤルやJダイヤルまたは各ボタン操作で静止画や早送りなどの操作もできます。

C 日時サーチ

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“日時サーチ” を選択し、Sダイヤルを右に回す

☞ 解除するときはサーチボタンを押す
通常の画面に戻ります。



(メニュー説明)

① **記録開始/記録終了：**
自動的に一番最初に録画した映像の日付・時刻と一番最後(最新)に録画した映像の日付・時刻を表示します。変更はできません。

② **チャンネル：**
再生したいチャンネル（カメラ番号）を設定します。

③ **サーチ：**
再生したい日付・時刻を設定します。

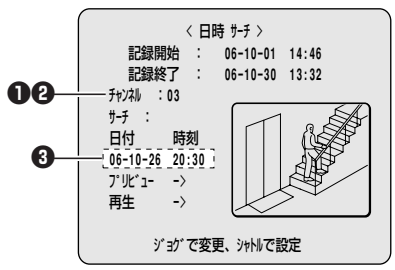
④ **プリビュー：**
プリビュー画面を表示します。

⑤ **再生：**
プリビュー画面を再生します。

⑥ **プリビュー画面**

3 日時で検索する

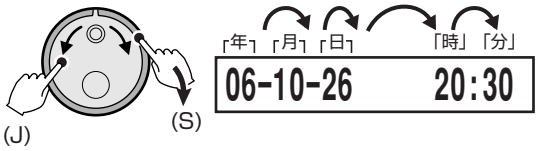
例：カメラ3の2006年10月26日の午後8時30分



❶ Sダイヤルを右に回す。

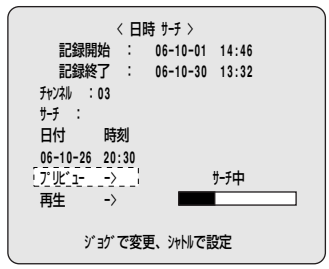
❷ Jダイヤルで “03” を選択し、Sダイヤルを右に回す。

❸ Jダイヤルで数値を設定して、Sダイヤルを右に回す操作をくり返し、日時を設定する。
カーソルが「プリビュー」に移動します。



4 Sダイヤルを右に回す

検索中はサーチ表示になり、入力した日付と時刻のプリビュー画面が表示されます。



☞ **時刻の一致する画像がない場合**
選択した時間帯にもっとも近い映像が表示されます。

■プリビュー画面を再生する

Jダイヤルを回して “再生” を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択した映像を1画面で再生します。

アラーム録画またはプログラム録画で録画した映像を、チャンネル指定して日時サーチ検索をおこなった場合は、記録条件により目的の画像が見つからないことがあります。
この場合はチャンネルを指定せず、再度日時サーチを実行し、再生してから、早送りまたは早戻しで目的のチャンネル画像まで送ってください。

メモ
- プリビュー画面を表示させなくても、チャンネル、日付、時刻を入力し、「再生」を選択すると1画面で表示できます。
- Sダイヤルや Jダイヤルまたは各ボタン操作で、静止画や早送りなどの操作もできます。
- チャンネルの項を “--” にすると、マルチ画面での再生となります。

D バックアップ領域のサーチ

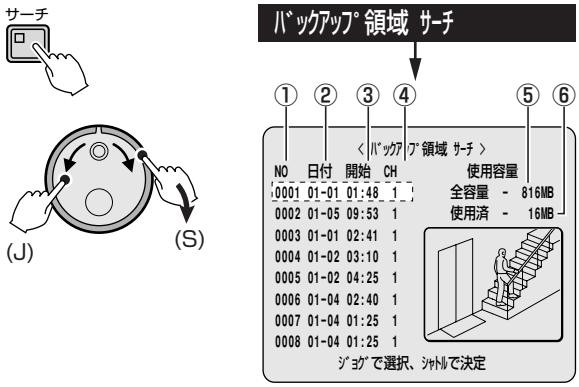
バックアップ領域の映像を再生します。

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“バックアップ領域サーチ”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<バックアップ領域サーチ>画面が表示され、バックアップをおこなった順に、8件分の記録が画面に表示されます。

☞ **解除するときはサーチボタンを押す**
通常の画面に戻ります。



（メニュー説明）

① **NO：**
バックアップの番号を表示します。

② **日付：**
録画した日付を表示します。

③ **開始：**
録画した開始時間を表示します。

④ **CH（チャンネル）：**
保存した映像の先頭チャンネル（カメラ番号）を表示します。

⑤ **全容量：**
バックアップ領域の全容量を表示します。

⑥ **使用済：**
バックアップ領域の使用容量を表示します。

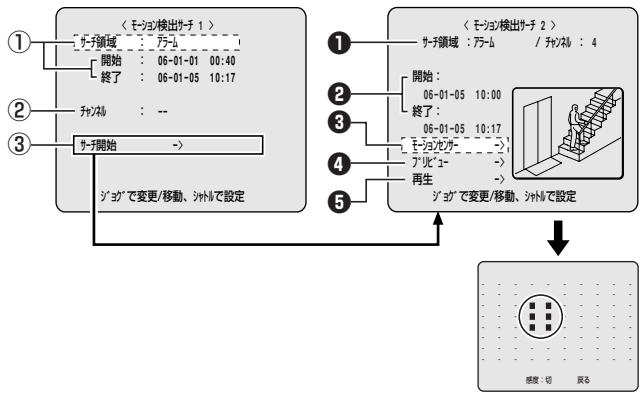
3 Jダイヤルで再生したい「NO」を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択したナンバーの映像が1画面でプリビュー画面に再生されます。終了すると静止画になります。

4 再生/停止ボタンを押す

E モーション検出サーチ

モーションセンサー検出サーチは、記録した映像にモーションセンサーを設定し、侵入者などにより映像に変化があった場面を検出できます。
本設定は、まず検索する画面を<モーション検出サーチ1>の **“サーチ領域”** と **“チャンネル”** の項を設定してから **“サーチ開始”** を選択します。
画面は指定した<モーション検出サーチ2>の **“サーチ領域”** と **“チャンネル”** を表示しますので、**“開始”** と **“終了”** 日時を設定し、**“モーションセンサー”** を選択してください。モーションセンサーを設定する画面が表示されます。



（メニュー説明）

モーション検索サーチ1画面

① **サーチ領域/開始・終了**
モーションセンサーの選択項目から選択すると、自動的に最初に録画した日時と最後に録画した日時を表示します。変更はできません。
選択項目：
- **アラーム：**アラーム記録領域の映像を検出します。
- **通常：**通常記録領域の映像を検出します。
- **アラームと通常：**
  アラーム記録領域と通常記録領域の映像を検出します。

② **チャンネル**
モーションセンサーを設定するチャンネルを選択します。

③ **サーチ開始**
選択した領域とチャンネルを検索して、<モーション検索サーチ2>の検索画面になります。

モーション検索サーチ2画面

❶ **サーチ領域・チャンネル**
<モーション検出サーチ 1>で指定した“サーチ領域”と“チャンネル”が表示されます。

❷ **開始・終了**
サーチ領域と指定したチャンネルの開始と終了時間を設定します。

❸ **モーションセンサー**
モーションセンサーの設定画面を表示します。

❹ **プリビュー**
プリビュー画面を表示します。

❺ **再生**
検索した映像を1画面で再生します。

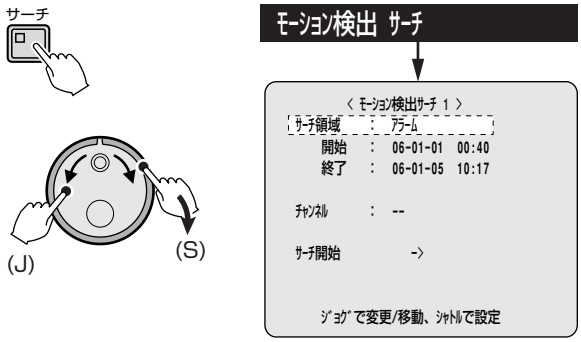
E モーション検出サーチ（つづき）

1 録画中またはライブ映像のときにサーチボタンを押す

2 Jダイヤルを回して、“モーション検出サーチ” を選択し、Sダイヤルを右に回す

＜モーション検出サーチ 1＞画面を表示し、“サーチ中” 表示が点滅します。

☞ 解除するときはサーチボタンを押す
通常の画面に戻ります。



3 Sダイヤルを右に回す

“アラーム” が点滅します。

4 Jダイヤルで「例：アラームと通常」を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：アラーム/通常/アラームと通常

再び「終了」の “サーチ中” が点滅し、検索が終了します。

5 Jダイヤルを回して「チャンネル」を選択し、Sダイヤルを右に回す

“ーー” が点滅します。

6 Jダイヤルで、チャンネル（例：カメラ番号4）を選択し、Sダイヤルを右に回す

「サーチ開始」にカーソルが移動します。

7 Sダイヤルを右に回す

＜モーション検出サーチ2＞画面になり、チャンネル4のプリビュー画面が表示します。

8 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルで数値を設定してSダイヤルを右に回す操作をくり返し、サーチ “開始” 日時を設定する

例：2006年10月28日の午後8時30分

設定を終了後、Sダイヤルを右に回す。

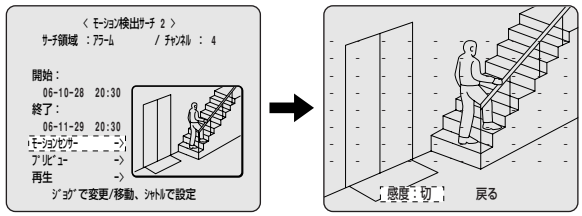
9 8と同じ手順をくり返しサーチ “終了” 日時を設定する

例：2006年11月29日の午後8時30分

カーソルが「モーションセンサー」に移動します。

10 Sダイヤルを右に回す

モーションセンサー設定画面が表示されます。

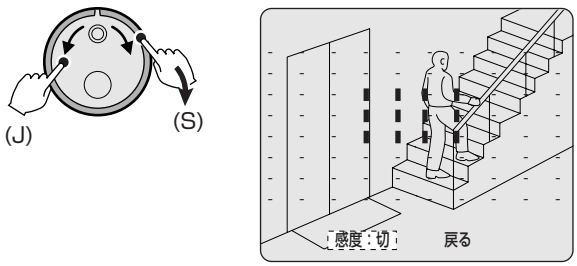


11 モーションセンサーを設定する

① Jダイヤルで、センサーを設定したい位置にカーソルを移動させて、Sダイヤルを右に回す

ー：センサー未設定　　▮：センサー設定

センサーが未設定から設定に切り換わりますので同じ手順で他の位置にセンサーを設定してください。



② Jダイヤルで、カーソルを「感度：切」まで移動させ、Sダイヤルを右に回す

“切” が点滅します。

選択項目：切/1/2/・・・/9/10（感度低い）

③ Jダイヤルで、「感度：切」を「5」に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

＜モーション検出サーチ2＞画面に戻ります。

「プリビュー」または「再生」を選択する場合は本サーチ画面を終了せずにP26へ進んでください。

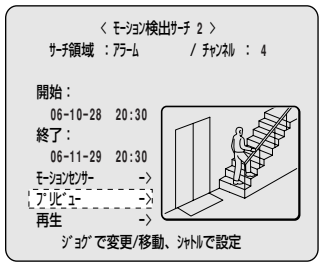
12 終了するときは、サーチボタンを押す

通常のライブ映像に戻ります。

モーション検出をチャンネル（カメラ番号）で指定すると、指定したチャンネルの映像を再生します。このとき、カメラタイトルや日時が部分的に画面表示されないことがあります。

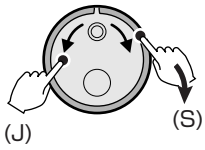
E モーション検出サーチ（つづき）

■プリビュー画面で確認する



1 **Jダイヤルで「プリビュー」を選択し、Sダイヤルを右に回す**

検知した映像をプリビュー画面に表示します。



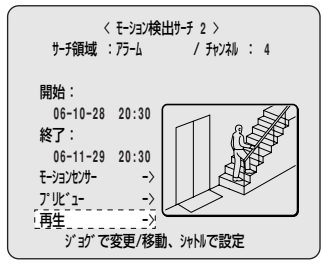
☞ “見つかりません” と表示した場合は、再度モーションセンサーの設定をおこなってください。

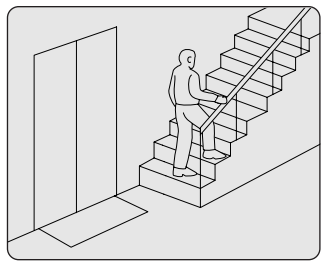
☞ Sダイヤルを右に回すごとに、モーションセンサーで検出した画像をプリビュー画面に表示します。

2 **終了するときは、サーチボタンを押す**

通常のライブ映像に戻ります。

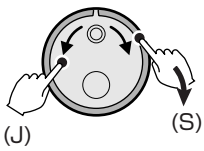
■通常の再生画面で見る





1 **Jダイヤルで「再生」を選択し、Sダイヤルを右に回す**

選択した映像から通常の再生になります。終了すると静止画になります。



他のチャンネルを検索するときは、一度再生を停止し、最初から設定をおこなってください。

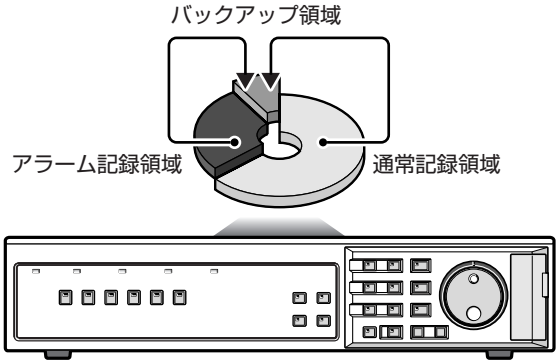
2 **再生/停止ボタンを押す**

録画した映像をメディアなどにコピーする

通常記録領域やアラーム領域に録画した映像の中から、必要とする映像（1画面から）をコピーできます。

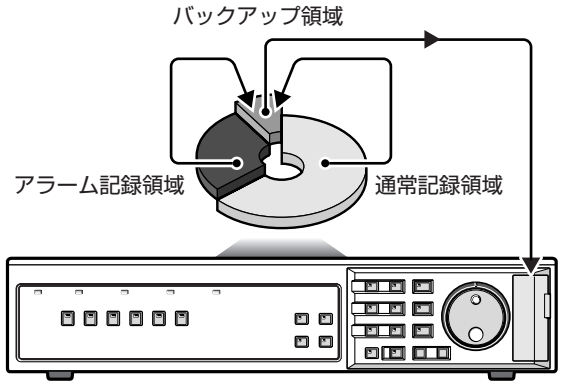
A 通常記録領域またはアラーム記録領域の映像をバックアップ領域にコピーする（P28）

この領域は、必要な映像を一部保管して確認するなどの場合にお勧めします。
保存を目的とする場合は、CFカードなどのメディアにコピーしてください。



- バックアップ領域に映像をコピーする場合は、バックアップ領域の記録容量を確認してください。
- バックアップ領域の記憶容量が少なくなった場合は、CFカードなどのメディアにコピーしてからバックアップ領域を空にしてください。

B 内蔵ハードディスクの映像をCFカードまたはマイクロドライブにコピーする（P29）



- **通常記録領域やアラーム記録領域の映像をCFカードなどにコピーする場合**
  映像を一時的にバックアップ領域に保管してからコピーをおこなってください。その際は、必ずバックアップ領域の空き容量を確認してください。
- **CFカードに画像をコピーする場合**
  1MB当たり約15秒間かかります。コピー中に記録容量がいっぱいになると、**“コンパクトフラッシュ残量なし！”**と表示し、コピーを終了します。何かの操作をおこなうと、通常画面に戻りますので、空き容量のあるCFカードにコピーし直してください。

- CFカードにコピーした映像は、改ざん検出用コードが埋め込まれています。改ざん検出については、お買い上げの販売店にご相談ください。
- CFカードにコピーした音声付きの映像は、“DVR Viewer 2” で再生できます。別冊の「ネットワーク接続による遠隔操作マニュアル」を参照ください。
- JPEG画像はフィールド画像となっています。市販の画像処理ソフトで見る場合は、“CF→PRINT” を選択してください。通常のコピーで見る場合は、縦方向が1/2に圧縮して表示されますので、必ず “DVR Viewer 2” で表示させてください。

C CFカードまたはマイクロドライブの映像をパソコンで見たり印刷したりする（P30）

記録した映像をプリンターで印刷する場合は、本機でメディアをフォーマットしてください。

本機でCFカードをフォーマットする場合は、必ずFAT16でフォーマットしてください。FAT32でフォーマットした場合は認識できません。

A 通常記録領域またはアラーム記録領域の映像をバックアップ領域にコピー（例：10秒）する

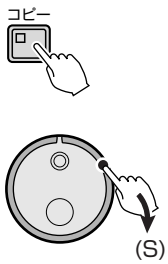
1 通常記録領域またはアラーム記録領域を再生する

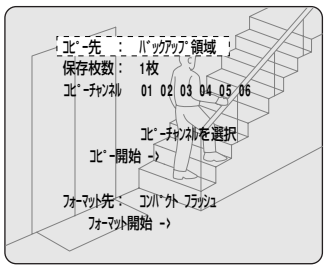
2 コピーしたい映像で一時停止ボタンを押す

映像が一時停止になります。

3 コピーボタンを押す

コピー設定画面を表示し、カーソルが「コピー先」に移動しています。



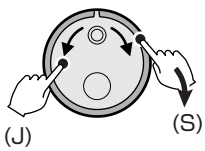


4 Sダイヤルを右に回す

“バックアップ領域”が点滅します。

5 Jダイヤルを回して、コピー先（例：バックアップ領域）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

カーソルが「保存枚数」の“1”に移動し点滅します。



選択項目：

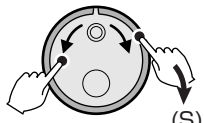
バックアップ領域、コンパクトフラッシュ、CF→PRINT

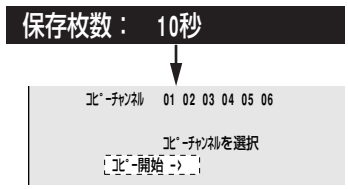
6 Jダイヤルを回して、保存枚数（例：10）を選択し、Sダイヤルを右に回す

“枚”が点滅します。

7 Jダイヤルを回して、「秒」を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「コピー開始」に移動します。





選択項目：

枚：指定枚数をコピーする（1～99）
秒：指定秒間をコピーする（1～99）
分：指定分間をコピーする（1～99）

8 カメラ選択ボタンでコピーするチャンネル（例：03、05）を選択する

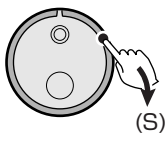
選択したチャンネルがグレーから白色になります。

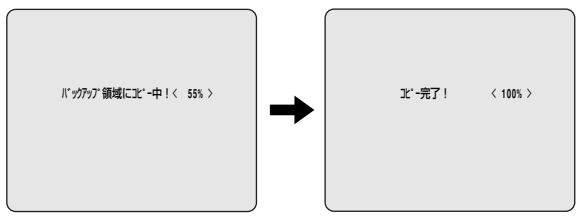
- 初期チャンネルは緑色です。緑色のチャンネルは変更することはできません。

☞ **コピーを中止するときは、コピーボタンを押す**

9 Sダイヤルを右に回すとコピーを開始する

- バックアップ領域にコピーが開始され、コピー中は画面に **“バックアップ領域にコピー中！”** と表示されます。
- コピーが終了すると、**“コピー完了！”** と表示します。





音声付きの映像をバックアップ領域にコピーしても映像のみがコピーされます。

B 内蔵ハードディスクの映像をCFカードまたはマイクロドライブにコピー（例：10枚）する

1 コンパクトフラッシュカードスロットにCFカードを装置する

装着のしかたは「各部のなまえとはたらき」を参照ください。(P9)

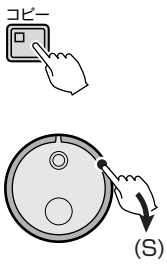
2 通常記録領域、アラーム記録領域またはバックアップ領域を再生する

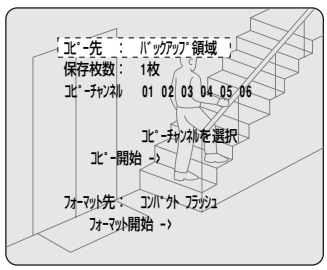
3 コピーしたい映像で一時停止ボタンを押す

映像が一時停止になります。

4 コピーボタンを押す

コピー設定画面を表示し、カーソルが「コピー先」に移動しています。





5 Sダイヤルを右に回す

“バックアップ領域”が点滅します。

6 Jダイヤルを回して、コピー先（例：コンパクトフラッシュ）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

カーソルが「保存枚数」の **“1”** に移動します。

選択項目：

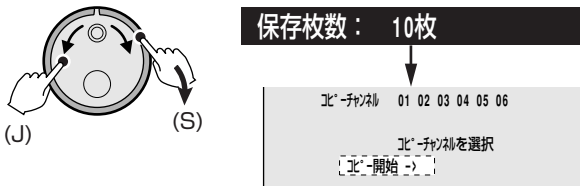
バックアップ領域、**コンパクトフラッシュ**、CF→PRINT

7 Jダイヤルを回して、保存枚数（例：10）を選択し、Sダイヤルを右に回す

“枚”が点滅します。

8 Jダイヤルを回して、「枚」を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「コピー開始→」に移動します。



選択項目：

枚、秒、分（1～99）、イベント（1～99、>99）

- “イベント”はバックアップ領域のデータをイベント単位でコピーできます。“>99”を選択すると、イベント数に関係なくバックアップ領域の容量はいっぱいになります。

9 カメラ選択ボタンでコピーするチャンネル（例：03、05）を選択する

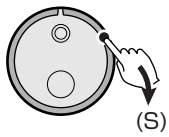
選択したチャンネルがグレーから白色になります。

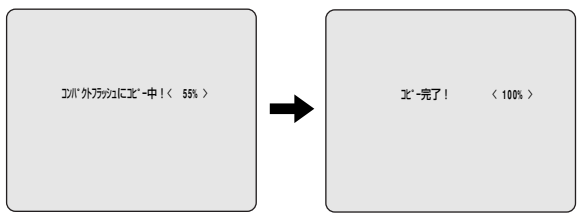
- 初期チャンネルは緑色です。緑色のチャンネルは変更できません。

☞ **コピーを中止するときは、コピーボタンを押す**

10 Sダイヤルを右に回すとコピーを開始する

- CFカードにコピーが開始され、コピー中は画面に **“コンパクトフラッシュにコピー中！”** と表示されます。
- コピーが終了すると、**“コピー完了！”** と表示します。





☞ **CFカードにコピーした映像は “CFカードにコピーした映像をパソコンで見る” を参照ください。(P31)**

- コピー可能枚数は1回の操作で40000枚です。
- アラームサーチやアラームサムネイルから再生したアラーム記録をコピーする場合は、アラーム1イベントずつしかコピーできません。
- 本機でCFカードをフォーマットする場合は、必ずFAT16でフォーマットしてください。FAT32でフォーマットした場合は認識できません。
- マイクロドライブは2GBまでコピーできます。

C CFカードまたはマイクロドライブの映像をパソコンで見たり印刷したりする

1 **コンパクトフラッシュカードスロットにCFカードを装置する**

装着のしかたは「各部のなまえとはたらき」を参照ください。(P9)

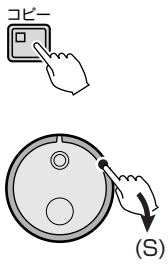
2 **通常記録領域、アラーム記録領域またはバックアップ領域を再生する**

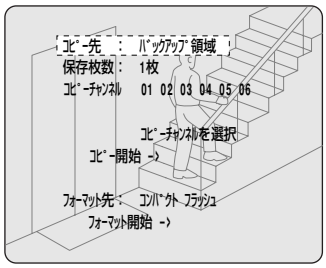
3 **保存したい映像で一時停止ボタンを押す**

映像が一時停止になります。

4 **コピーボタンを押す**

コピー設定画面を表示し、カーソルが「コピー先」に移動しています。



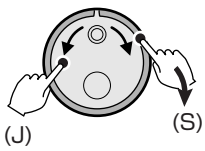


5 **Sダイヤルを右に回す**

“バックアップ領域”が点滅します。

6 **Jダイヤルを回して、コピー先（例：CF→PRINT）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす**

カーソルが「保存枚数」の **“1”** に移動します。



選択項目：

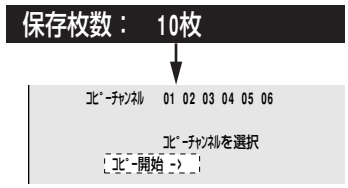
バックアップ領域、コンパクトフラッシュ、**CF→PRINT**

7 **Jダイヤルを回して、保存枚数（例：10）を選択し、Sダイヤルを右に回す**

“枚”が点滅します。

8 **Jダイヤルを回して、「枚」を選択し、Sダイヤルを右に回す**

カーソルが「コピー開始→」に移動します。



選択項目：

枚：指定枚数をコピーする（1～99）
秒：指定秒間の画像をコピーする（1～99）
分：指定分間の画像をコピーする（1～99）
イベント：バックアップ領域のデータをイベント単位でコピーする（1～99、>99）

9 **カメラ選択ボタンでコピーするチャンネル（例：03、05）を選択する**

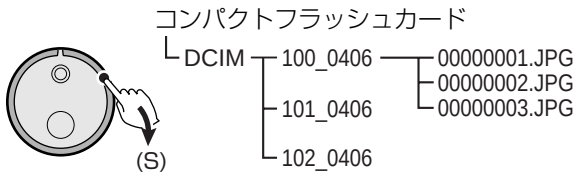
選択したチャンネルがグレーから白色になります。

- 初期チャンネルは緑色です。緑色のチャンネルは変更できません。

☞ **コピーを中止するときは、コピーボタンを押す**

10 **Sダイヤルを右に回す**

ルートディレクトリの下にフォルダー“DCIM”が作成され、“DCIM”の下にコピーした映像の日付でフォルダーが作成されます。

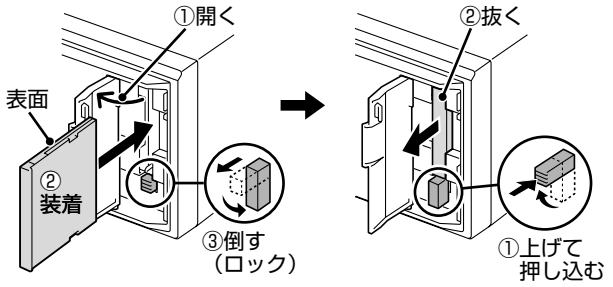


- CF→PRINTでのコピー枚数は最大999枚に制限されます。例えば、10分を選択しても999枚でコピーが終了します。
- “CF→PRINT”を選択した場合は、“コンパクトフラッシュ”を選択した場合に比べてコピー時間は約2倍（1MB当たり約30秒間）必要です。

CFカードのフォーマット

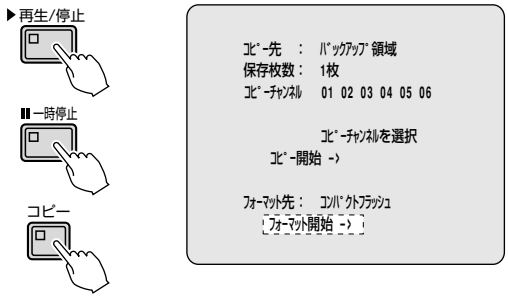
マイクロドライブも同様にフォーマットできます。

1 **コンパクトフラッシュカードスロットにCFカードを装着する**



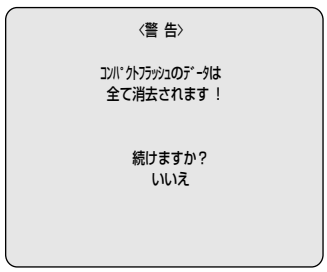
2 **再生/停止ボタンを押して一時停止ボタンを押し、コピーボタンを押す**

コピー設定画面が表示します。



3 **Jダイヤルを回して最下段の「フォーマット開始→」にカーソルを移動させ、Sダイヤルを右に回す**

警告画面が表示されます。

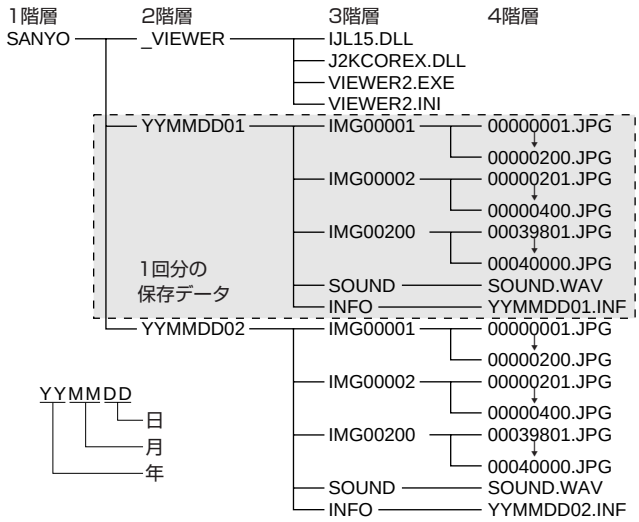


4 **Jダイヤルを回して “はい” を選択し、Sダイヤルを右に回す**

フォーマット（初期化）を開始します。

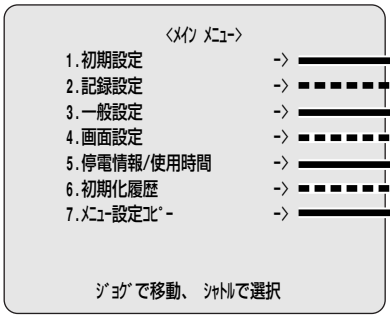
CFカードにコピーした映像をパソコンで見る

映像をCFカードにコピーすると、画像が保存され、次のようにフォルダーが作成されます。



メインメニュー構成

メインメニューは、7項目で構成されており、メニューボタンを押すと表示できます。

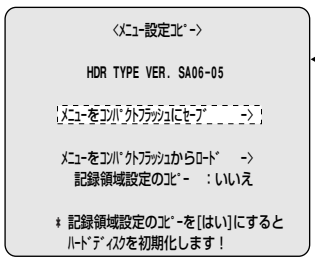


■ボタン操作による数字入力のしかた

通常、数字やチャンネル（カメラ番号）はJダイヤルで設定しますが、画面右上に“K”が表示されると前面部のカメラ選択ボタンや4画面表示ボタンなどで設定できます。

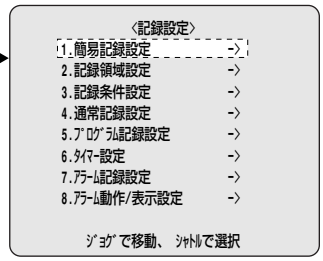
- カメラ選択ボタン1～6：
  ボタンを押した数字が入力されます。
- 4画面表示ボタン ：7の数字
- マルチ表示ボタン：8の数字
- モニタ2ボタン ：9の数字
- プラス表示ボタン：0の数字

■本機のメニューの設定内容をコピーし、他の同機も同じメニューで操作する (P77)

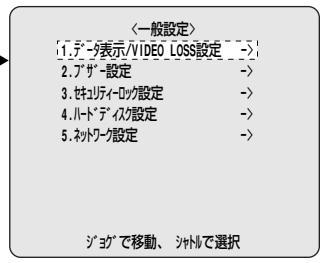


■初期設定に関する設定 (P33)

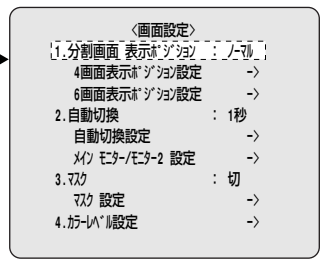
■録画とアラームなどに関する設定 (P38)



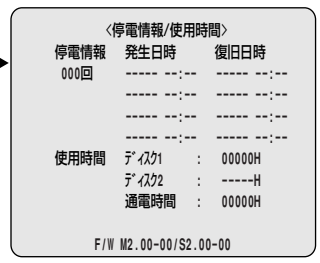
■一般的な設定 (P60)



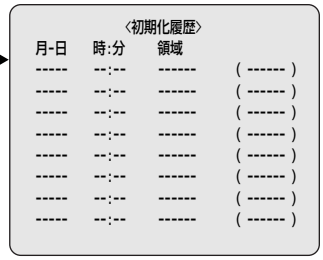
■画面設定（画面入換、自動切換、マスキング、色調）(P69)



■停電の日時やハードディスクなどの使用時間の確認 (P75)



■ハードディスクの初期化履歴の表示 (P76)



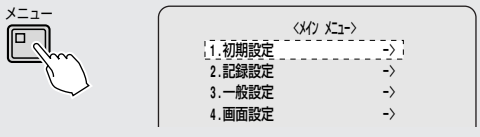
基本設定

メニュー構成

■初期設定画面の表示のしかた

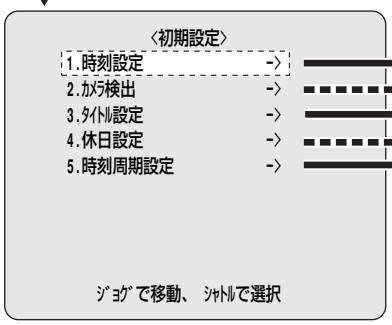
1 メニューボタンを押す

＜メインメニュー＞画面を表示します。



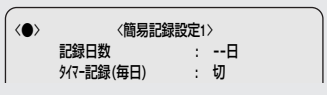
2 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す

＜初期設定＞画面が表示し、選択した画面（**A**～**E**）が表示されますので、設定は各項のページを参照ください。



■録画中のメニュー設定変更

メニュー画面内の左上に＜●＞（録画中）が表示されている場合は、現在録画中のためメニュー変更はできません。メニュー設定を変更するときは、次の設定をおこなってください。



1 ＜メインメニュー＞画面に戻り、シャトル保持ボタンを約3秒押す

画面左上に＜－－＞（メニュー変更可）が表示され、録画は一時中断されます。

2 再びメニュー変更する画面を表示させる

録画中表示が＜－－＞表示になり、メニューの変更が可能になります。

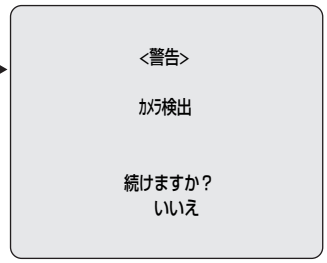
メニュー画面を閉じると、自動的にメニュー変更可表示から＜●＞表示に戻り、録画状態になります。

A 時刻設定

☞ **時刻設定 (P13)**
通常の画面に表示される日付や時刻を設定します。**「操作前の準備」**を参照ください。

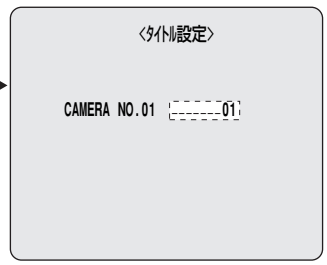
☞ **外部時刻設定 (P34)**
複数の機器を接続したときは、すべての機器を同じ時刻に設定できます。

B カメラ検出 (P34)



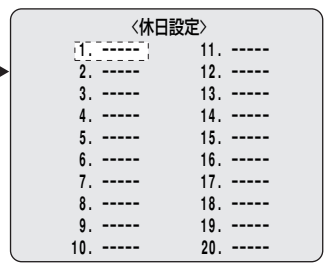
本機に接続しているカメラを自動検出します。

C タイトル設定 (P35)



カメラを設置した場所のタイトル名を設定できます。設定後はモニターに表示されます。

D 休日設定 (P35)



特定の日を休日として設定できます。また、祝日や会社の記念日など、日曜日と同じタイマー動作をおこなうことができます。

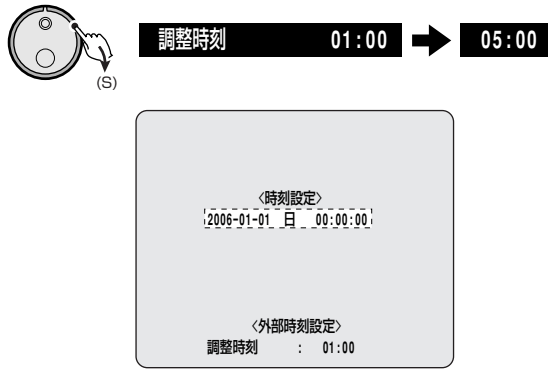
E 時刻周期設定 (P36)

例えば、時刻周期Aの時間帯は自動切換画面に設定し、時刻周期Bの時間帯はカメラ映像にグレーパターン（マスク）で覆うなどの設定ができます。

A 外部時刻設定

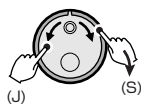
本機後面のコントロール端子の「時計合わせ出力」と2台目の「時計合わせ入力」端子間を接続（図１）することで接続機器を同じ時間に設定できます。

1 Sダイヤルを右に回して、調整時刻の01を点滅させる



2 Jダイヤルを回して、調整時刻（例：05）を選択し、Sダイヤルを右に回す

“分” の設定はできません。



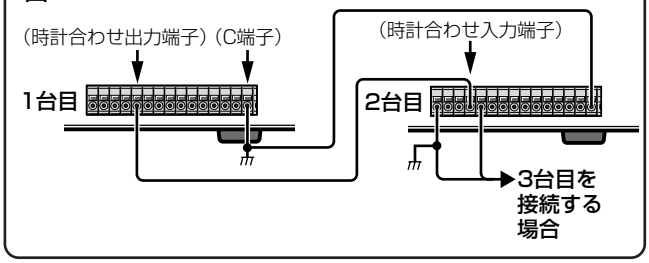
3 終了/画面表示ボタンを押す

本機の設定が終了します。

4 接続した2台目も同じメニューを表示させ、同じ時刻に設定し、終了/画面表示ボタンを押す

1台目の機器が設定した時刻（5時）になると、双方とも5時に設定されます。
但し、2台目以降の機器は、4時30分から5時29分内では時刻調整ができます。

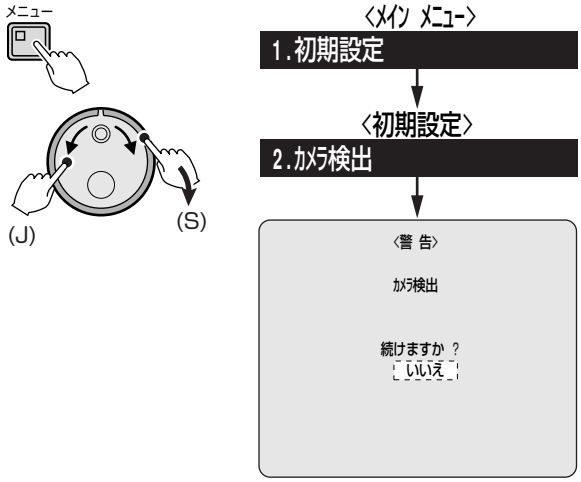
図1



B カメラ検出

1 「初期設定画面の表示のしかた」で＜警告＞画面を表示させる（P33）

＜警告＞画面を表示し、**“いいえ”** が点滅します。



2 Jダイヤルを回して “はい” を選択し、Sダイヤルを右に回す

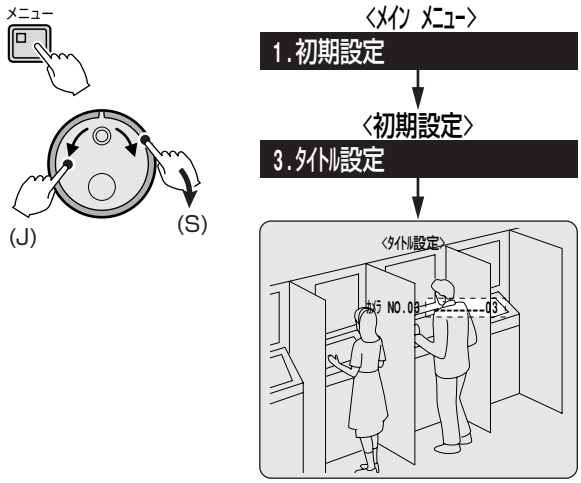
接続しているカメラを検出後、＜初期設定＞画面に戻りますので、**終了/画面表示**ボタンを押してください。

C タイトル設定

タイトル文字はカメラ毎に10文字まで設定できます。

1 「初期設定画面の表示のしかた」で<タイトル設定>画面を表示させる (P33)

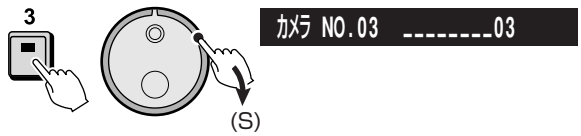
ライブ映像になり、<タイトル設定>画面を表示します。



2 カメラ3の画面にタイトル (例：ATM-1F) を設定する

① カメラ選択ボタン3を押して、Sダイヤルを右に回す

タイトル設定の最初の“ー”が点滅します。

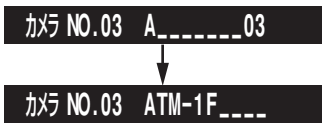


② Jダイヤルを回して、“A”を表示させ、Sダイヤルを右に回す

“A”が確定され、カーソルが次に移動します。

同じ手順をくり返して、タイトルを入力してください。

タイトル文字の詳細は**「カメラタイトル表示一覧」**を参照ください。(P79)



タイトル文字を変更するときは、Sダイヤルを左右に回して文字を点滅させ、Jダイヤルで変更してください。

3 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す

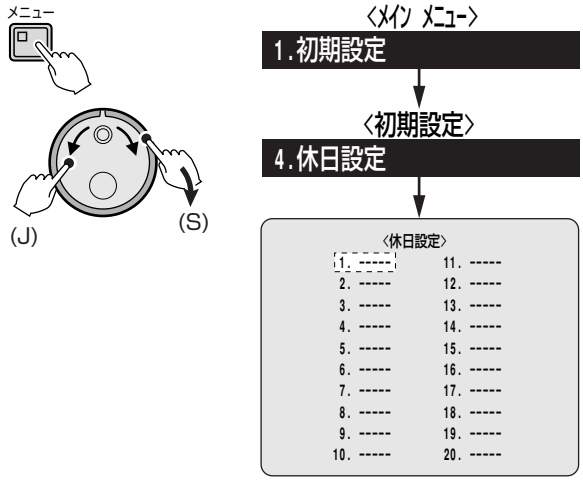
D 休日設定

☞ 設定条件

<タイマー設定>の [日] の開始と終了時間を設定し、「入/切」を “入” に設定する (P50)

1 「初期設定画面の表示のしかた」で<休日設定>画面を表示させる (P33)

<休日設定>画面を表示し、カーソルが **“1”** に移動します。

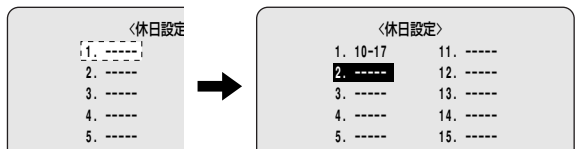


2 休日設定したい日付 (例：10月17日) を入力する

① Sダイヤルを右に回して、Jダイヤルで10 (月) を設定する

② Sダイヤルを右に回して、Jダイヤルで17 (日) を設定する

他に休日設定する箇所に同じ手順をくり返して、日付を設定してください。



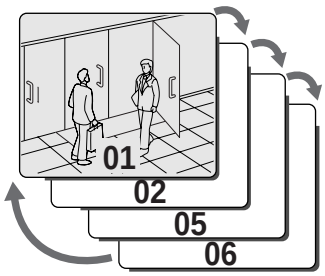
3 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す

E 時刻周期設定

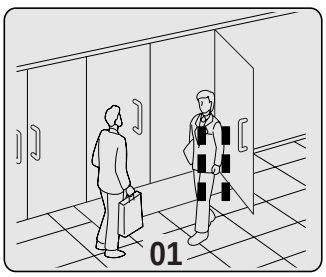
時刻周期とは、1日を4つの監視時間帯（例：早朝、朝、昼、夜）に分けて、時間帯毎に画面自動切換、マスク設定、モーションセンサー検出の設定時間を変えて監視するシステムです。
時刻周期はAとBの設定が可能ですので、人の出入りなどにより、幅広い設定ができます。

（時刻周期Aの設定例）

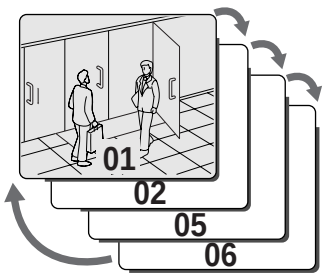
- 6：30～11：30
  画面自動切換



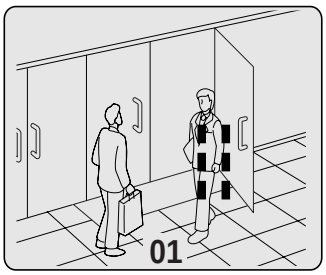
- 11：30～13：30
  モーションセンサー設定



- 13：30～18：30
  画面自動切換

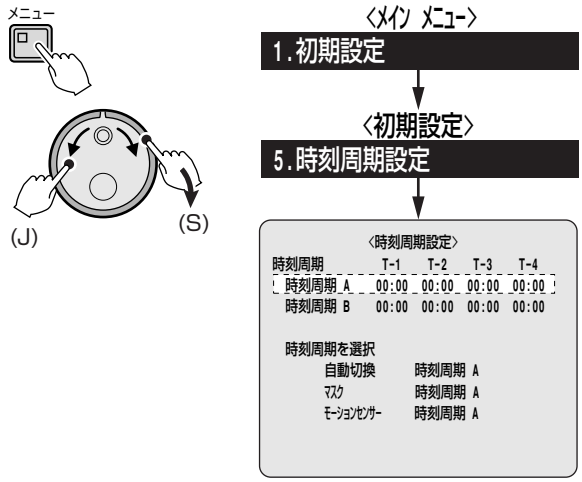


- 18：30～6：30
  モーションセンサー設定



1 「初期設定画面の表示のしかた」で＜時刻周期設定＞画面を表示させる（P33）

＜時刻周期設定＞画面を表示します。



2 時刻周期Aの時間帯を設定する

例：T-1：午前6時30分　T-2：午前11時30分
　　T-3：午後1時30分　T-4：午後6時30分

① Sダイヤルを右に回す
「T-1」の最初の“00”が点滅します。

時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	00:00	00:00	00:00	00:00

時刻周期 A	06	30	11:30	13:30	18:30

② Jダイヤルを回して「T-1」の“06”を選択し、Sダイヤルを右に回す

③ Jダイヤルを回して「T-1」の“30”を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返し、「T-2」から「T-4」までの時間を選択してください。

3 時刻周期Bの時間帯を設定する

例：T-1：午前7時30分　T-2：午前10時30分
　　T-3：午後2時30分　T-4：午後7時30分

時刻周期 B	00:00	00:00	00:00	00:00

時刻周期 B	07	30	10:30	14:30	19:30

① Sダイヤルを右に回す
「T-1」の最初の“00”が点滅します。

② Jダイヤルを回して「T-1」の“07”を選択し、Sダイヤルを右に回す

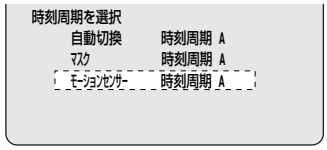
③ Jダイヤルを回して「T-1」の“30”を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順をくり返し、「T-2」から「T-4」までの時間を選択して、Sダイヤルを右に回してください。
時刻周期が設定され、カーソルが**“自動切換”**に移動します。

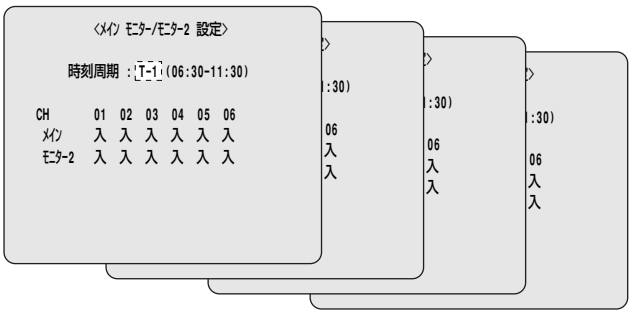
E 時刻周期設定（つづき）

4 設定した時刻周期（A/B）で、自動切換、マスク、モーションセンサーを設定する

時刻周期設定の初期設定はすべて **“A”** に設定されています。時間帯になると各操作は時刻周期Aで動作しますが、時刻周期設定には次の設定が必要です。

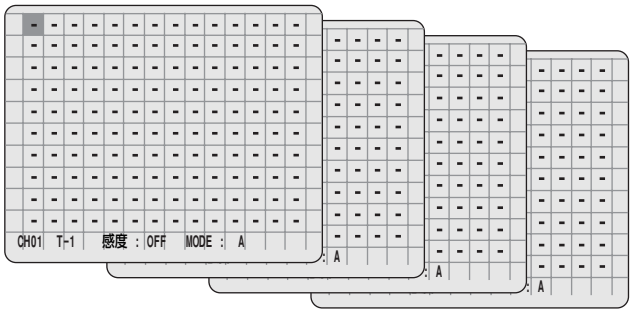


☞ カメラ映像を自動切換にする（P72：B-3）
時間帯（T1～T4）毎にメインモニターまたはモニター2の設定ができます。



☞ 特定のライブ映像を見えなくする（P73）
時間帯（T1～T4）毎に指定のライブ映像を見えないように設定できます。

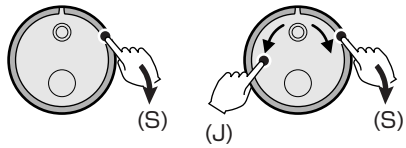
☞ カメラ映像にモーションセンサーを設定する（P57：G-5）
時間帯（T1～T4）毎にライブ映像にモーションセンサーを設定できます。



■各操作の時刻周期を変更する場合

① Sダイヤルを右に回す
自動切換の **“時刻周期A”** が点滅します。

② Jダイヤルで自動切換の「時刻周期B」を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返して、マスクとモーションセンサーの時刻周期を選択してください。



例：
自動切換 時刻周期 A → 時刻周期 B
ﾏｽｸ 時刻周期 A → 時刻周期 B
ﾓｰｼｮﾝｾﾝｻｰ 時刻周期 A → 時刻周期 B

5 設定が終了したら、終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

■時刻周期の時刻設定について

- T-1からT-4間がすべて“00：00”のときは、T-1だけが有効となり、午前0時から翌日の午前0時までをT-1として動作します。
- T-3とT-4間で翌日にまたがるような設定はできません。この様な場合は、T-4を“23：59”に設定してください。

時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	06:00	12:00	18:00	02:00

- T-4に“00：00”を設定すると、T-4が無効となりT-3からT-1にスキップします。動作は、T-3からT-1になります。

時刻周期	T-1	T-2	T-3	T-4
時刻周期 A	06:00	12:00	18:00	00:00

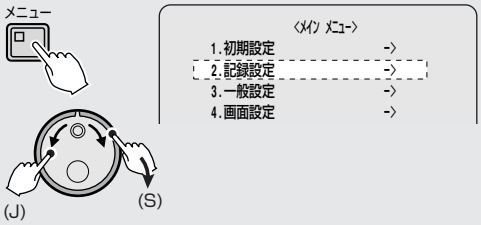
記録設定

メニュー構成

■記録設定画面の表示のしかた

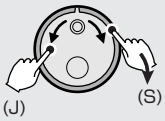
1 メニューボタンを押してJダイヤルで「2.記録設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

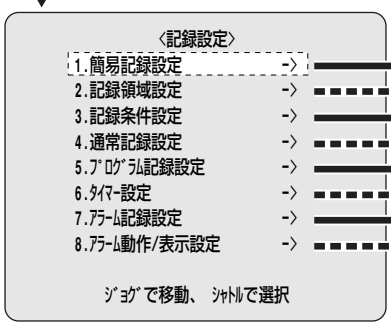
＜記録設定＞画面を表示します。

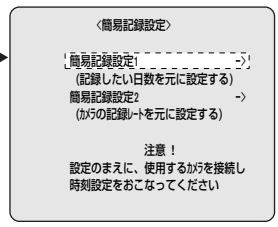


2 Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す

選択した画面（**A**～**H**）が表示されますので、設定は各項のページを参照ください。







A 簡易記録設定

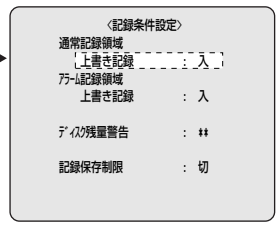
記録日数または記録レートを選択できます。

簡易記録設定1 (P40)：
記録日数を基準にした設定方法

簡易記録設定2 (P41)：
記録レートを基準にした設定方法

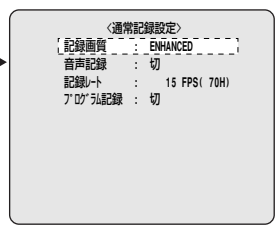
B 記録領域設定 (P42)

ハードディスクの全体容量を表示します。また、各領域（通常記録、アラーム記録、バックアップ）の記録容量の設定ができます。



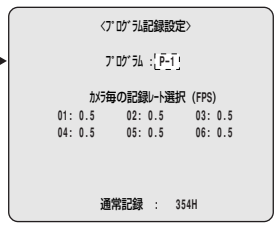
C 記録条件設定 (P45)

ハードディスクの通常記録領域と、アラーム記録領域がいっぱいになったときに、上書きするか停止させるかの設定ができます。



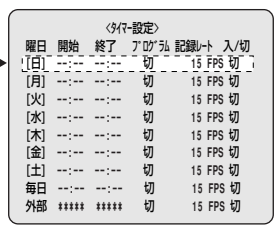
D 通常記録設定 (P47)

画質、音声、記録レート、プログラム記録の設定ができます。



E プログラム記録設定 (P48)

記録する各カメラの記録レートの設定ができます。


〈ﾀｲﾏｰ設定〉
曜日 開始 終了 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 記録ﾚｰﾄ 入/切
[日] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[月] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[火] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[水] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[木] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[金] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[土] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
毎日 --:-- --:-- 切 15 FPS 切
外部 ##### ##### 切 15 FPS 切

F タイマー設定 (P49)

指定した曜日、時間で録画設定ができます。

G アラーム記録設定 (P53)

アラーム記録、プリアラーム記録、モーション(M)センサーの設定ができます。

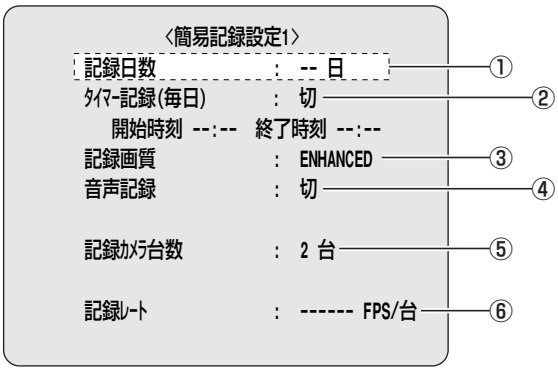
H アラーム動作／表示設定 (P58)

アラーム入力時の動作と表示に関する設定ができます。

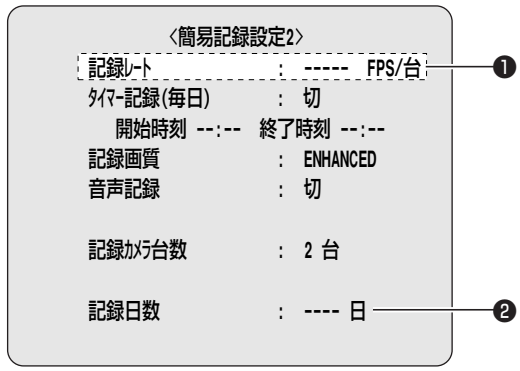
A 簡易記録のメニュー説明

簡易設定には、下記の2種類があります。

☞ 簡易記録設定1 (P40)



☞ 簡易記録設定2（P41）



① 記録日数

1から99まで選択できます。初期値は1です。

② タイマー記録（毎日）

タイマー記録設定を入切できます。

“切” の場合は、開始時刻へはカーソルが移動しません。

③ 記録画質

選択項目：

BASIC（BA）：ラフ画質、約15kB
NORMAL（NO）：標準画質、約22kB
ENHANCED（EN）：準高画質、約30kB
FINE（FI）：高画質、約42kB
SUPER FINE（SF）：最高画質、約50kB

④ 音声記録

音声記録を入切できます。音声記録は記録レートの60から1FPSの範囲で設定可能です。音声記録を“入”にすると記録レートの最初に**A**を表示します。音声は通常記録領域にも記録されるため記録容量は少なくなります。

“記録レート” の音声記録可能範囲外を選択した場合は、音声記録は記録されません。(P80)

⑤ 記録カメラ台数

本機に接続しているカメラ台数を表示します。

⑥ 記録レート

本メニューの設定内容とカメラ台数から、カメラ1台当たりの最大記録レートを表示します。有効な数値が得られない場合は **“エラー！”** と表示します。

その場合は設定内容を変更してください。

❶ 記録レート

選択項目：

60/30/20/15/10/7.5/6/5/4.286/3.75/3.333/3/2.727/2.308/2/1.667/1.429/1.25/1.111/1/0.5/0.333/0.25/0.2/0.1/0.05/0.033

音声記録は60から1FPSの範囲で設定可能です。

❷ 記録日数

本メニューの設定内容とカメラ台数から、カメラ1台当たりの最大記録日数を表示します。有効な数値が得られない場合は **“エラー！”** と表示します。

その場合は設定内容を変更してください。

簡易記録設定は次の操作をすると設定内容が消えます。

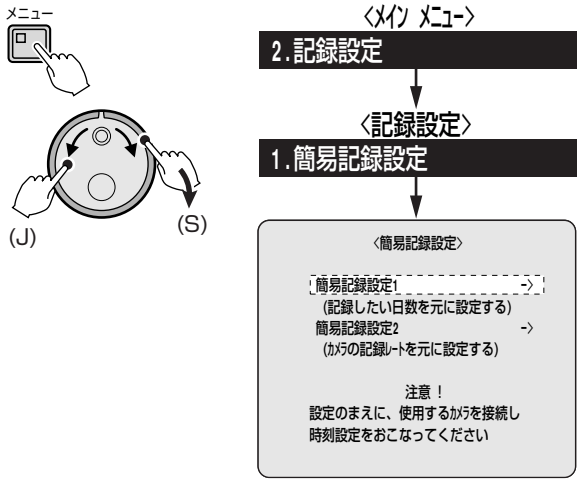
- 本機が検知しているカメラ台数に対して増減があったとき。
- <アラーム記録設定>でプリアラーム記録の設定を“入”に変更したとき。
- コンパクトフラッシュカードからメニュー設定をロードしたとき。
- 別の簡易記録設定をおこなったとき。
- 通常記録設定またはタイマー設定で設定値を変更したとき。
- ハードディスクの交換、各記録領域の変更、ミラーリングの設定変更、もう1台追加したとき。

A-1 簡易記録設定1

記録日数で録画設定をおこなう

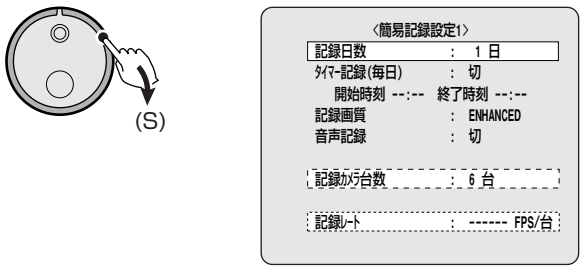
1 「記録設定画面の表示のしかた」で<簡易記録設定>画面を表示させる (P38)

<簡易記録設定>画面を表示します。



2 Sダイヤルを右に2回まわす

<簡易記録設定1>画面を表示して、「記録日数」の“1”が点滅します。



3 Jダイヤルを回して記録日数(例：10)を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「タイマー記録 (毎日)」に移動します。

4 タイマーを設定する

タイマー設定をおこなわない場合は 5 に進んでください。

① Sダイヤルを右に回す
タイマー記録 (毎日) の“切”が点滅します。

② Jダイヤルを回してタイマー記録 (毎日) を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す
カーソルが全時刻設定に移動します。

③ Sダイヤルを右に回す
カーソルが“開始時刻”に移動します。

④ Jダイヤルを回して09 (例) を表示させ、Sダイヤルを右に回す
“00”が点滅します。

⑤ Jダイヤルを回して30 (例) を表示させ、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返して、**終了時刻**を設定してください。カーソルが「記録画質」の **“ENHANCED”** に移動します。

5 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して記録画質を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「音声記録」の“切”に移動します。

6 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して音声記録を“入”選択し、Sダイヤルを右に回す

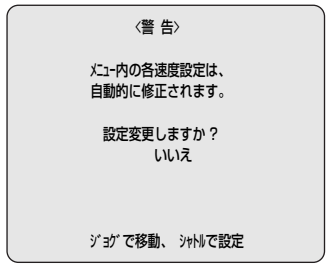
カーソルが「記録日数」に戻ります。

7 Sダイヤルを左に回す

<警告>画面が表示され、“いいえ”が点滅します。

- Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

<簡易記録設定>画面に戻ります。



8 設定が終了したら、終了／画面表示ボタンを押す

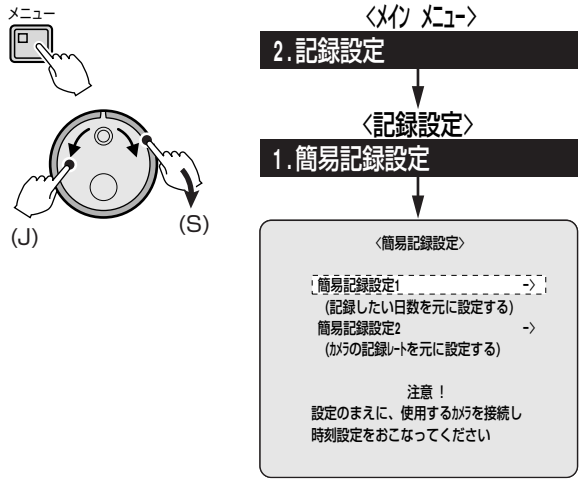
通常の画面に戻ります。

A-2 簡易記録設定2

記録レートで録画設定をおこなう

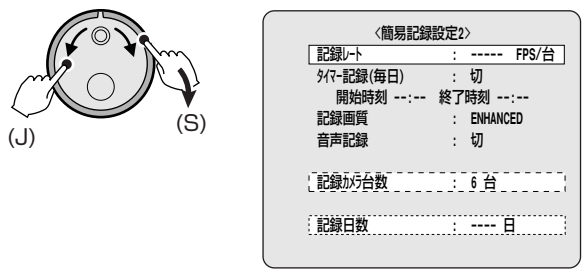
1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜簡易記録設定＞画面を表示させる (P38)

＜簡易記録設定＞画面を表示します。



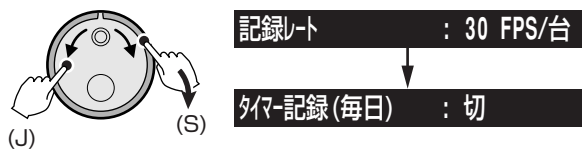
2 Jダイヤルを回して「簡易記録設定2」を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

＜簡易記録設定2＞画面を表示して、「記録レート」の数値が点滅します。数値はハードディスクの容量により異なります。



3 Jダイヤルを回して記録レート (例：30) を選択して、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「タイマー記録 (毎日)」に移動します。



4 タイマーを設定する

タイマー設定をおこなわない場合は5に進んでください。

① Sダイヤルを右に回す
タイマー記録 (毎日) の "切" が点滅します。

② Jダイヤルを回してタイマー記録 (毎日) を "入" に選択し、Sダイヤルを右に回す
カーソルが全時刻設定に移動します。

③ Sダイヤルを右に回す
"開始時刻" の "00" が点滅します。

④ Jダイヤルを回して09 (例) を表示させ、Sダイヤルを右に回す
"00" が点滅します。

⑤ Jダイヤルを回して30 (例) を表示させ、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返して、**終了時刻**を設定してください。カーソルが「記録画質」の **"ENHANCED"** に移動します。

5 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して記録画質を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「音声記録」の "切" に移動します。

6 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して音声記録を "入" 選択し、Sダイヤルを右に回す

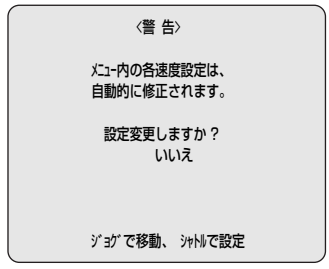
カーソルが「記録レート」に戻ります。

7 Sダイヤルを左に回す

＜警告＞画面が表示され、"いいえ" が点滅します。

- Jダイヤルを回して "はい" を選択し、Sダイヤルを右に回す

＜簡易記録設定画面＞に戻ります。

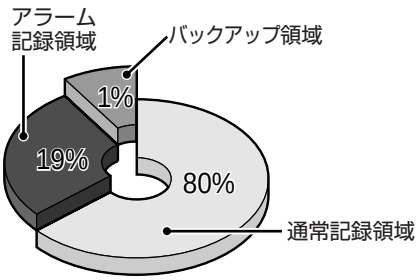


8 設定が終了したら、終了／画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

B 記録領域画面のメニュー説明

ハードディスクの全記録容量と各記録容量の割り当てを確認することができます。各記録領域を変更すると、ハードディスクが初期化され、今までに録画した内容のすべてが消去されます。記録領域を変更する場合は、必要な映像は他の記録媒体に保存してください。



ハードディスク記録領域

① 搭載されているハードディスクの全容量を表示する
ハードディスクを交換すると全容量値は変わります。

② 通常記録領域の記憶容量を設定する
初期値は80%で、0%から99%まで手動で数値を変更できます。通常記録領域を0%に設定した場合は、アラーム記録領域のみに映像が記録されます。

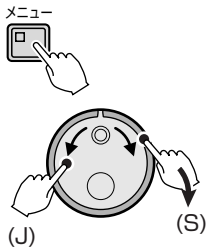
③ ハードディスクの記録容量がいっぱいになった状態で、各記録領域に映像が記録される毎にハードディスクの最初から上書きされる

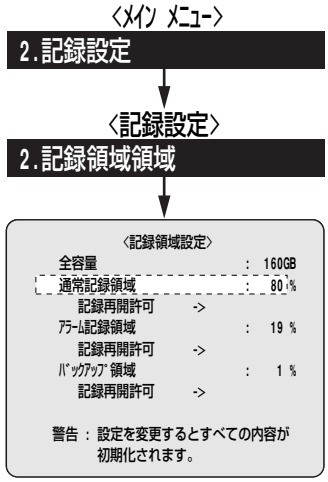
④ アラーム記録領域の記憶容量を設定する
初期値は19%で、0%から99%まで手動で数値を変更できます。
アラーム記録件数の制限は1台のハードディスク当たり16000件です。ハードディスクを増設した場合は、最大32000件まで可能です。ただし、各条件の設定により記録条件が異なります。

⑤ バックアップ領域の記憶容量を設定する
初期値は1%で、上限は99%です。当領域は手動での設定はできません。

■記録領域の容量を確認する

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜記録領域設定＞画面を表示させる (P38)



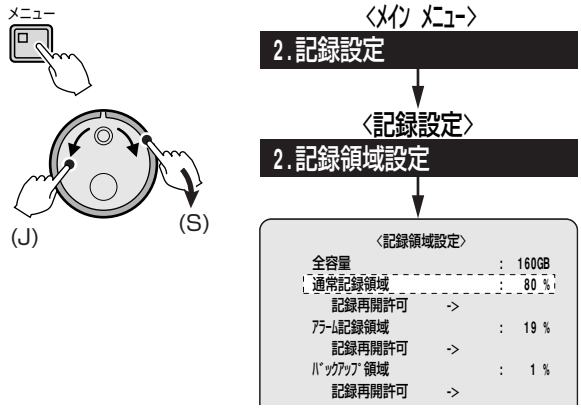


2 終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す

B-1 通常記録領域とアラーム記録領域の変更

記録領域を変更するとハードディスクは初期化されます。

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜記録領域設定＞画面を表示させる (P38)



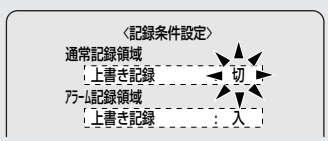
2 Sダイヤルを右に回す

「通常記録領域」の“80”が点滅します。

3 Jダイヤルを回して、通常記録領域（例：50%）に変更し、Sダイヤルを右に2回まわす

「アラーム記録領域」の数値が点滅します。

メモ 本機の初期値は＜記録条件設定＞の通常記録領域またはアラーム記録領域の「上書き記録」では“入”に設定されていますので、通常記録領域を設定後は「記録再開許可」にはカーソルは移動しません。同様にアラーム記録領域にもカーソルは移動しません。
通常記録領域とアラーム記録領域の記録再開許可は、＜記録条件設定＞の「上書き記録」を“切”に設定してください。(P46)

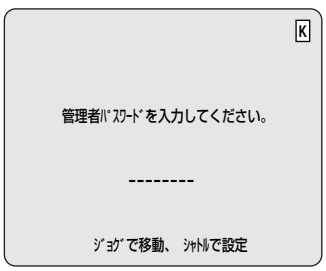


4 Jダイヤルを回して、アラーム記録領域（例：49%）に変更し、Sダイヤルを右に回す

「バックアップ領域」の“記録再開許可”にカーソルが移動します。

5 Sダイヤルを左に回す

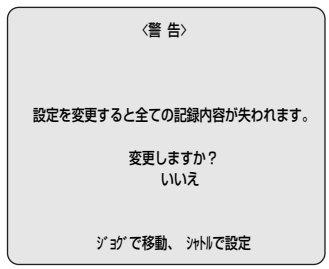
パスワード入力画面が表示されます。



6 パスワードを入力する

Jダイヤルを回して、Sダイヤルを右に回す操作を繰り返してパスワードを入力してください。

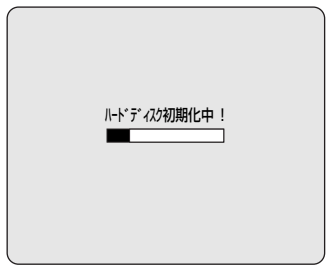
＜警告＞画面が表示し、**“いいえ”**が点滅します。



7 Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

“ハードディスク初期化中！”の画面になり、初期化をおこないます。

初期化が終了すると、＜記録領域設定＞画面に戻ります。



8 終了/画面表示ボタンを押す

16000件以上のアラーム録画をおこなう場合

最初にアラーム記録領域を設定し、次に通常記録領域を*0%に設定してください。件数に関係なく、設定したアラーム領域がいっぱいになるまでアラーム記録をおこないます。
次の場合は、ハードディスクが初期化されます。必要な画像はメディアに保存してください。

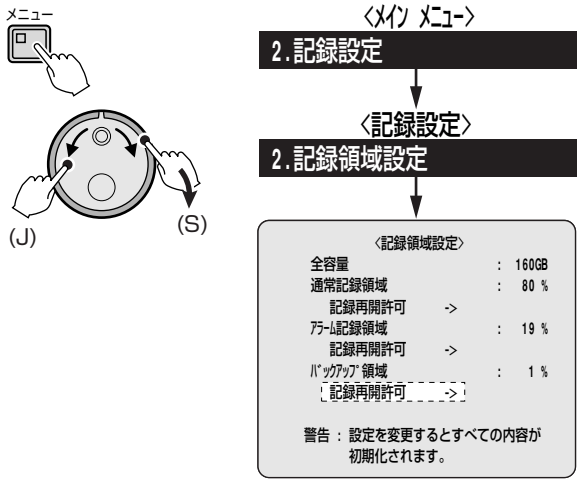
- **通常記録領域：**
  1%～99%を*0%に設定した場合
  *0%を0%～99%に設定した場合
- **アラーム記録領域、バックアップ領域：**
  割合を変更した場合

通常記録領域を*0%に設定して、記録した映像を検索するときは日時サーチのみ可能です。

B-2 バックアップ領域の記録再開許可

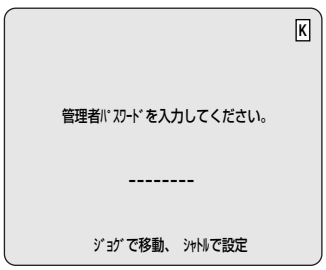
バックアップ領域は自動的に上書きをおこなうことができません。バックアップ領域の記録再開許可をおこなうとバックアップ領域の映像は消去されます。

1 「記録設定画面の表示のしかた」で<記録領域設定>画面を表示させる (P38)

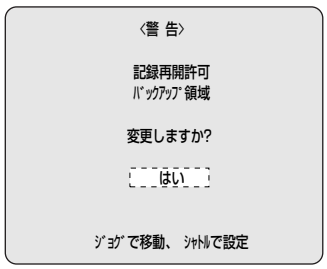


2 Jダイヤルを回して “記録再開許可” を選択し、Sダイヤルを右に回す

<パスワード入力>画面が表示されます。



3 Jダイヤルを回してSダイヤルを右に回す



4 終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す

C 記録条件設定のメニュー説明

ハードディスクの通常記録領域とアラーム記録領域がいっぱいになったときに、上書き録画（録画済み映像は消去）する、または録画を停止させて上書き録画をしないなどを設定します。

① 通常記録領域の「上書き記録」の選択をする

入：通常記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域の最初から上書き録画します。

切：通常記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域への録画を停止します。

② アラーム記録領域の「上書き記録」の選択をする

入：アラーム記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域の最初から上書き録画します。

切：アラーム記録領域がいっぱいになると、自動的にハードディスクの各領域への録画を停止します。

③ ディスク残量警告

ハードディスクの記録残量が指定した残量になると**残量警告ランプ**が点滅します。

各記録領域の「上書き記録」を“切”に切り換えると、「ディスク残量警告」が“＊＊”から“1%”に切り換わり、ディスクの上書き記録が禁止されます。

選択項目：1%、2%、・・・9%、10%

＊＊：上書き記録可

④ 記録保存制限

通常記録領域またはアラーム記録領域に録画した映像の保存期間を設定できます。保存期間を過ぎると映像は自動的に消去されます。

必要な映像はバックアップ領域またはコンパクトフラッシュカードなどに保存してください。

選択項目：切、1、2、3・・・98、99日

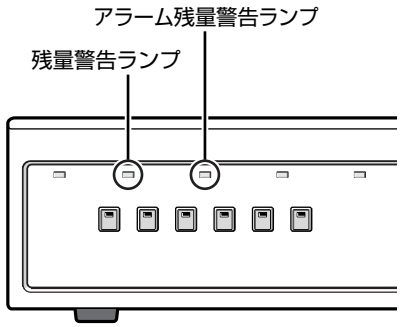
■ディスク残量警告について

（モニター：操作表示部）

上書き記録が「切」のときは、録画中の操作表示部の表示は残量表示に切り換わります。

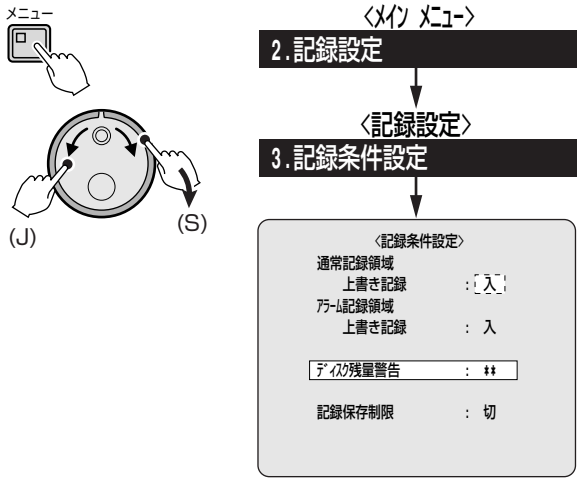
（本機）

例えば、残量表示を5%に指定した場合は、5%以下になると下記の警告ランプが点滅します。容量が完全になくなると、点滅から点灯になり録画を停止します。



C-1 記録領域の上書き記録設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜記録条件設定＞画面を表示させる (P38)

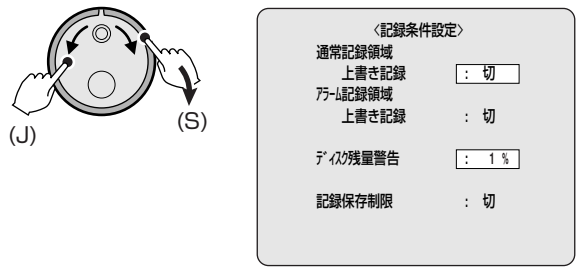


2 Jダイヤルを回して通常記録領域またはアラーム記録領域の「上書き記録」を選択し、Sダイヤルを右に回す

3 Jダイヤルを回して“切”を選択し、Sダイヤルを右に回す

「ディスク残量警告」が“＊＊”から“1%”表示になり、ディスクの上書き記録が禁止されます。

通常記録領域またはアラーム記録領域のどちらかのディスクの残容量が1%になると、本機前面の残量警告ランプが点滅します。



4 ディスク残量警告の割合を変更する

① Jダイヤルを回して「ディスク残量警告」を選択し、Sダイヤルを右に回す

② Jダイヤルを回して残量表示（例：5%）を選択し、Sダイヤルを右に回す
「記録保存制限」にカーソルが移動します。
選択項目：1%、2%・・・9%、10%

5 終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す

C-2 記録領域の保存期間の設定

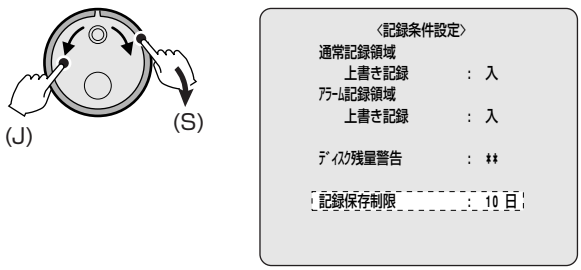
通常記録領域や、アラーム記録領域は保存期間を過ぎると映像は自動的に消えますので、必ず記録保存制限日を確認してください。

1 Jダイヤルを回して「記録保存制限」を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが“切”に移動します。

2 Jダイヤルを回して保存期間（例：10）を選択し、Sダイヤルを右に回す

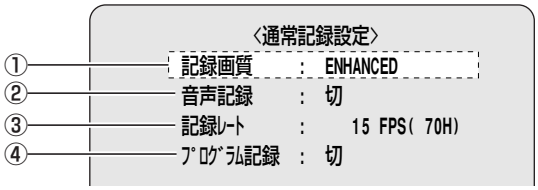
バックアップ領域は記録保存制限になっても映像は消去されません。



3 終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す

D 通常記録設定のメニュー説明

通常記録領域の画質、音声記録、記録レートの設定ができます。さらに、プログラム記録では、グループ毎に設定した記録レートで録画されます。(P50)



① **記録画質**

通常記録領域に記録する画質の選択ができます。画質の種類を選択すると、記録時間が変わります。

選択項目：

BASIC：ラフ画像(BA)/15kB
NORMAL：標準画質(NO)/22kB
ENHANCED：準高画質(EN)/30kB
FINE：高画質(FI)/42kB
SUPER FINE：最高画質(SF)/50kB

② **音声記録**

- 音声記録を **"入"** に切り換えると、記録レートの前に音声記録表示 **"A"** を表示します。全カメラの記録レートの合計がA60からA1FPSの範囲のときに音声の記録ができます。
- 音声は記録したときと同じ速度の場合のみ再生されます。映像と音声の再生には若干のずれが発生します。

③ **記録レート**

記録レートはプリアラーム記録やミラーリングの設定によって制限されます。(P80～P82)

④ **プログラム記録 (P48)**

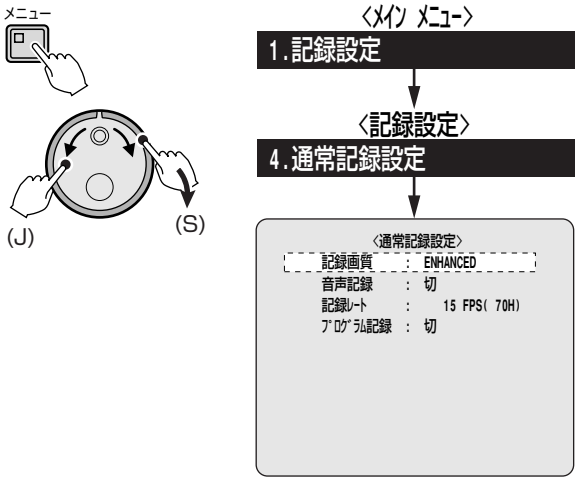
プログラム記録でグループ毎 (P-1～P-4) に録画したいライブ映像を指定して録画できます。グループを選択後、プログラム設定でグループを設定してください。

選択項目：切/P-1/P-2/P-3/P-4

D-1 通常記録領域の設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜通常記録設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

記録画質の "ENHANCED" が点滅します。



2 Jダイヤルを回して、記録画質 (例：FINE) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「音声記録」の "切" が点滅します。

3 Jダイヤルを回して、音声記録(例：入)を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

音声記録表示 "A" が表示し、記録レート値が点滅します。

4 Jダイヤルを回して、記録レート (例：7.5) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「プログラム記録」の "切" が点滅します。

■ プログラム記録を設定する場合は

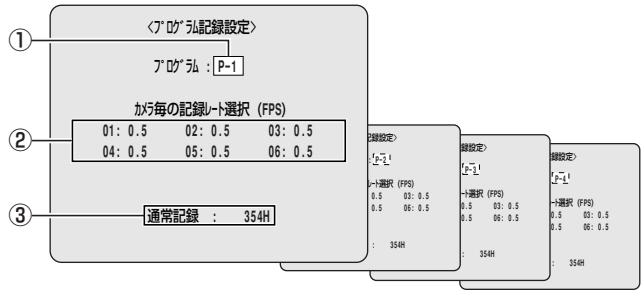
Jダイヤルを回して、プログラム記録 (例：P-1) を選択し、Sダイヤルを右に回す

「記録レート」は＊＊＊になります。

5 終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す

E プログラム記録設定のメニュー説明

プログラム設定は、録画したいライブ映像をグループ (P-1、2、3、4) 毎に設定できます。各グループで録画する、または録画しないカメラを選択し、記録レートを設定することができます。
設定後は＜通常記録設定＞の「プログラム記録」でプログラム番号 (P-1～P-4) を設定します。



① プログラム番号
プログラム番号を選択できます。
選択項目：P-1、P-2、P-3、P-4

② カメラ毎の記録レート選択
録画または録画しないカメラを選択し、記録レートを設定できます。
選択項目：30/15/7.5/3.75/1.875/1/**0.5**/0.333/0.25/0.2/0.1/0.05/0.033/切

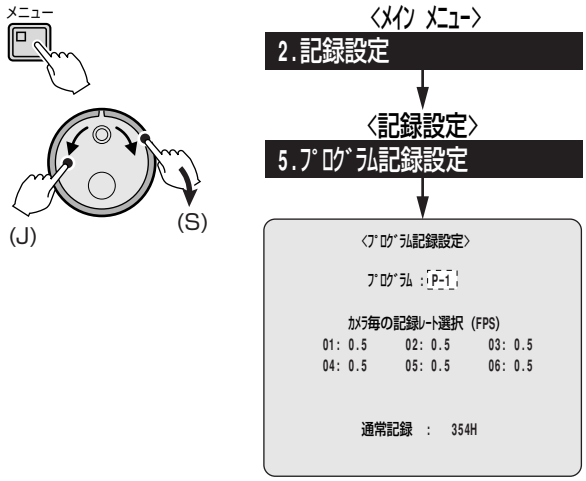
記録レートはプリアラーム記録やミラーリングの設定によって制限されます。(P82)

③ 通常記録
プログラム設定後に各グループの録画可能時間を表示します。

E-1 プログラム記録設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜プログラム記録設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

“P-1” が点滅します。



2 Jダイヤルを回して、プログラム番号 (例：P-2) を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

“0.5” が点滅します。

01: 0.5

3 Jダイヤルを回して、カメラ01 (例：7.5) を選択し、Sダイヤルを右に回す

4 Jダイヤルを回して、カメラ02を選択し、Sダイヤルを右に回す

5 Jダイヤルを回して、カメラ02 (例：15) を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順をくり返して、記録レートを選択してください。

01: 7.5 02: 15 03: 0.5

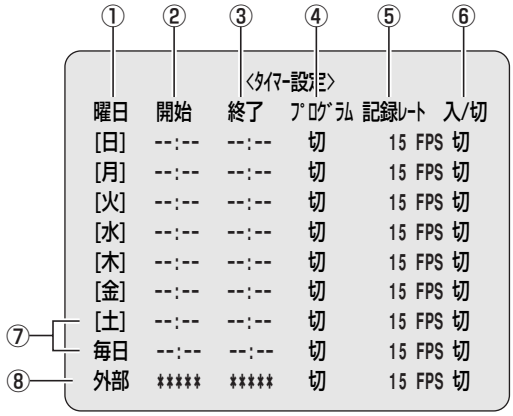
通常記録に録画可能時間を表示し、カーソルがプログラムに移動します。

6 Jダイヤルを回して、他のプログラム番号 (P-2～P-4) を選択し、録画するカメラの記録レートやプログラム記録などを設定させないカメラを設定する

7 終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す

F タイマー設定のメニュー説明

タイマー機能を使用して、録画の開始や終了を設定できます。タイマー機能には、下記の方法があります。


①
②
③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
〈ﾀｲﾏｰ設定〉
曜日 開始 終了 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 記録ﾚｰﾄ 入/切
[日] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[月] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[火] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[水] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[木] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[金] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[土] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
毎日 --:-- --:-- 切 15 FPS 切
外部 ***** ***** 切 15 FPS 切

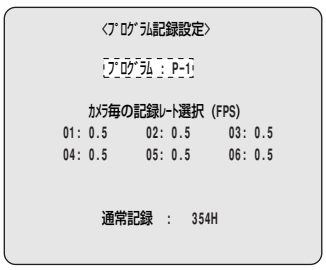
- **曜日（毎日、同時間、同記録レート）タイマー録画（P50）**
  日曜日から土曜日までの曜日を指定して、その日のみをタイマー録画する。
- **毎日（24時間以上）のタイマー録画（P51）**
- **外部タイマー（アラーム）録画（P52）**
  外部タイマー端子からの信号を検知したときに映像を録画する。

① 曜日
タイマー設定をおこなう曜日を選択します。**[日]**から**[土]**までの曜日を点滅させると他の曜日に変更できます。
24時間以上のタイマーを設定するときは、⑦の**[土]**と**毎日**を使用します。
選択項目：日/月/火/水/木/金/土/毎日

② 開始
タイマー録画の開始時間（24時間制）を入力します。

③ 終了
タイマー録画の終了時間（24時間制）を入力します。
開始と終了の時間設定が24時を挟む場合は、終了時間の左側に“T”が表示されます。

④ プログラム
タイマー録画をするときに、プログラム番号（P-1～P-4）を指定できます。（P51）
選択項目：切/P-1/P-2/P-3/P-4



⑤ 記録レート
タイマー録画時の記録レートの変更ができます。
プログラム設定をおこなっている場合は、記録レートが選択されていますので、記録レートの入力はできません。

⑥ 入/切
タイマー設定の入切を選択します。

⑦ [土]/毎日
タイマー設定を24時間以上おこなうときに使用します。

⑧ 外部
後面部の「外部タイマー入力」端子に入力信号が検知（パルス幅１秒以上）されると、ライブ映像を通常記録領域に録画します。

■タイマー録画について

- 画質や音声記録の記録は、＜通常記録設定＞で設定した設定値になります。
- 音声記録をおこなう場合は、「記録レート」を1FPS以上に設定してください。

■タイマー設定が重なった場合

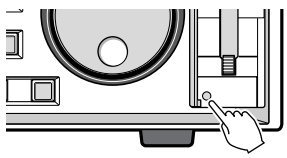
各曜日の予約 → 毎日予約 → 外部入力の順で録画します。

■各曜日、毎日が重なった場合

開始時間の早い方を優先して録画します。開始時間が同じ場合は、メニュー設定の上位を優先します。

■タイマー予約の削除

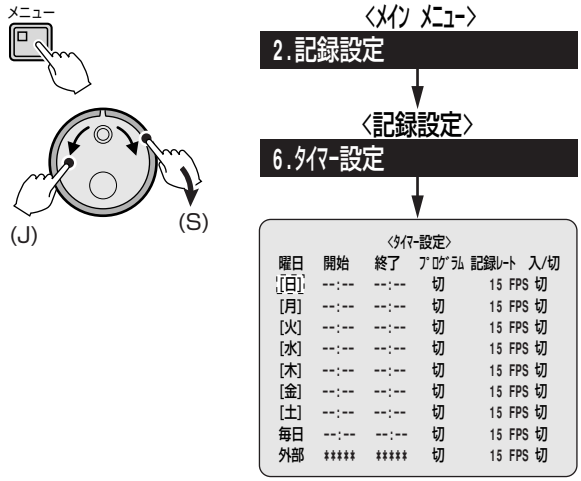
タイマー設定のメニューを表示している状態で、前面部の**メニューリセットボタン**を押してください。



F-1 曜日（毎日、同時間、同記録レート）毎のタイマー録画

1 「記録設定画面の表示のしかた」で<タイマー設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す（P38）

曜日の「日」が点滅します。


メニュー
(J)
(S)
〈メイン メニュー〉
2.記録設定
〈記録設定〉
6.ﾀｲﾏｰ設定
〈ﾀｲﾏｰ設定〉
曜日 開始 終了 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 記録ﾚｰﾄ 入/切
[日] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[月] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[火] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[水] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[木] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[金] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[土] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
毎日 --:-- --:-- 切 15 FPS 切
外部 ***** ***** 切 15 FPS 切

2 タイマー録画を設定する

例：**毎日 08:30 18:30 切 1 FPS 入**

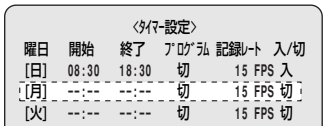
- **曜日**：毎日を設定する
- **開始**：午前8時30分に設定する
- **終了**：午後6時30分に設定する
- **記録レート**：1FPSに設定する
- **入/切**：入に設定する

① Jダイヤルを回して[日]を“毎日”に設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の時間“－－”が点滅します。

② Jダイヤルを回して「開始」を“08”に設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の分“－－”が点滅します。

③ Jダイヤルを回して「開始」を“30”に設定し、Sダイヤルを右に回す
終了の時間“－－”が点滅します。
同じ手順をくり返し、タイマー録画設定例をおこなってください。

④ Jダイヤルを回して「入/切」を“入”に設定し、Sダイヤルを右に回す
[月]の行へカーソルが移動します。

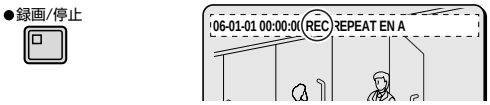


3 終了／画面表示ボタンを押す

4 タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画の待機状態になります。

- **タイマー録画の指定した時間になると**
  録画/停止ランプが点灯し、操作表示部に **“REC”** を表示して録画を開始します。



- **タイマー録画の終了時間になると**
  録画/停止ランプが消えて、録画を終了します。
- **タイマー録画を途中で止めるときは**
  タイマー録画ボタンを押してください。録画を終了し、タイマー録画ランプも消えます。
- **タイマー録画中に再生するには**
  「録画した映像を見る」を参照ください。（P18）

■タイマー録画をプログラム設定する

タイマー録画を設定したあとで、プログラム設定をおこなう場合は、次のように設定してください。

例：**毎日 08:30 18:30 P-1 **** FPS 入**

1 Jダイヤルを回してプログラム（例：P-1）を選択して、Sダイヤルを右に回す

プログラム設定で任意に記録レートを設定していますので、記録レートは“＊＊＊＊”となります。

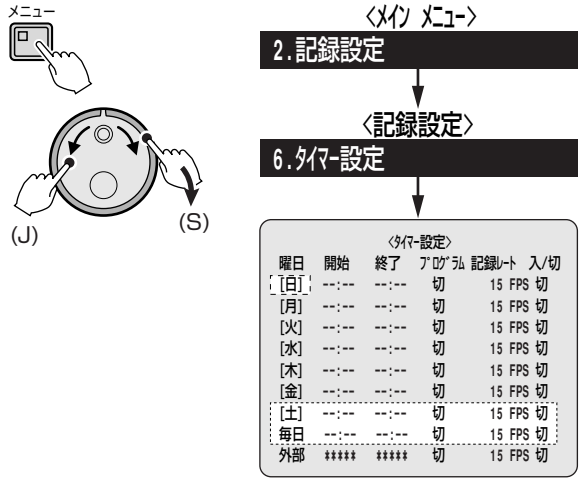
選択項目：P-1、P-2、P-3、P-4

2 Jダイヤルを回して入/切（例：入）を選択して、Sダイヤルを右に回す

3 終了／画面表示ボタンを押す

F-2 毎日（24時間以上）のタイマー録画

1 「記録設定画面の表示のしかた」で<タイマー設定>画面を表示させる（P38）


メニュー
〈ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ〉
2.記録設定
〈記録設定〉
6.ﾀｲﾏｰ設定
(J)
(S)
〈ﾀｲﾏｰ設定〉
曜日 開始 終了 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 記録ﾚｰﾄ 入/切
[日] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[月] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[火] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[水] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[木] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[金] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[土] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
毎日 --:-- --:-- 切 15 FPS 切
外部 ***** ***** 切 15 FPS 切

2 タイマー録画を設定する

例：[月] 10:30 **:** ** **** FPS **

[水] **:** 20:30 切 5 FPS 入

- **曜日（開始）**：月を設定する
- **曜日（終了）**：水を設定する
- **開始**：午前10時30分に設定する
- **終了**：午後8時30分に設定する
- **プログラム**：設定しない
- **記録レート**：5FPSに設定する
- **入/切**：入に設定する

① Jダイヤルを回して[土]を選択し、Sダイヤルを右に回す

② Jダイヤルを回して[土]を“月”に設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の時間“－－”が点滅します。

③ Jダイヤルを回して“10”を設定し、Sダイヤルを右に回す
開始の分“－－”が点滅します。

④ Jダイヤルを回して“30”を設定し、Sダイヤルを右に回す
終了の時間“－－”が点滅します。

⑤ Jダイヤルを回して“＊＊”を設定し、Sダイヤルを右に回す
終了時間以降が＊＊となり、入力不可になります。
「毎日」のラインが自動的に［火］に設定されます。

⑥ Jダイヤルを回して“水”を設定し、Sダイヤルを右に回す
終了の時間“－－”が点滅します。

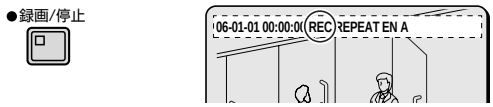
⑦ Jダイヤルを回して“20”を設定し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順をくり返し、タイマー録画設定例をおこなってください。

3 終了／画面表示ボタンを押す

4 タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画の待機状態になります。

- **タイマー録画指定した時間になると**
  録画/停止ランプが点灯し、操作表示部に **“REC”** を表示して録画を開始します。



- **タイマー録画の終了時間になると**
  録画/停止ランプが消えて、録画を終了します。
- **タイマー録画を途中で止めるときは**
  タイマー録画ボタンを押してください。録画を終了し、タイマー録画ランプも消えます。
- **タイマー録画中に再生するには**
  「録画した映像を見る」を参照ください。（P18）

■タイマー録画をプログラム設定する

タイマー録画を設定したあとで、プログラム設定をおこなう場合は、次のように設定してください。

例：[火] **:** 20:30 P-1 **** FPS 入

1 Jダイヤルを回してプログラム（例：P-1）を選択して、Sダイヤルを右に回す

プログラム設定で任意に記録レートを設定していますので、記録レートは“＊＊＊＊”となります。

選択項目：P-1、P-2、P-3、P-4

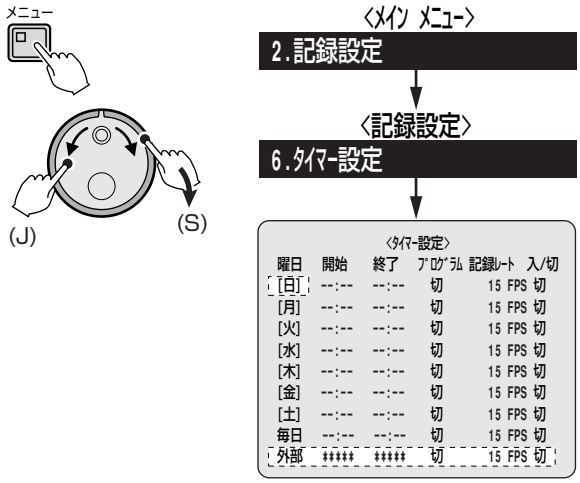
2 Jダイヤルを回して入/切（例：入）を選択して、Sダイヤルを右に回す

3 終了／画面表示ボタンを押す

F-3 外部タイマー（アラーム）録画

1 後面部の外部タイマー入力端子に、外部タイマー用の部品などを接続する（図1）

2 「記録設定画面の表示のしかた」で<タイマー設定>画面を表示させる（P38）


メニュー
(J)
(S)
〈ﾒｲﾝ ﾒﾆｭｰ〉
2.記録設定
〈記録設定〉
6.ﾀｲﾏｰ設定
〈ﾀｲﾏｰ設定〉
曜日 開始 終了 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ 記録ﾚｰﾄ 入/切
[日] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[月] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[火] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[水] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[木] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[金] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
[土] --:-- --:-- 切 15 FPS 切
毎日 --:-- --:-- 切 15 FPS 切
外部 ***** ***** 切 15 FPS 切

3 タイマー録画を設定する

例：外部 ***** ***** 切 5 FPS 入

- **プログラム**：設定しない（切）
- **記録レート**：5FPSに設定する
- **入/切**：入に設定する

① Jダイヤルを回して「外部」を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「記録レート」の“15”が点滅します。

② Jダイヤルを回して“5”を設定し、Sダイヤルを右に回す
「入/切」の“切”が点滅します。

③ Jダイヤルを回して“入”を設定し、Sダイヤルを右に回す

4 終了／画面表示ボタンを押す

5 タイマー録画ボタンを押す

タイマー録画ランプが点灯し、タイマー録画の待機状態になります。

- **タイマー録画を途中で止めるときは**
  タイマー録画ボタンを押してください。録画を終了し、タイマー録画ランプも消えます。
- **タイマー録画中に再生するには**
  「録画した映像を見る」を参照ください。（P18）

■タイマー録画をプログラム設定する

タイマー録画を設定したあとで、プログラム設定をおこなう場合は、次のように設定してください。

例：外部 ***** ***** P-1 **** FPS 入

1 Jダイヤルを回してプログラム（例：P-1）を選択して、Sダイヤルを右に回す

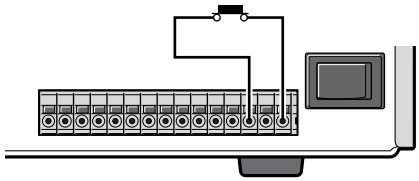
プログラム設定で任意に記録レートを設定しておりますので、記録レートは＊＊＊＊となります。

選択項目：P-1、P-2、P-3、P-4

2 Jダイヤルを回して入/切（例：入）を選択して、Sダイヤルを右に回す

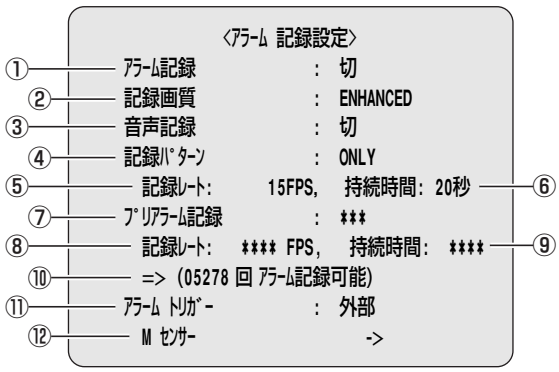
3 終了／画面表示ボタンを押す

図1



G アラーム記録設定のメニュー説明

アラーム記録設定には次の設定があります。



- **アラーム記録 (P54)**
  アラーム検出時に、アラーム記録領域の画質、音声記録、記録レートの設定をおこなう。
- **プリアラーム記録 (P55)**
  プリアラーム時の記録レート、持続時間の設定をおこなう。
- **アラームトリガー (P55)**
  アラームの検出方法を選択します。
- **M (モーション) センサー (P57)**

① アラーム記録
アラーム録画の入切の設定と、タイマー録画中などにアラーム録画をおこなうかを選択します。
“切”を選択した場合は、他の設定はできません。
選択項目：
切：アラーム録画をおこなわない。
入：タイマー録画に関係なく、常時アラーム録画をおこなう。
タイマー中アラーム：
タイマー録画中のみアラーム録画をおこなう。
タイマー外アラーム：
タイマー録画中以外のアラーム録画をおこなう。
タイマー中アラームのみ：
タイマー設定で設定した時間中のみアラーム録画をおこなう。本項目を選択した場合は、タイマー録画はできなくなり、タイマー録画ボタンの操作はできなくなります。

② 記録画質
画質を選択できます。
選択項目：
BASIC/NORMAL/ENHANCED/FINE/SUPER FINE

③ 音声記録
音声記録を入切できます。
音声記録は記録レートの30から1 FPSの範囲で設定可能です。その場合は記録レートの最初にAを表示します。
音声はアラーム記録領域にも記録されるため記録容量は少なくなります。
記録レートの音声記録可能範囲外を選択した場合は、音声記録は記録されません。

④ 記録パターン
選択項目：
ONLY：アラームが入ったライブ映像のみを録画する。
SW：アラームが入ったライブ映像と接続されているすべてのライブ映像を交互に録画する。

⑤ 記録レート
下記のから選択できます。
選択項目：
30/20/15/10/7.5/6/5/4.286/3.75/3.333/3/2.727/2.308/2/1.667/1.429/1.25/1.111/1/0.5/0.333/0.25/0.2/0.1/0.05/0.033
音声記録は30から1 FPSの範囲で設定可能です。

⑥ 持続時間
アラーム１回当たりの記録時間を次から選択できます。
選択項目：
5秒/10/20/40/1分/2/3/4/5/10/15/CC
CC：1つのアラームが入っている期間に動作（最短5秒）します。

⑦ プリアラーム記録
切：プリアラーム録画をおこなわない。
入：プリアラーム録画をおこなう。

⑧ 記録レート
記録レート設定のプリアラーム録画時間を参照ください。(P82)

⑨ 持続時間
プリアラーム録画時間を参照ください。(P82)

⑩ アラーム記録可能回数

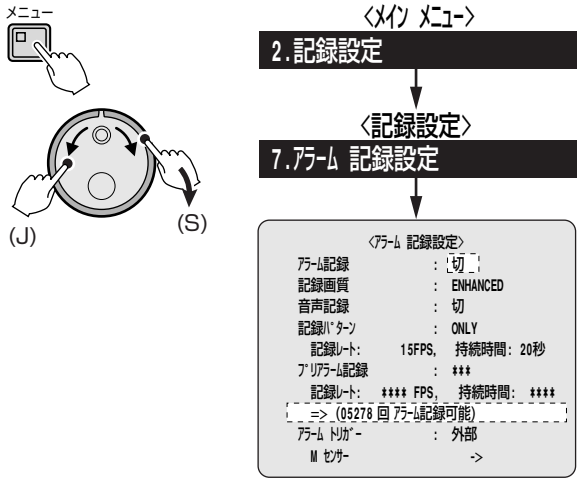
⑪ アラームトリガー
アラーム検出方法を次から選択できます。
外部：外部アラームが入ったときにアラーム録画する。
Mセンサー：
モーションセンサーが動きを検知したときアラーム録画する。(P57)
外部 AND Mセンサー：
外部アラームとモーションセンサーの両方が同時に検知するとアラーム録画する。
外部 OR Mセンサー：
外部アラームとモーションセンサーのどちらかを検知するとアラーム録画する。

⑫ Mセンサー
モーションセンサーの設定画面を表示します。

G-1 アラーム記録設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜アラーム記録設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

「アラーム記録」の“切”が点滅します。



2 アラーム記録を設定する

① Jダイヤルを回してアラーム記録項目を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

選択項目：切/入/タイマー中アラーム/タイマー外アラーム/タイマー中アラームのみ

② Jダイヤルを回して記録画質を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

アラーム記録可能回数 (=>) を表示 (目安) します。

選択項目：BASIC/NORMAL/ENHANCED/FINE/SUPERFINE

③ Jダイヤルを回して音声記録を“入”に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

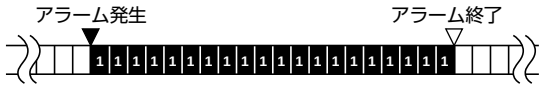
記録レートに“A (音声記録表示)”とアラーム記録可能回数 (=>) を表示します。

④ Jダイヤルを回して記録パターンを選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

選択項目：ONLY/SW

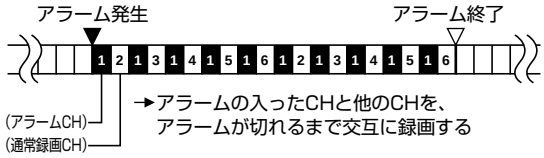
ONLYを選択した場合

アラームが入ったライブ映像のみ、アラームが解除されるまで録画します。



SWを選択した場合

アラームが入ったライブ映像と接続されているすべてのライブ映像を交互に録画します。



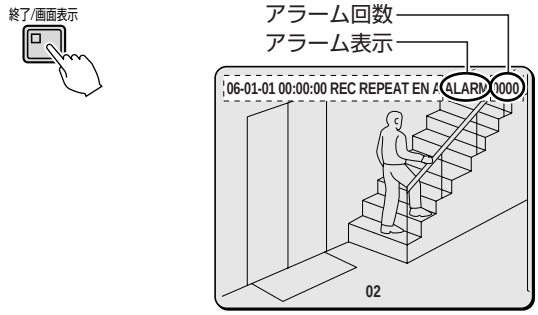
⑤ Jダイヤルを回して記録レートを“5”に選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順で持続時間も選択してください。

3 終了/画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

- 操作表示部には **“ALARM”** とアラーム記録回数が表示されます。
- アラームを検知すると、**“ALARM”** 表示が点滅します。

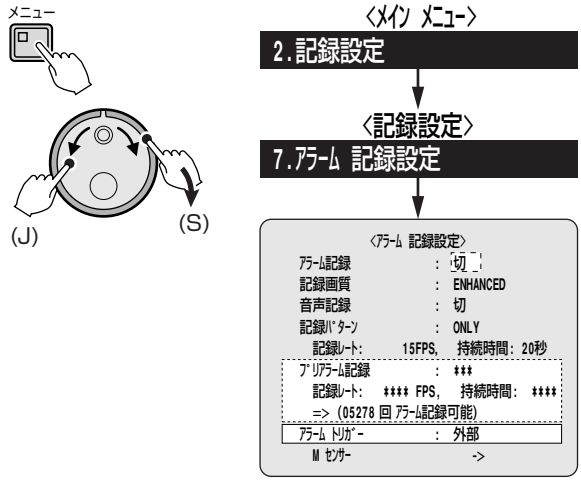


☞ **接続時間内に同じチャンネルに続けてアラームを検知した場合は、アラームトリガー設定で1つのアラームとしてカウントします。(P58)**

G-2 プリアラーム記録設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」で<アラーム記録設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P38)

「アラーム記録」の “切” が点滅します。



2 プリアラーム記録を設定する

① Jダイヤルを回してアラーム記録を “入” に選択し、Sダイヤルを右に回す

「プリアラーム記録」の “＊＊＊” が “切” に切り換わります。

ﾌﾟﾘｱﾗｰﾑ記録 : 切

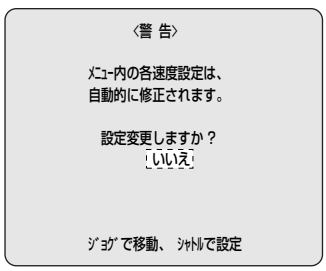
② Jダイヤルを回してプリアラーム記録を選択し、Sダイヤルを右に回す

「プリアラーム記録」の “切” が点滅します。

③ Jダイヤルを回してプリアラーム記録を “入” に選択し、Sダイヤルを右に回す

「記録レート」と「持続時間」の “＊＊＊＊” が数値に変わり、<警告>画面を表示し、**“いいえ”** が点滅します。

記録ﾚｰﾄ : A 15FPS, 持続時間: 1分



④ Jダイヤルを回して “はい” を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「記録レート」に移動します。

⑤ Sダイヤルを右に回す

⑥ Jダイヤルを回して記録レート (例：7.5) を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順で持続時間 (例：20) も選択してください。

アラーム記録可能回数 (=>) を表示 (目安) します。

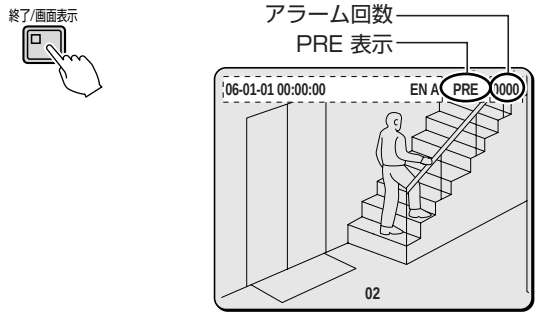
記録ﾚｰﾄ : A 7.5FPS, 持続時間: 20秒

=> (00694回 ｱﾗｰﾑ記録可能)

3 終了/画面表示ボタンを押す

操作表示部には **“PRE”** が表示されます。

アラームを検知すると、**“ALARM”** 表示が点滅します。



G-3 アラームトリガーの設定

1 Jダイヤルを回してアラームトリガーを選択し、Sダイヤルを右に回す

“外部” が点滅します。

選択項目：外部/Mセンサー/
外部 AND Mセンサー/
外部 OR Mセンサー

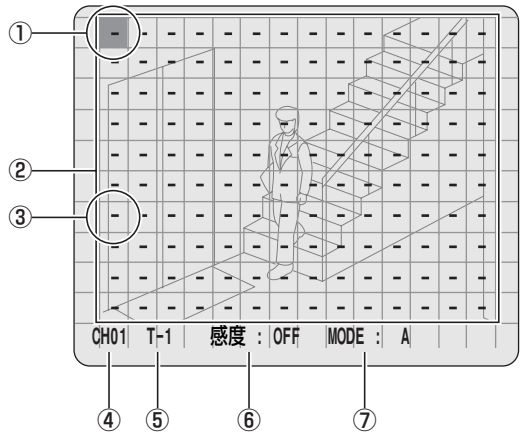
ｱﾗｰﾑ ﾄﾘｶﾞｰ : 外部

2 Jダイヤルを回して “外部” を選択し、Sダイヤルを右に回す

3 終了/画面表示ボタンを押す

G-4 モーションセンサーの説明

各ライブ映像上にモーションセンサーを設定し、侵入者などの動く被写体を検知するとアラームを鳴らすことができます。
モーションセンサーは、画面上の輝度変化によって動きを検知します。センサーを設定する場合は、映像を検知する場所や対象物に合わせた感度設定をおこなってください。



① カーソル
初期状態は左上部に表示します。Jダイヤルで左右へ移動できます。

② センサー設定範囲
この範囲内の映像にモーションセンサーの検知ができます。

③ モーションセンサー
検知箇所によりセンサーの種類を選択できます。Jダイヤルで変更できます。
－：センサーを切る
A：センサーAで検出する
B：センサーBで検出する

④ カメラ番号表示（CH01）
モーションセンサーを設定するカメラ番号を選択します。カメラ選択ボタンを押すと切り換わります。
選択項目：CH01/CH02・・・CH5/CH6

⑤ 時刻周期（T-1）
本機は時間帯を時刻周期Aと時刻周期Bの2ブロックで設定でき、時間帯毎にセンサー設定ができます。
時刻周期の設定を参照ください。（P36）
選択項目：T-1/ T-2/ T-3/ T-4

⑥ 感度
モーションセンサーの感度を設定します。
OFF：感度の設定をしない。
1（高感度）～10：感度を選択する。

☞ **モーションセンサーの感度チェック**
センサーが動きを検知すると、センサー（▪）が緑色から赤色に変わり、ブザー<ピッ音>が鳴ります。
感度の設定を高くすると、少しの光の変化にも反応しやすくなりますので、設定する場所に合わせて設定してください。

☞ **モーションセンサーの録画を止める**
録画中に<アラーム記録設定>画面を表示させ、カーソルを「Mセンサー」に合わせてSダイヤルを右に回すと、モーションセンサー画面を表示しますので、選択中のカメラ選択ボタンを押して、「感度」を“OFF”にしてください。

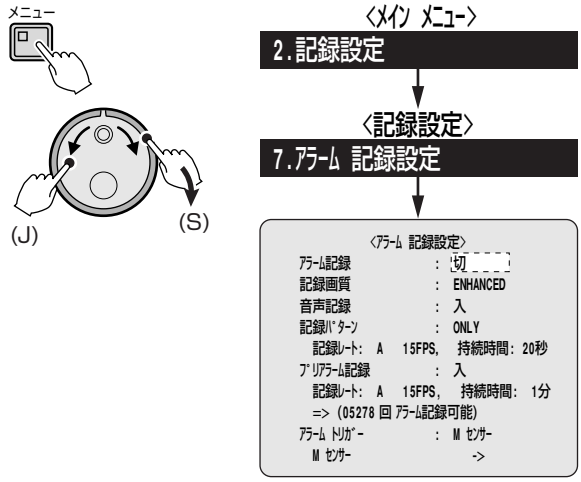
⑦ MODE
モーションセンサーの検知方法を設定します。
選択項目：
A：この表示の箇所で動きのある被写体を検知する
B：この表示の箇所で動きのある被写体を検知する
A AND B：
AとBとを設定した箇所で同時に動きのある被写体を検知する
A AND NB：
動きのある被写体をA、動きのない被写体をBに設定しておくと、同時に検出するような明るさの変化などには反応せずに、動きのあるAの被写体のみを検知する
A TO B：
AからBに通過する被写体を検知する（AとB間は2秒以内）
B TO A：
BからAに通過する被写体を検知する（BとA間は2秒以内）
C：
画面全体が均等な状態に変化した（スプレーなどのいたずら）場合に検知する。モーションセンサー設定は必要ありません。

G-5 モーションセンサー設定

1 <時刻周期設定>で“時刻周期A”と“時刻周期B”の設定をおこなう（P36）

2 「記録設定画面の表示のしかた」で<アラーム記録設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す（P38）

「アラーム記録」の“切”が点滅します。



3 Mセンサー画面を表示させる

① Jダイヤルを回してアラーム記録を“入”に選択し、Sダイヤルを右に回す

② Jダイヤルを回して“アラームトリガー”を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが“Mセンサー”に移動します。

選択項目：外部/Mセンサー/
外部 AND Mセンサー/
外部 OR Mセンサー

③ Jダイヤルを回して“Mセンサー”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

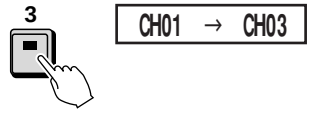
モーションセンサー画面を表示します。

4 モーションセンサーを設定する

例：
- **カメラ番号選択**：3チャンネル（CH03）
- **時刻周期A**：T-1
- **感度**：2
- **MODE（検出方法）**：A AND B

① カメラ選択ボタン3を押す

チャンネル表示が“CH03”になります。



② Jダイヤルを回してセンサーを設定したい位置にカーソルを移動させ、Sダイヤルを右に回す

③ Jダイヤルを回してセンサーを“A”に設定し、Sダイヤルを右に回す

Aを確定して、カーソルが右に1つ移動します。

同じ手順でカーソルを移動させ、センサーを**“A”**または**“B”**に設定してください。

④ Jダイヤルを回してカーソルを時刻周期選択の“T-1”に移動させ、Sダイヤルを右に回す

“T-1”が点滅します。

⑤ Jダイヤルを回して“T-2”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

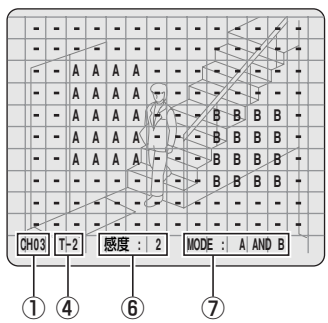
「感度」の“OFF”が点滅します。

⑥ Jダイヤルを回して“感度”を“2”に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「MODE」の“A”が点滅します。

⑦ Jダイヤルを回して“MODE”の“A AND B”を選択し、Sダイヤルを右に回す

検知設定が確定され、カーソルが左上に移動します。

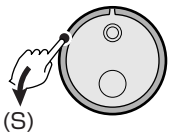


5 同じ手順で次の項目を設定する

- カメラ番号選択
- 時刻周期
- 感度
- MODE

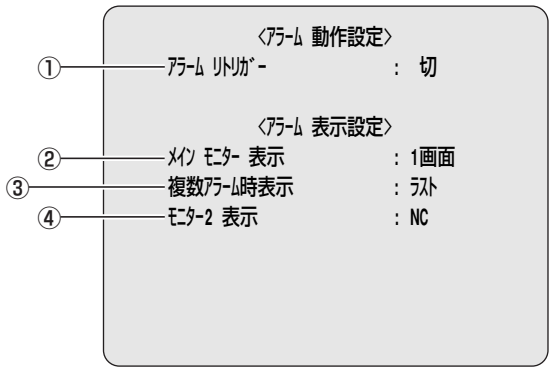
6 終了するときは、Sダイヤルを左に回す

<アラーム記録設定>画面に戻ります。



H アラーム動作/表示設定のメニュー説明

この設定では、アラーム録画時の持続時間の延長とアラーム時の表示方法を設定します。

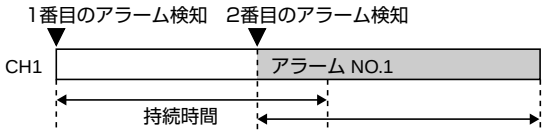


① アラームリトリガー

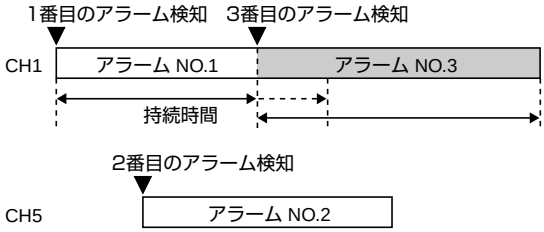
アラーム録画中に同じチャンネルにアラームを受けたときに、持続時間の延長あるいは、延長しないを選択できます。

「入」を選択した場合

(1) アラーム録画中に、同じチャンネルで2番目のアラームを検知した場合は、2番目のアラームを検知した時点から、設定している持続時間分の記録時間を延長します。

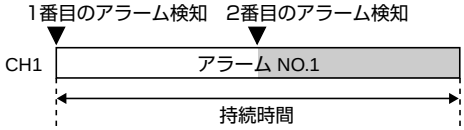


(2) アラーム録画中に、他のチャンネルで2番目と、同じチャンネルで3番目のアラームを検知した場合は、3番目のアラームを検知した時点で、1番目のアラーム記録を終了し、3番目アラーム記録を始めます。他のチャンネル（CH5）の場合は、設定している持続時間分で記録します。

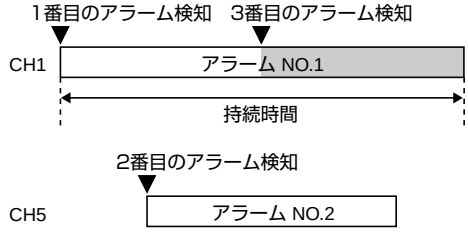


「切」を選択した場合

(1) 設定している持続時間内に同じチャンネルで検知されたアラームは認識されないので、持続時間終了時点で、記録を終了します。ただし、1番目のアラーム記録の中には2番目のアラームが記録されます。



(2) アラーム録画中に、他のチャンネルで2番目と、同じチャンネルで3番目のアラームを検知した場合は、3番目のアラームを検知した時点で、1番目のアラーム記録を終了し、3番目アラーム記録を始めます。他のチャンネル（CH5）の場合は、設定している持続時間分で記録します。



② メインモニター表示

アラームを検知したときに表示する画面を選択できます。

NC：アラームを検知しても、メインモニターは変化しません。

1画面：アラームを検出すると、メインモニターはアラームを受けたチャンネルの映像を1画面にする。

6画面：アラームを検出すると、メインモニター画面を6画面にする。

③ 複数アラーム時表示

複数のアラームが重なったときに、アラームを表示する優先権を選択できます。

ラスト：複数のアラームが重なったとき、後から検知したアラームを優先して表示する。

トップ：複数のアラームが重なったとき、最初に検知したアラームのみを表示し、後から検知したアラームは表示しない。
ただし、最初に検知したアラームの持続時間が超過すると、持続時間の残っているアラームでアラーム回数の若いアラームを表示する。

切換：複数のアラームが重なったとき、重なったアラームを1秒間隔で切り換えて表示する。

④ モニター2表示

アラーム時にモニタ2に接続したモニターにアラーム映像を表示させるかを選択できます。

NC：アラームを検知しても、モニター2にアラーム映像を表示しない。

切換：複数のアラームが重なったとき、重なったアラームを1秒間隔で切り換えて表示する。

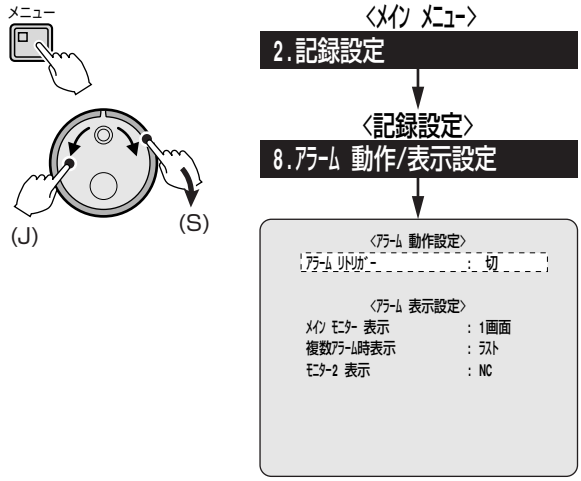
ラスト：複数のアラームが重なったとき、後から検知したアラームを優先して表示する。

トップ：複数のアラームが重なったとき、最初に検知したアラームのみを表示し、後から検知したアラームは表示しない。
ただし、最初に検知したアラームの持続時間が超過すると、持続時間の残っているアラームでアラーム回数の若いアラームを表示する。

H-1 アラーム動作設定

1 「記録設定画面の表示のしかた」で＜アラーム動作設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す（P38）

「アラームトリガー」の **“切”** が点滅します。



2 Jダイヤルを回してアラームトリガー（例：入）を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「メインモニター表示」へ移動します。

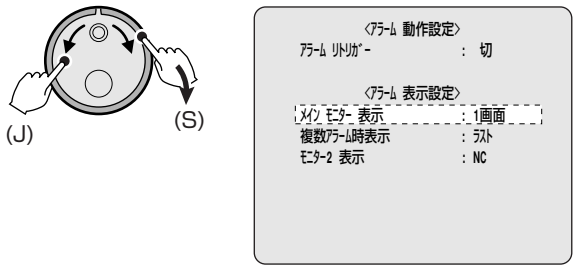
3 設定が終了したら、終了／画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

H-2 アラーム表示設定

1 Jダイヤルを回してメインモニター表示を選択し、Sダイヤルを右に回す

「メインモニター表示」の **“1画面”** が点滅します。



2 Jダイヤルを回してメインモニター表示（例：1画面）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

選択項目：1画面/6画面/ＮＣ

「複数アラーム時表示」の“ラスト”が点滅します。

3 Jダイヤルを回して複数アラーム時表示（例：トップ）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

選択項目：ラスト/トップ/切換

「モニター2表示」の“NC”が点滅します。

4 Jダイヤルを回してモニター2表示（例：ラスト）を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：NC/切換/ラスト/トップ

カーソルが「アラームリトリガー」へ移動します。

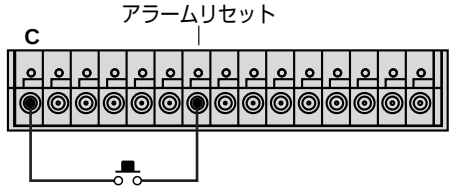
5 設定が終了したら、終了／画面表示ボタンを押す

通常の画面に戻ります。

■アラームを解除する

- **アラーム動作中に強制的にアラーム解除する場合**
  アラームの入ったチャンネルのカメラ選択ボタンを約3秒間押す。

- **アラーム検出時にスイッチで解除する場合**
  後面部のアラームリセット端子とC（アース）間にスイッチを設置し、アラーム検出時にスイッチを入れる。



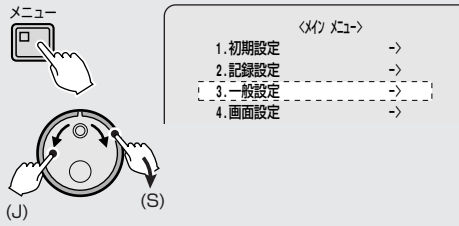
一般設定

メニュー構成

■一般設定画面の表示のしかた

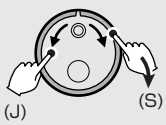
1 メニューボタンを押してJダイヤルで「3.一般設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

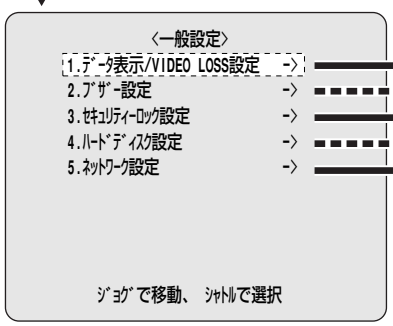
＜一般設定＞画面が表示します。

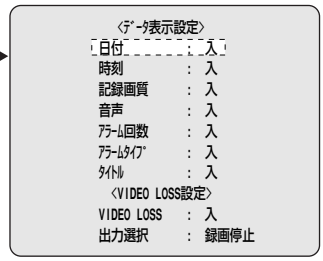


2 Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す

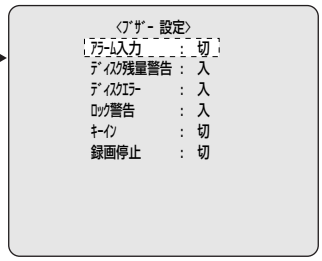
選択した画面（**A**～**E**）が表示されますので、設定は各項のページを参照してください。



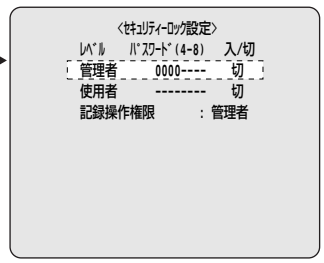




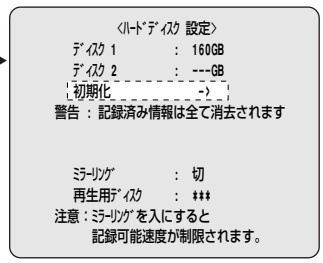
A データ表示設定/VIDEO LOSS設定 (P61)



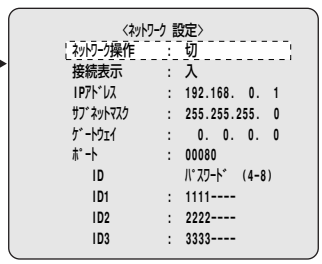
B ブザー設定 (P62)



C セキュリティーロック設定 (P63)



D ハードディスク設定 (P67)



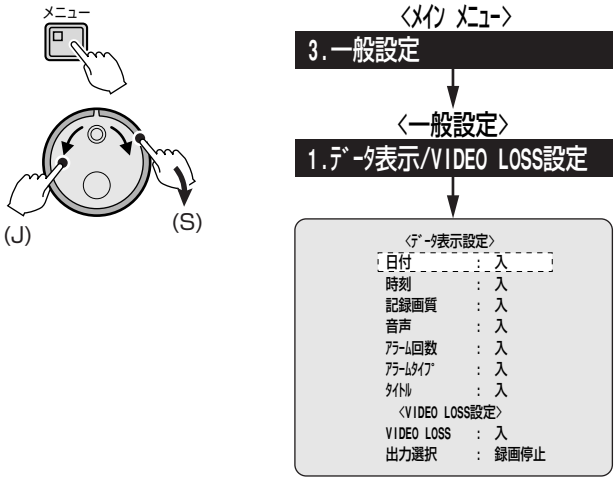
E ネットワーク設定 (P68)

A データ表示設定/VIDEO LOSS設定

画面の操作表示部に日付、時刻などを表示させる設定です。通常はすべてを表示させていますので、必要に応じて非表示にしてください。
また、ライブ映像が不慮の事故などで途切れたときに、画面に “VIDEO LOSS” を表示させたり、後面のコントロール端子に取り付けたランプなどで異常時の確認ができます。

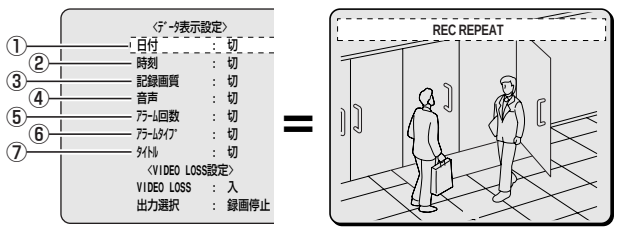
1 「一般設定画面の表示のしかた」で<データ表示設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「日付」の “入” が点滅します。

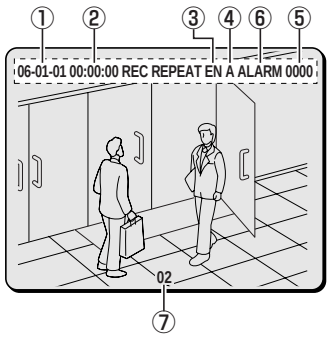


2 Jダイヤルを回して日付 (例：切) を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順で非表示にする項を “切” に設定してください。



☞ “入” に設定後の操作表示部

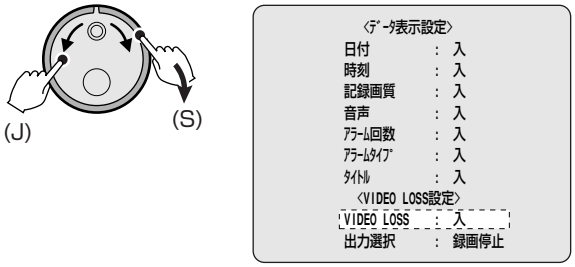


3 Jダイヤルを回して “VIDEO LOSS” を選択し、Sダイヤルを右に回す

“入” が点滅します。

通常は “VIDEO LOSS” を表示させる設定です。必要に応じてJダイヤルを回して、非表示 (切) にしてください。

“切” を設定した場合は、出力選択は自動的に録画停止になり、カーソルは “出力選択” に移動できなくなります。



4 Sダイヤルを右に回す

カーソルが「出力選択」へ移動します。

5 Sダイヤルを右に回す

「出力選択」の “録画停止” が点滅します。

6 Jダイヤルを回して “録画停止” または “VIDEO LOSS” を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：

録画停止：録画が停止すると、コントロール端子の出力選択端子に信号を出力する。

VIDEO LOSS：ライブ映像が途切れると、コントロール端子の出力選択端子に信号を出力する。

7 終了/画面表示ボタンを押す

☞ **VIDEO LOSSを検出したときの解除**

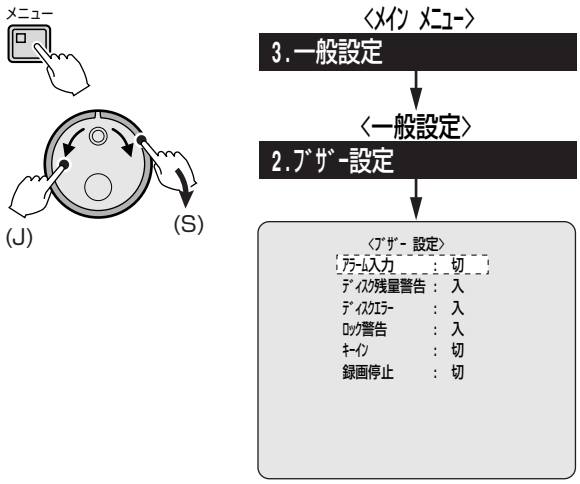
映像を入力する。または、映像を入力する必要がない場合は、VIDEO LOSSを検出したカメラ選択ボタンを押してから、再度、同じカメラ選択ボタンを約3秒間押す。

B ブザー表示

この設定は、ハードディスク容量の不足やアラーム時などに、警告をブザーで知らせる設定です。

1 「一般設定画面の表示のしかた」で<ブザー設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)

「アラーム入力」の“切”が点滅します。



2 Jダイヤルを回してアラーム入力項目を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順で各項の設定を選択してください。

- **アラーム入力**
  - **切**：アラームが入ってもブザーは鳴らない
  - **入**：アラームが入るとブザーが鳴る
- **ディスク残量警告**
  - **切**：上書き禁止の状態で、ハードディスクの残量が不足してもブザーは鳴らない
  - **入**：上書き禁止の場合に、ハードディスクの残量が不足するとブザーが鳴る
- **ディスクエラー**
  - **切**：ハードディスクに異常が発生しても、ブザーは鳴らない
  - **入**：ハードディスクに異常が発生したときに、ブザーが鳴る
- **ロック警告**
  - **切**：セキュリティーロック時にロックされたボタンを押しても、ブザーは鳴らない
  - **入**：セキュリティーロック時にロックされたボタンを押すと、0.5秒程度の周期で2回ブザーが鳴る
- **キーイン**
  - **切**：前面部のボタンなどを押しても、ブザーは鳴らない
  - **入**：前面部のボタンなどを押すと、ブザーが鳴る
- **録画停止/VIDEO LOSS**

  <VIDEO LOSS>設定の出力選択により表示内容が異なります。

  録画停止の場合

  切：録画を停止してもブザーは鳴らない

  入：録画を停止するとブザーが鳴る

  VIDEO LOSSの場合

  切：カメラ映像が途切れてもブザーは鳴らない

  入：カメラ映像が途切れるとブザーが鳴る

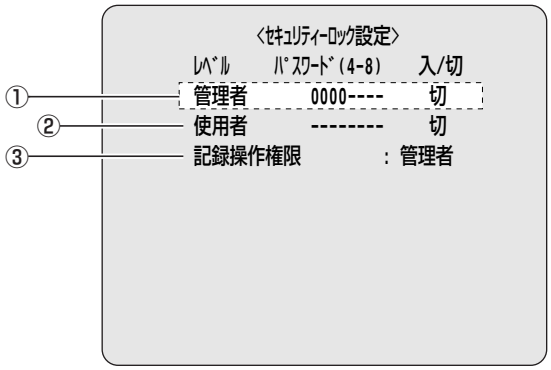
3 終了/画面表示ボタンを押す

☞ **ブザーを途中で止めたい場合**

何れかの操作ボタンを押す。または、SダイヤルやJダイヤルを回しても止まります。

C セキュリティーロック画面のメニュー説明

パスワードを設定することで、本機を操作できる人の制限や禁止をおこなうことができます。パスワードは、管理者と使用者ごとに設定できます。



① 管理者

管理者のパスワード（選択文字：0、1～9、A～Z）を入力します。セキュリティーロックは「入／切」で設定します。

- **パスワードは4文字から8文字で入力してください。**
  3文字以下を入力した場合は、入力したパスワードは取り消されますので、再度、入力をしてください。
- 「入/切」の設定で、“切”を選択した場合は、セキュリティーロックの制限を必要としないので、「使用者」も自動的に「切」になりパスワード入力もできなくなります。
- セキュリティーロック状態で管理者のパスワードを入力すると、すべての操作ができます。ただし、ハードディスクの初期化やミラーリング（設定変更、記録領域設定、記録再開許可）などをおこなうと、再度、管理者のパスワード入力を要求されます。

② 使用者

使用者のパスワード（選択文字：0、1～9、A～Z）を入力します。セキュリティーロックは「入／切」で設定します。

- **パスワードは4文字から8文字で入力してください。**
  3文字以下を入力した場合は、入力したパスワードは取り消されますので、再度、入力をしてください。

③ 記録操作権限

記録操作の権限を設定します。

管理者：管理者のみ操作ができます。使用者は操作できません。

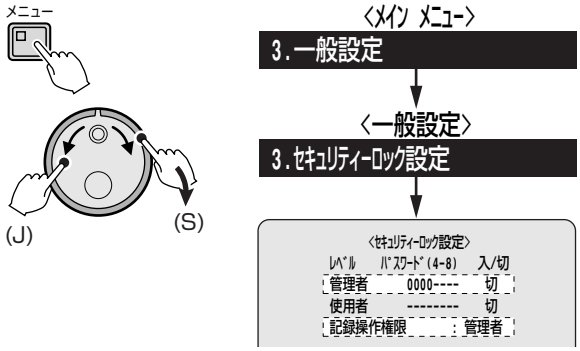
使用者：使用者も操作ができます。

C-1 本機を管理者と使用者でパスワードを設定する

パスワードを設定後の操作権限：P65参照

1 「一般設定画面の表示のしかた」で＜セキュリティーロック設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す（P60）

「管理者」の最初の“0”が点滅します。



2 管理者のパスワード（例：12345AB）に設定する

① Jダイヤルを回して“1”を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順でパスワードを入力してください。
カーソルが“切”に移動します。

② Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「使用者」のパスワード入力部が点滅します。

管理者 12345AB- 入

3 使用者のパスワード（例：AB12345）に設定する

① Jダイヤルを回して“A”を選択し、Sダイヤルを右に回す
同じ手順でパスワードを入力してください。
カーソルが“切”に移動します。

② Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
「記録操作権限」の“管理者”が点滅します。

使用者 AB12345- 入

4 Jダイヤルを回して“管理者”または“使用者”を選択し、Sダイヤルを右に回す

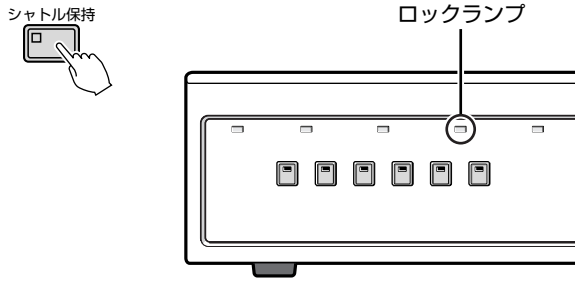
5 終了/画面表示ボタンを押す

C-2 セキュリティーロックの設定

管理者または使用者レベルの設定が終了しましたら、セキュリティーロックの設定をおこなってください。

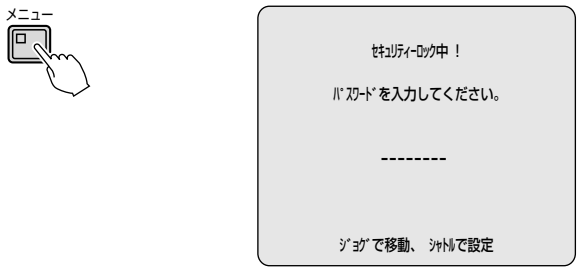
1 ライブ映像で、シャトル保持ボタンを約3秒間押す

前面部のロックランプが点灯して、ブザーが鳴り、セキュリティーロックが設定されました。



2 セキュリティーロックを確認するには、メニューボタンを押す

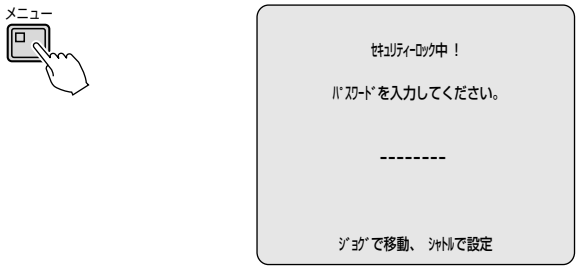
“セキュリティーロック中！”の画面が約5秒間表示後、ライブ映像に戻ります。



C-3 セキュリティーロックの解除

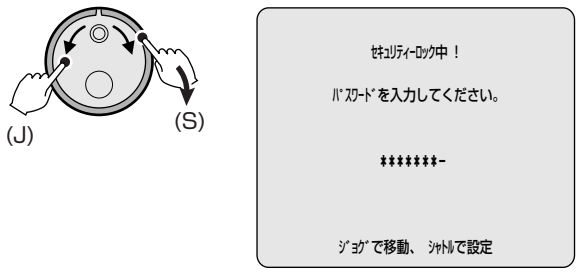
1 前面部のメニューボタンを押す

“セキュリティーロック中！” の画面が約5秒間表示されます。

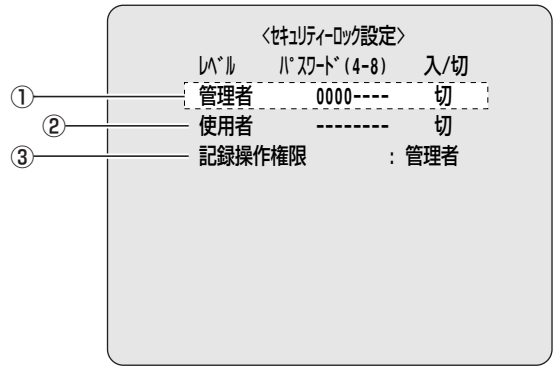


2 Jダイヤルを回して管理者または使用者レベルで設定したパスワードを入力し、Sダイヤルを右に回す

- **管理者：例12345AB**
  管理者のパスワードを入力した場合は、ロックランプが消え、セキュリティーロックが解除されます。画面は通常のライブ映像になります。
- **使用者：例AB12345**
  使用者のパスワードを入力した場合は、ロックランプが点灯のままで、セキュリティーロックは一部のみ解除されます。



■パスワード設定後の操作表



管理者、使用者が共に「入」の場合

- 入力するパスワードが管理者の場合は全操作可能
- パスワードが未入力の場合は全操作不可

設定項目	① 管理者	入			
	② 使用者	入			
	③ 記録操作権限	管理者	管理者	使用者	使用者
入力するパスワード		使用者	使用者	使用者	使用者
	監視中 [カメラ選択]、[4画面表示]、[マルチ表示]、[モニタ2]、[終了/画面表示]、[カメラ自動切換] ボタンの操作	○	○	○	○
	再生 [再生/停止]、[ズーム]、[サーチ]、[コピー]、[一時停止]、[シャトル保持]、[アラーム] ボタンの操作 ジョグダイヤル/シャトルダイヤルの操作	○	○	○	○
	記録 [録画/停止]、[タイマー録画] ボタンの操作	×	×	○	○
	メニュー [メニュー]、[メニューリセット] ボタンの操作	×	×	×	×

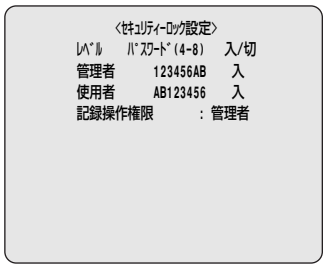
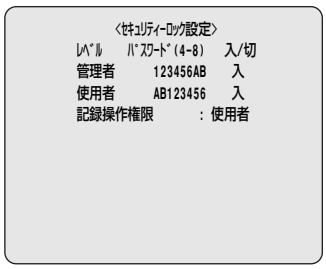
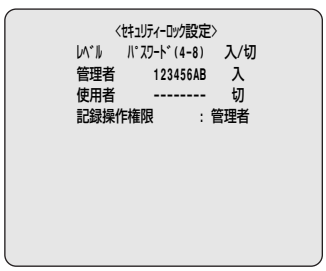
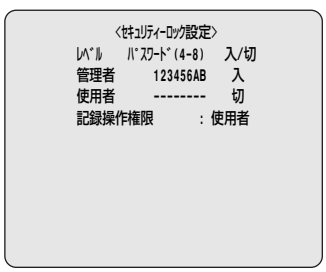
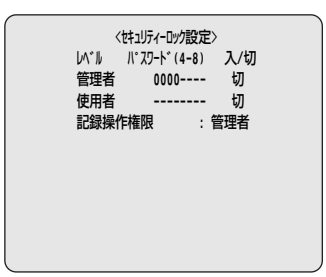
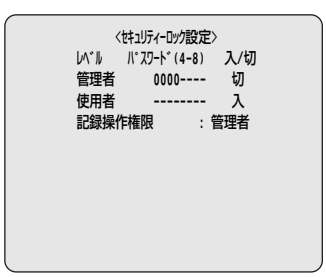
管理者「入」、使用者「切」の場合

- 入力するパスワードが管理者の場合は全操作可能
- 入力するパスワードが使用者は未入力（設定が切のため）

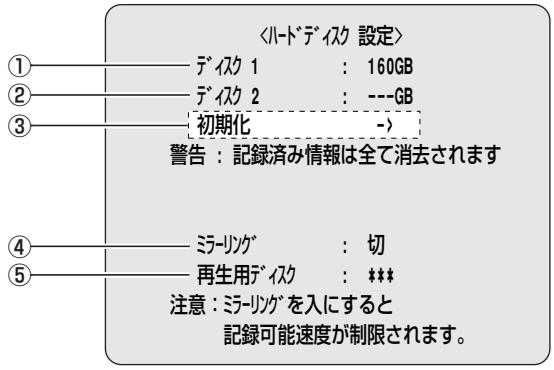
設定項目	① 管理者	入			
	② 使用者	切			
	③ 記録操作権限	管理者	管理者	使用者	使用者
入力するパスワード		未入力	未入力	未入力	未入力
	監視中 [カメラ選択]、[4画面表示]、[マルチ表示]、[モニタ2]、[終了/画面表示]、[カメラ自動切換] ボタンの操作	○	○	○	○
	再生 [再生/停止]、[ズーム]、[サーチ]、[コピー]、[一時停止]、[シャトル保持]、[アラーム] ボタンの操作 ジョグダイヤル/シャトルダイヤルの操作	○	○	○	○
	記録 [録画/停止]、[タイマー録画] ボタンの操作	×	×	○	○
	メニュー [メニュー]、[メニューリセット] ボタンの操作	×	×	×	×

■パスワード設定例

パスワードは、管理者用と使用者用の2種類の設定ができます。

	設定例	操作内容
A		●すべての操作がロック状態となります。 ●使用者パスワードを入力すると、再生に関連する操作だけ使用できます。 ●管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
B		●すべての操作がロック状態となります。 ●使用者パスワードを入力すると、再生と録画に関連する操作だけ使用できます。 ●管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
C		●録画とメニュー関係の操作がロックされます。再生関係の操作はロックされません。 ●管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
D		●メニュー関係の操作がロックされます。録画と再生関係の操作はロックされません。 ●管理者パスワードを入力すると、すべての操作が使用できます。
E		すべての操作が使用できます。 セキュリティーロックはかかりません(初期設定値)。
F		この設定はできません。

D ハードディスク設定のメニュー説明



① **ディスク1**
搭載されているハードディスク容量を表示します。使用するハードディスクによって容量が変わります。

② **ディスク2**
本機に2台目のハードディスクを搭載すると、容量を表示します。

③ **初期化**
本機に搭載されているハードディスクを初期化するときに選択します。ハードディスクを初期化すると、記録した内容はすべて消去されます。
初期化はディスク1、2を同時におこないます。

④ **ミラーリング**
ハードディスクをもう1台増設して、ミラーリングを**"入"**に設定すると、"再生用ディスク"の項でディスク選択が可能になり、同じ映像を2台のハードディスクに録画できます。もし、書き込み不良が発生しても**"ディスク1"**または**"ディスク2"**のどちらかを選択することで映像を読み出すことができます。

- ミラーリングを"入"にすると、記録レートの上限が自動的に制限（通常の半分）されますので注意してください。
- ミラーリングの設定後、再生画像に異常が発生した場合は、"再生用ディスク"の項でディスク1またはディスク2を選択してください。

⑤ **再生用ディスク**
ミラーリング「入」を設定後、2台のハードディスクのどちらの映像を読み出すかを設定します。
選択項目：ディスク1/ディスク2

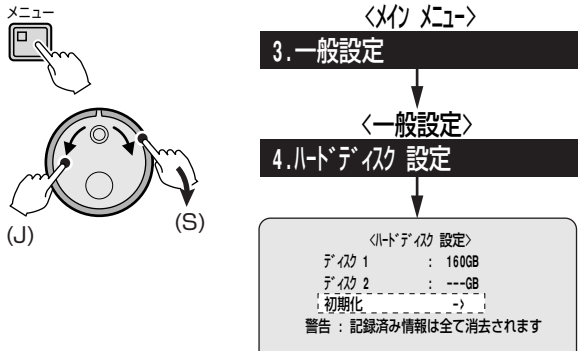
■ハードディスクの増設について
ハードディスクを増設する場合は、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
増設する際は、当社から供給の別売増設用ハードディスクのご使用をお勧めします。当社指定以外のハードディスクを増設する場合は、動作の保証はいたしません。

- 増設時は、必ず初期化してください。初期化は2台同時におこなわれます。必要な映像はコンパクトフラッシュカードなどのメディアにコピーしてください。

D-1 ハードディスクの初期化

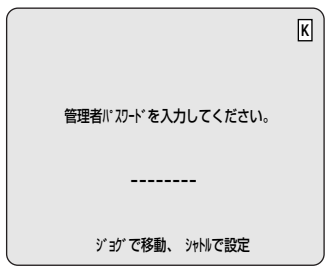
1 「一般設定画面の表示のしかた」で＜ハードディスク設定＞画面を表示させる（P60）

カーソルが「初期化」に移動しています。



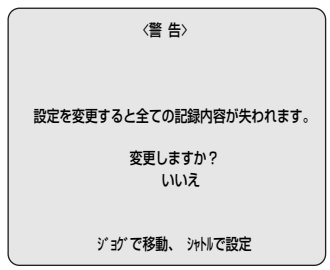
2 Sダイヤルを右に回す

パスワード入力画面が表示されます。



3 パスワードを入力する

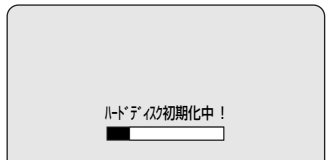
＜警告＞画面が表示され、"いいえ"が点滅します。



4 Jダイヤルを回して"はい"を選択し、Sダイヤルを右に回す

"ハードディスク初期化中！"の画面になり、初期化をおこないます。

初期化が終了すると、＜ハードディスク設定＞画面に戻ります。



5 終了/画面表示ボタンを押す

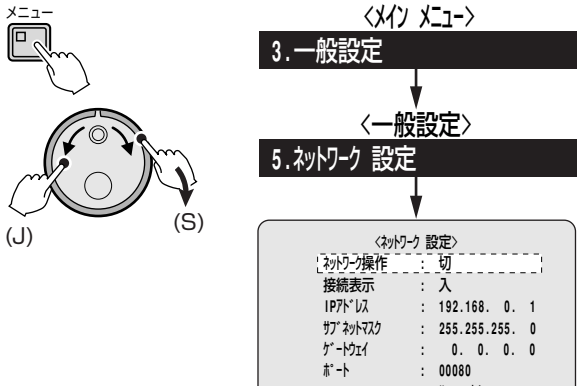
E ネットワーク設定

1 **本機をネットワークに接続する**

接続のしかたを参照ください。(P11)

2 **「一般設定画面の表示のしかた」で<ネットワーク設定>画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す (P60)**

「ネットワーク操作」の“切”が点滅します。



3 **Jダイヤルを回して“入(ネット優先)”を選択し、Sダイヤルを右に回す**

ネットワーク操作 : 入(ネット優先)

カーソルが「接続表示」に移動します。

選択項目：

切：ネットワークから本機の操作をしない。

入(ネット優先)：パソコン操作を優先する。

入(本体優先)：本機操作を優先する。

4 **Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に回す**

カーソルが「IPアドレス」に移動します。

接続表示 : 入

選択項目：

入：画面に**“ネットワーク接続中”**と表示する。

切：表示しない。

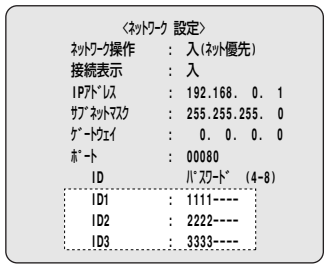
5 **同じ手順で下記項目を設定する**

ネットワークに接続するときは、**IPアドレス**、**サブネットマスク**、**ゲートウェイ**、**ポート**の設定をネットワーク管理者にご確認ください。

6 **終了/画面表示ボタンを押す**

E-1 ネットワークのパスワードを変更する

ネットワークへの接続は、3段階 (ID1、ID2, ID3) のアクセスレベルがあります。
初期のIDパスワードは下図のように設定されています。



1 **Jダイヤルを回して“ID1”を選択し、Sダイヤルを右に回す**

ID1 : 1111----

パスワード入力の最初の“1”が点滅します。

- **設定区分**

ID1：ネットワーク経由で映像の監視が可能。

ID2：ネットワーク経由で映像の監視および録画映像の再生や検索が可能。

ID3：本機および本機の各種設定のすべての操作が可能。

2 **パスワードを変更する**

例：ID1にパスワード“ABC123”を設定する

① Jダイヤルを回して“A”を選択し、Sダイヤルを右に回す
2番目の“1”が点滅します。

② Jダイヤルを回して“B”を選択し、Sダイヤルを右に回す
3番目の“1”が点滅します。

③ 同じ手順で、残りのパスワードを入力する
必要に応じて、ID2、ID3のパスワードも設定してください。

ID1 : ABC123--

3 **終了/画面表示ボタンを押す**

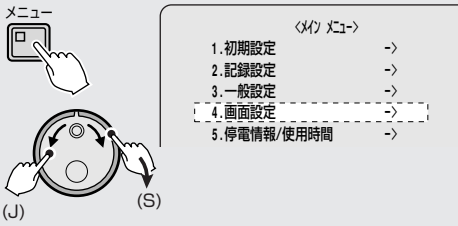
画面設定

メニュー構成

■画面設定画面の表示のしかた

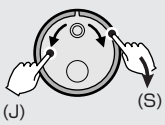
1 メニューボタンを押してJダイヤルで「4.画面設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

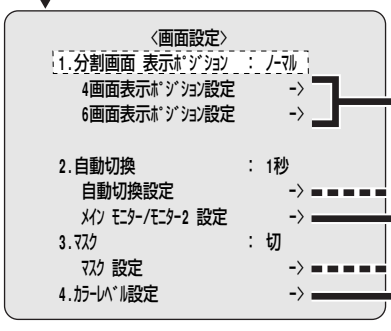
＜画面設定＞画面が表示します。



2 Jダイヤルを回してメニューを選択し、Sダイヤルを右に回す

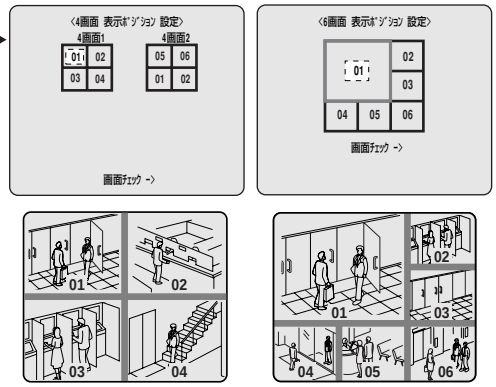
選択した画面（**A**～**D**）が表示されますので、設定は各項のページを参照ください。





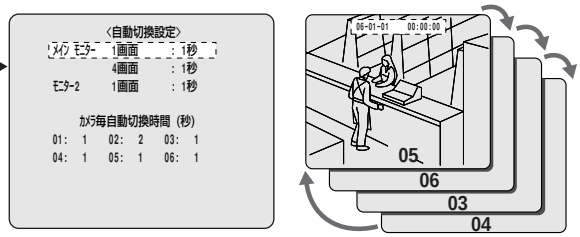
A 分割画面を並び換える (P70)

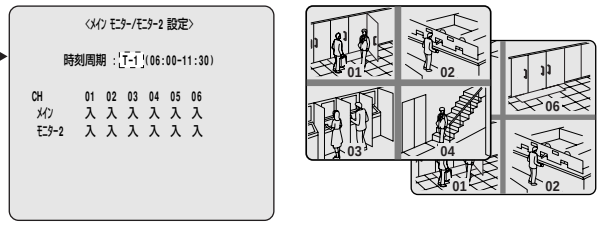
画面のライブ映像および再生画像の位置を並び換える



B 時間間隔で画面を切り換える (P71)

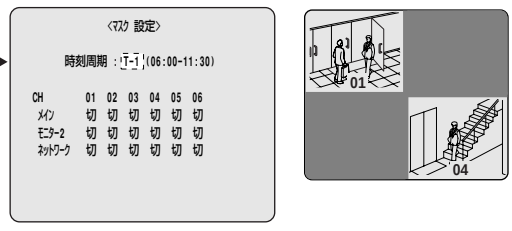
- すべてのライブ映像を設定した時間間隔で切り換える
- 時刻周期A/Bの設定の時間帯に、各ライブ映像を表示させるモニターを指定する





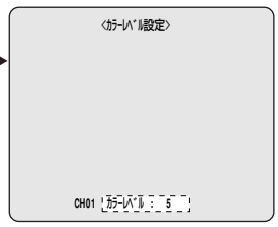
C 特定のライブ映像を見えなくする (P73)

画面に特定のライブ映像を表示させたくないときに、映像をグレーパターン（マスク）で覆う



D ライブ映像の色調を調整する (P74)

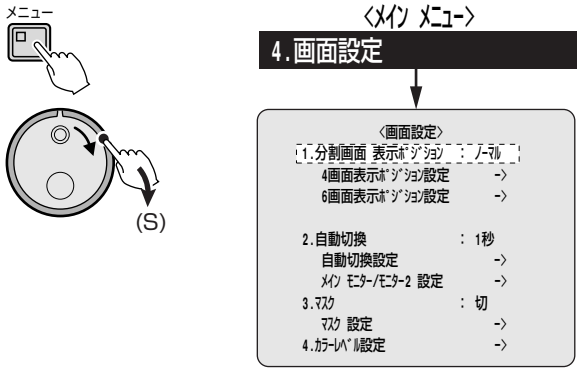
画面の色調を調整する



A 分割画面を並び換える

1 「画面設定画面の表示のしかた」で＜画面設定＞画面を表示させ、Sダイヤルを右に回す（P69）

「分割画面表示ポジション」の“ノーマル”が点滅します。



2 Jダイヤルを回して分割表示ポジション（例：変更）を選択し、Sダイヤルを右に回す

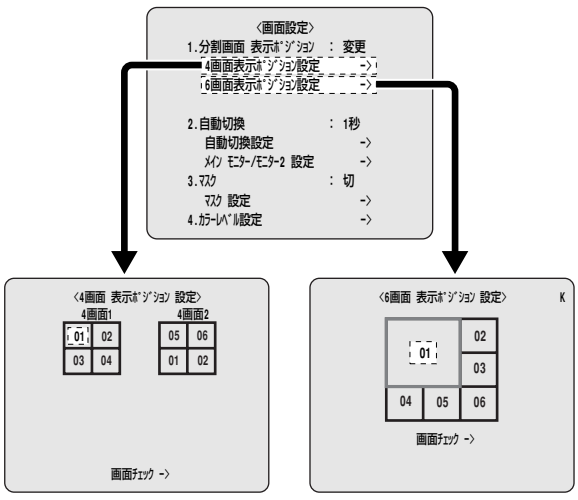
カーソルが「4画面表示ポジション設定」に移動します。

選択項目：

ノーマル：分割画面表示ポジションを選択しない
カーソルは4画面または6画面表示ポジション設定へは移動できません。

変更：画面表示ポジション設定を選択する

Jダイヤルを回して、次のように分割画面の並び換えを選択できます。

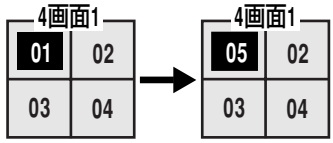


3 4分割画面のカメラ1とカメラ5のライブ映像を入れ換える

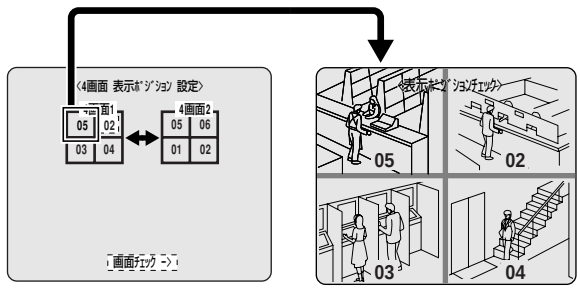
① Jダイヤルを回して「4画面表示ポジション設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す
＜4画面表示ポジション設定＞画面が表示します。

② Jダイヤルを回して[4画面1]の“01”を選択し、Sダイヤルを右に回す
“01”が点滅します。

③ Jダイヤルを回して“05”を設定し、Sダイヤルを右に回す



④ Jダイヤルを回して「画面チェック」を選択し、Sダイヤルを右に回す
＜表示ポジションチェック＞のライブ映像を表示します。画面ではカメラ1から5に並び換わったことを確認できます。
[4画面2]以降の画面を確認するときは、4画面表示ボタンを押してください。



⑤ Sダイヤルを左に回す
＜4画面表示ポジション設定＞画面に戻ります。

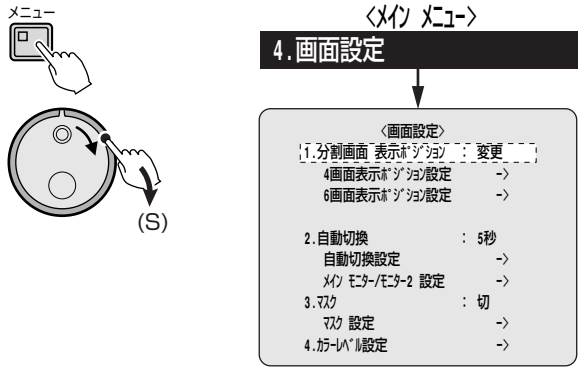
6画面で画像を並び換える場合は、同じ手順で設定してください。

4 終了/画面表示ボタンを押す

並び換えた画面を見るときは、通常のライブ画面で「4画面表示」、「マルチ表示」ボタンを押します。

B メインモニターとモニター2のライブ映像を同じ時間間隔（例：5秒）で自動的に切り換える

1 「画面設定画面の表示のしかた」で＜画面設定＞画面を表示させる（P69）



2 Jダイヤルを回して「2.自動切換」を選択し、Sダイヤルを右に回す

“1秒”が点滅します。

2.自動切換	1秒

選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

秒を指定した場合は、カーソルが「自動切換設定」に移動しません。これはモニターの自動切換を同じ時間間隔にするためです。

3 Jダイヤルを回して自動切換（例：5秒）を選択し、Sダイヤルを右に回す

2.自動切換	5秒

4 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す

B-1 メインモニターとモニター2のライブ映像を個別の時間間隔で自動的に切り換える

1 「画面設定画面の表示のしかた」で＜画面設定＞画面を表示させる（P69）

2 Jダイヤルを回して「2.自動切換」を選択し、Sダイヤルを右に回す

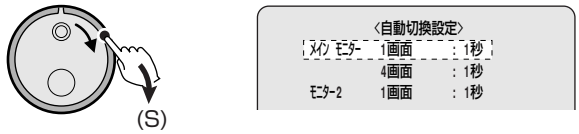
“1秒”が点滅します。

2.自動切換	1秒

選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

3 Jダイヤルを回して“カメラ毎”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

＜自動切換設定＞画面を表示します。



4 Sダイヤルを右に回す

「メインモニター　1画面」の“1秒”が点滅します。

5 メインモニターとモニター2の時間間隔を設定する

① Jダイヤルを回してメインモニターの1画面を5秒（例）に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

② Jダイヤルを回してメインモニターの4画面を10秒（例）に選択し、Sダイヤルを右に2回まわす
選択項目：1/2/～29/30秒

③ Jダイヤルを回してモニター2の1画面を15秒（例）に選択し、Sダイヤルを右に回す
選択項目：1/2/～29/30秒/カメラ毎

ﾒｲﾝ ﾓﾆﾀｰ	1画面	: 5秒
	4画面	: 10秒
ﾓﾆﾀｰ2	1画面	: 15秒

6 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す

B-2 メインモニター（1画面）のライブ映像を個別の時間間隔、モニター2のライブ映像を同じ時間間隔（例：3秒）で自動的に切り換える

1 「画面設定画面の表示のしかた」で＜画面設定＞画面を表示させる（P69）

2 Jダイヤルを回して「2.自動切換」を選択し、Sダイヤルを右に回す

3 Jダイヤルを回して“カメラ毎”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

4 Sダイヤルを右に回す

5 Jダイヤルを回してメインモニター 1画面（例：カメラ毎）を選択し、Sダイヤルを右に回す

メインモニターの“4画面”は個別選択できません。

6 Jダイヤルを回してモニター2 1画面を選択し、Sダイヤルを右に回す

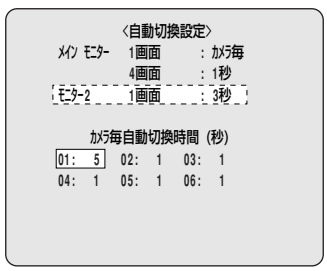
“1秒”が点滅します。

7 Jダイヤルを回してモニター2 1画面（例：3秒）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「カメラ毎自動切換時間（秒）」のチャンネル1（01）の“1”が点滅します。

8 Jダイヤルを回してメインモニターのチャンネル1（01）の自動切換時間（例：5）を設定し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順をくり返し、他のチャンネルの自動切換時間を設定してください。



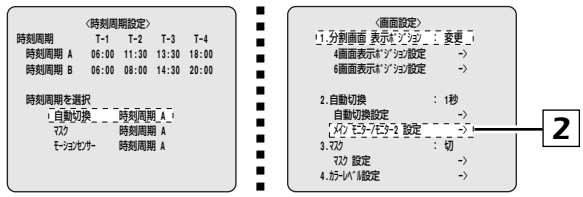
9 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す

B-3 時刻周期設定の時間帯でモニターを表示させないカメラを設定する

1 ＜時刻周期設定＞の時刻周期Aと時刻周期Bを設定する（P36）

「時刻周期を選択」の自動切換の項で時刻周期AまたはBを選択しておいてください。

この設定では、“時刻周期A”を例に説明します。



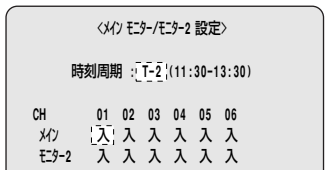
2 ＜画面設定＞画面でJダイヤルを回して“メインモニター/モニター2設定”を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

＜メインモニター/モニター2設定＞画面になり、時刻周期の“T-1”が点滅します。

時刻周期 : T-1（06:00-11:30）

3 Jダイヤルを回して時刻周期（例：T-2）を選択し、Sダイヤルを右に2回まわす

「メイン」の「01」の“入”が点滅します。



4 Jダイヤルを回して“切”を選択し、Sダイヤルを回す

同じ手順をくり返して、表示させないカメラを“切”に設定してください。

（表示例）

5 終了/画面表示ボタンを押して、カメラ自動切換ボタンを押す

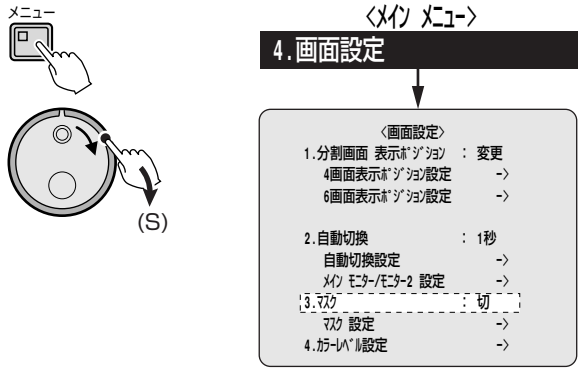
C 特定のライブ映像を見えなくする

1 ＜時刻周期設定＞の時刻周期Aと時刻周期Bを設定する（P36）

「時刻周期を選択」のマスクの項で時刻周期AまたはBを選択しておいてください。

この設定では、“時刻周期A”を例に説明します。

2 「画面設定画面の表示のしかた」で＜画面設定＞画面を表示させる（P69）



3 Jダイヤルを回して「3.マスク」を選択し、Sダイヤルを右に回す

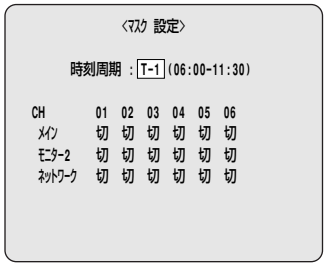
“切”が点滅します。

4 Jダイヤルを回して“入”を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルがマスク設定に移動します。

5 Sダイヤルを右に回す

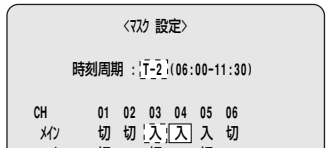
＜マスク設定＞画面を表示し、カーソルが“T-1”に移動します。



6 Sダイヤルを回してJダイヤルで時刻周期（例：T-2）を選択し、Sダイヤルを右に回す

カーソルが「メイン」01の“切”に移動します。

7 Jダイヤルを回してメインのカメラ番号（例：03）を選択し、Sダイヤルを右に回す



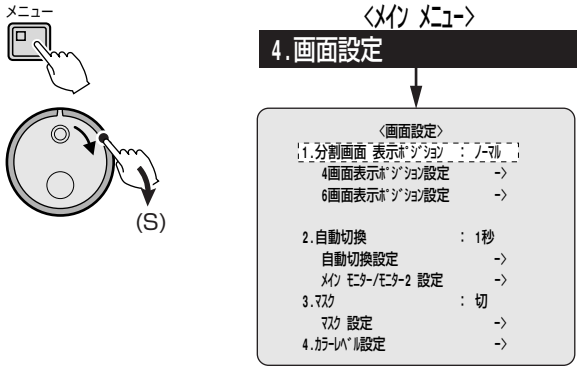
8 Jダイヤルを回してメイン03（例：入）を選択し、Sダイヤルを右に回す

同じ手順をくり返して、モニター2またはネットワークの画面でマスクしたいカメラを“入”に設定してください。

9 終了/画面表示ボタンを押す

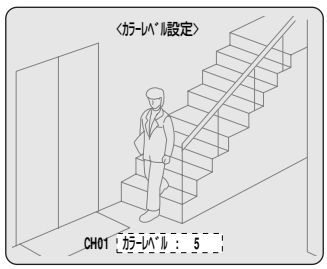
D ライブ映像の色調を調整する

1 「画面設定画面の表示のしかた」で＜画面設定＞画面を表示させる（P69）



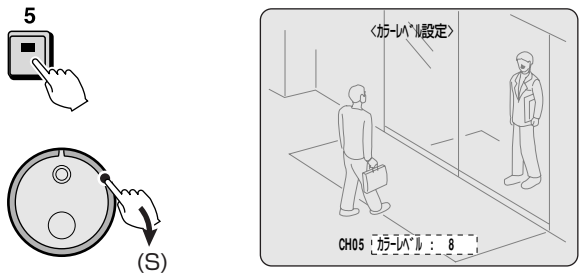
2 Jダイヤルを回して「4.カラーレベル設定」を選択し、Sダイヤルを右に回す

チャンネル“CH01”の＜カラーレベル調整＞画面を表示し、カーソルが「カラーレベル」に移動します。



3 色調を調整するカメラ選択ボタン（例：5）を押し、Sダイヤルを右に回す

チャンネルが“CH05”に切り換わり、「カラーレベル」“5”が点滅します。



4 Jダイヤルを回してカラーレベル（例：8）を選択し、Sダイヤルを右に回す

選択項目：1/2・・・/8/9/10（濃くなる）

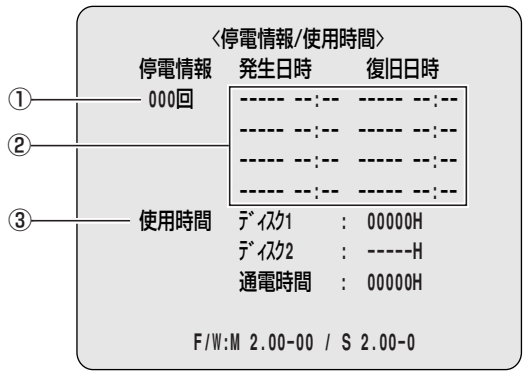
ライブ映像の色調が変わります。

5 終了/画面表示ボタンを押す

停電情報／使用時間

A 停電情報／使用時間画面のメニュー説明

停電の日時、ハードディスクの使用時間や本機の通電時間を確認できます。



① 停電情報

停電回数を表示します。
停電回数の最大表示は999回です。999以上を表示することはできません。

② 発生日時と復旧日時

最新の停電情報（発生日時、復旧日時）を新しい順に最大4件まで表示します。過去の情報は確認できません。

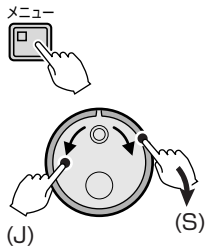
③ 使用時間

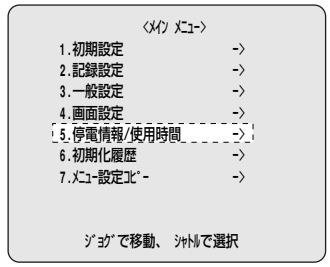
- **ディスク1**
  ハードディスク1の総使用時間を表示します。
- **ディスク2**
  ハードディスク2の総使用時間を表示します。
  ハードディスクを増設していない場合は、“------”と表示します。
- **通電時間**
  本機の総通電時間を表示します。

A-1 情報を確認する

1 **メニューボタンを押し、Jダイヤルを回して「5.停電情報/使用時間」を選択し、Sダイヤルを右に回す**

＜停電情報／使用時間＞画面を表示します。



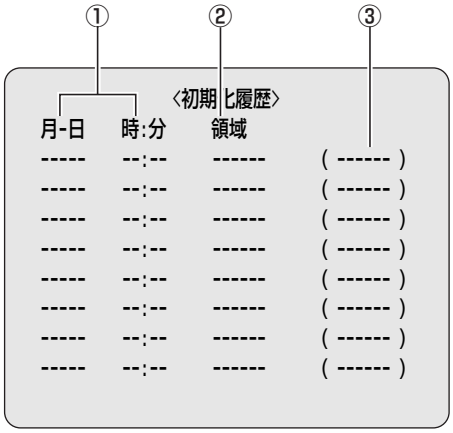


2 **終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す**

初期化履歴

A 初期化履歴画面のメニュー説明

ハードディスクの初期化と記録再開履歴を確認することができます。履歴は最後に実施したときから8件まで表示します。



① 日時

初期化や記録再開許可をおこなった日時を表示します。
最新の履歴情報を新しい順に8件まで表示します。それ以前の情報は確認できません。

② 領域

対象となったハードディスクの記録領域を表示します。
表示内容：全領域／通常領域／バックアップ領域／アラーム領域

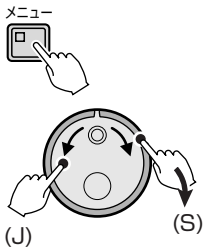
③ 操作内容

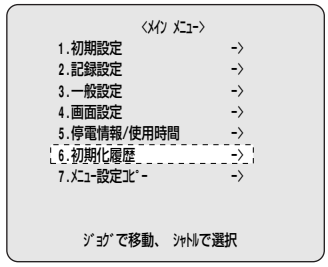
実施した**「初期化」**または**「記録再開」**を表示します。
記録領域を変更した場合は、“初期化”と表示します。

A-1 履歴を確認する

1 **メニューボタンを押し、Jダイヤルを回して、「6.初期化履歴」を選択し、Sダイヤルを右に回す**

＜初期化履歴＞画面を表示します。





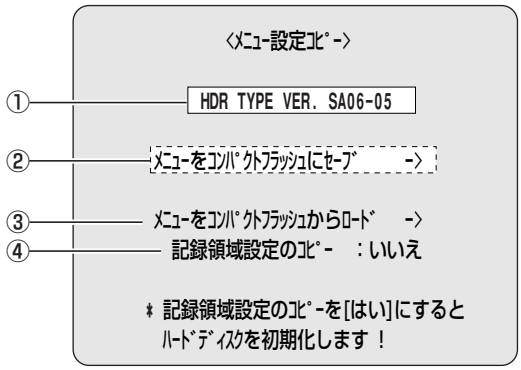
〈初期化履歴〉
月-日 時:分 領域
10-26 24:00 全領域 (初期化)
10-26 23:18 全領域 (初期化)
10-26 23:18 ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ領域 (記録再開)
10-26 23:18 ｱﾗｰﾑ領域 (記録再開)
10-26 23:18 通常領域 (記録再開)
10-26 23:16 全領域 (初期化)
10-26 23:15 全領域 (初期化)
----- --:-- ------ (------)

2 **終了するときは、終了／画面表示ボタンを押す**

メニューコピー

A メニュー設定コピーの説明

設定したメニューをコンパクトフラッシュ（CF）カードに保存し、保存したメニューと同じものを他の同機に読み込ませます。複数の機器を同じメニューで操作することができます。



① 本機のバージョン番号です

② 設定したメニュー内容をCFカードに保存するときに選択する

③ CFカードに保存したメニュー内容を他の同機に読み込むときに選択する

④ 記録領域の領域割合を選択する

③の**「メニューをコンパクトフラッシュからロード」**を実行する前に、下記を選択してください。

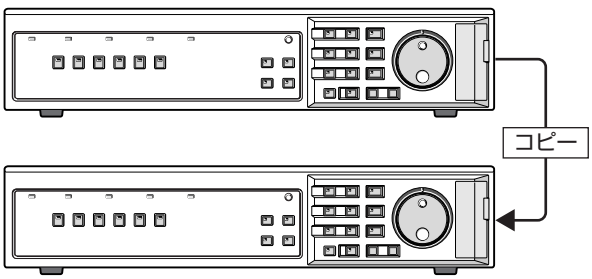
選択項目：

いいえ：

ハードディスクの各領域（通常記録、アラーム記録、バックアップ）を変更せずにCFカードからメニュー内容を読み込みます

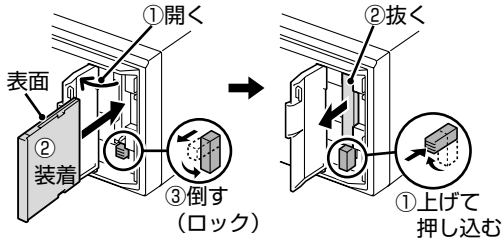
はい：

ハードディスクの各領域（通常記録、アラーム記録、バックアップ）を変更してメニュー内容を読み込みます



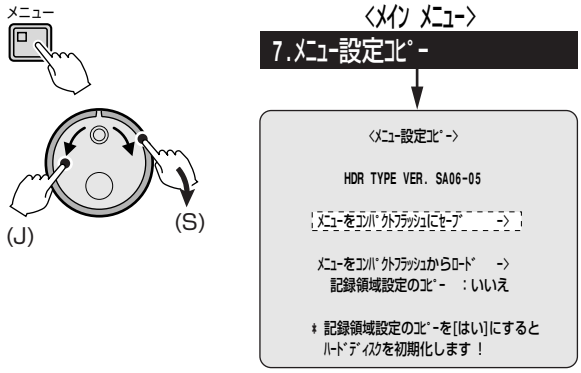
A-1 CFカードにメニュー内容を保存する

1 コンパクトフラッシュカードスロットにCFカードを装着する



2 メニューボタンを押し、Jダイヤルを回して「7.メニュー設定コピー」を選択し、Sダイヤルを右に回す

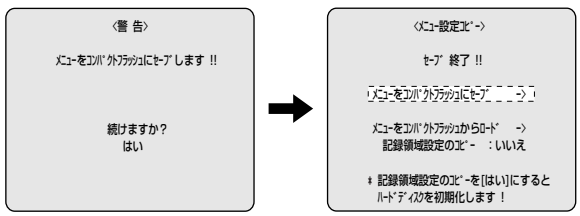
＜メニュー設定コピー＞画面を表示します。



3 Sダイヤルを右に回し、Jダイヤルを回して“はい”を選択し、Sダイヤルを右に回す

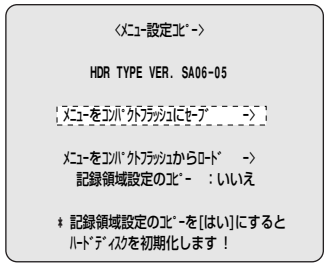
CFカードにメニューを保存します。

保存が終了すると、**“セーブ終了!!”**と表示します。



A-2 CFカードに保存されたメニュー内容を他の同機に読み込む

1 メニューボタンを押して、<メニュー設定コピー>画面を表示させる



2 Jダイヤルを回して「記録領域設定のコピー」へカーソルを移動する

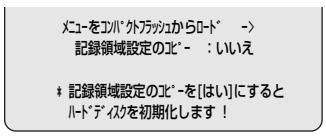
3 Sダイヤルを回してJダイヤルで “いいえ” または “はい” を選択する

4 Sダイヤルを右に回す

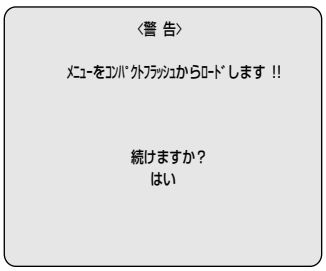
カーソルが「メニューをコンパクトフラシュにセーブ」に移動します。

5 Jダイヤルを回して「メニューをコンパクトフラシュからロード」にカーソルを移動させ、Sダイヤルを右に回す

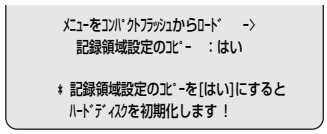
A) 記録領域設定のコピーを “いいえ” に選択した場合

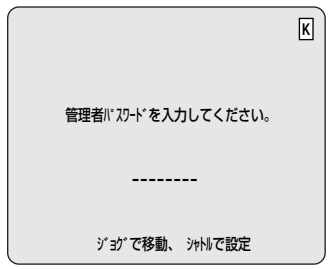


<警告>画面を表示し、**“いいえ”** が点滅しますので、Jダイヤルを回して **“はい”** を選択し、Sダイヤルを右に回す。記録領域の領域割合を変更せずにCFカードから読み込みます。

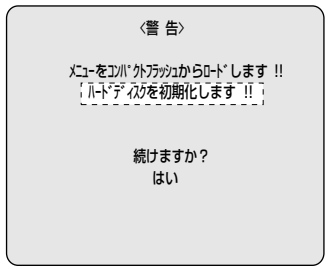


B) 記録領域設定のコピーを “はい” に選択した場合（初期化されます）





パスワード入力画面が表示しますので、パスワードを入力してください。
<警告>画面を表示し、**“いいえ”** が点滅しますので、Jダイヤルを回して **“はい”** を選択し、Sダイヤルを右に回す。記録領域の領域割合を変更してCFカードから読み込みます。



6 読み込みが完了すると、画面に “SYSTEM INITIALIZING” と表示後、ライブ映像になる

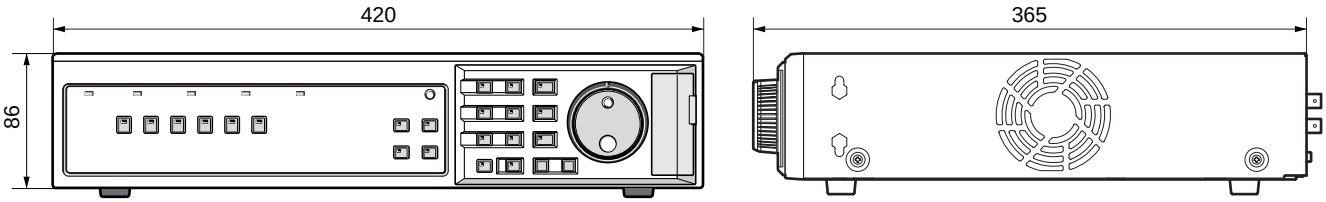
仕様

信号方式	NTSC方式準拠
ハードディスク容量	160GB
圧縮方式	映像:M-JPEG、音声:WAVE
画素数	720×240（フィールド）
記録タイプ	フィールド記録
記録画質	5段階［Basic（ラフ画質）/Normal（標準画質）/Enhanced（準高画質）/Fine（高画質）/SuperFine（最高画質）］
記録レート	27段階（60～0.033FPS）
記録領域	通常記録領域/アラーム記録領域/バックアップ領域
ズーム	ズームボタンによる2倍デジタルズーム可
サーチモード	日時サーチ、アラームサーチ、アラームサムネイルサーチ、バックアップ領域サーチ、モーション検出サーチ
日付・時刻表示	年、月、日、時、分、秒
日付・時刻表示位置	上下2ポジション移動可能（表示の入/切が可能）
カメラタイトル表示	各チャンネル最大10文字まで表示の入/切が可能（下記を参照）
メモリーバックアップ	約30日間（48時間通電時）
映像入力	1.0V（p-p）75Ω BNC×6
映像出力	各映像入力のスルー出力　BNC×6
メインモニター出力	1.0V（p-p）75Ω BNC×1
モニタ2出力	1.0V（p-p）75Ω BNC×1
音声入力	−8dBs 27kΩ　不平衡 RCA×1
音声出力	−8dBs 600Ω　不平衡 RCA×1
マイク入力	−60dBs 10kΩ　不平衡 3.5mm モノラルミニジャック×1

コンパクトフラッシュスロット	コンパクトフラッシュ Type2（前面パネル）×1
端　子	
LAN	10BASE-T/100BASE-TX、RJ-45×1、対応プロトコル:UDP、TCP/IP、HTTPサーバ
アラーム入力	無電圧メイク接点×6（パルス幅100m秒以上）
センサーアラーム出力	オープンコレクタ/1kΩ、Lowレベルアクティブ×6（最大 25mA）
リモートコントロール入力	2線式電圧制御方式×2
時計合わせ入力	無電圧メイク接点（パルス幅100m秒以上）×1
時計合わせ出力	オープンコレクタ/1kΩ、Lowレベルアクティブ
アラーム総合出力	オープンコレクタ/Lowレベルアクティブ（最大 500mA）×1
アラームリセット入力	無電圧メイク接点（パルス幅100m秒以上）×1
異常警告出力	通常DC5V、Lowレベルアクティブ×1
通常領域残量警告出力	通常DC5V、Lowレベルアクティブ×1
アラーム残量警告出力	通常DC5V、Lowレベルアクティブ×1
タイマー録画出力	DC5V/5.7kΩ、Lowレベルアクティブ×1
外部タイマー入力	無電圧メイク接点（パルス幅100m秒以上）×1
VIDEO LOSS/録画停止出力	DC5V/5.7kΩ、Lowレベルアクティブ×1
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	35W
使用可能周囲温度	5～40℃
使用可能周囲湿度	10～80%
外形寸法	420（W）×86（H）×365（D）mm（突起部、ゴム足含まず）
質　量	約6.3kg

外観および仕様は、お断りなしに変更することがあります。ご了承ください。

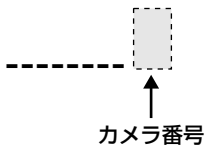
■外形寸法図（単位：mm）



■カメラタイトル表示一覧

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	–	:	.	/	*	_	A	B	C	D
E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
Y	Z	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ	ツ
テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ
ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	゛	゜	

カタカナでタイトルを設定した場合は、モニター2画面では次のように表示されます。



記録レートと録画時間一覧表

本機は、記録レートと記録画質を変更すると自動的に録画時間が変更されます。
下表は、ハードディスクの通常記録領域に映像を記録する場合の記録レートと画質を示した参考値です。

- 通常記録領域およびアラーム記録領域の録画可能時間は、下記の録画時間にメニューの記録領域設定で設定した通常記録領域、およびアラーム記録領域のパーセント表示値を掛けた時間になります。
- 録画時間は、録画する画質によって変動することがあります。

■音声なしの状態で160GBのハードディスクに記録した場合（領域を99%使用した場合）

記録レート（フィールド／秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC	NORMAL	ENHANCED	FINE	SUPER FINE
		15kB	22kB	30kB	42kB	50kB
60.00	0.02	40H	28H	21H	15H	13H
30.00	0.03	80H	56H	42H	30H	26H
20.00	0.05	120H	85H	63H	46H	39H
15.00	0.07	160H	113H	85H	61H	52H
10.00	0.10	240H	170H	127H	92H	78H
7.50	0.13	320H	227H	170H	123H	104H
6.00	0.17	400H	284H	213H	154H	131H
5.00	0.20	481H	340H	255H	185H	157H
4.29	0.23	560H	397H	297H	216H	183H
3.75	0.27	641H	454H	340H	247H	209H
3.33	0.30	722H	511H	383H	279H	236H
3.00	0.33	801H	568H	426H	309H	262H
2.73	0.37	881H	624H	468H	340H	288H
2.31	0.43	1041H	737H	553H	402H	340H
2.00	0.50	1202H	852H	639H	464H	393H
1.67	0.60	1440H	1020H	765H	556H	470H
1.43	0.70	1682H	1191H	893H	650H	550H
1.25	0.80	1924H	1363H	1022H	743H	629H
1.11	0.90	2167H	1535H	1151H	837H	708H
1.00	1.00	2405H	1704H	1278H	929H	786H
0.50	2.00	4811H	3408H	2556H	1859H	1573H
0.33	3.00	7290H	5163H	3872H	2816H	2383H
0.25	4.00	9623H	6816H	5112H	3718H	3146H
0.20	5.00	12028H	8520H	6390H	4647H	3932H
0.10	10.00	24057H	17041H	12780H	9295H	7865H
0.05	20.00	48115H	34082H	25561H	18590H	15730H
0.03	30.00	80193H	56803H	42602H	30983H	26217H

■音声ありの状態で160GBのハードディスクに記録した場合（領域を99%使用した場合）

記録レート（フィールド／秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC	NORMAL	ENHANCED	FINE	SUPER FINE
		15kB	22kB	30kB	42kB	50kB
60.00	0.02	37H	27H	20H	15H	12H
30.00	0.03	75H	54H	41H	30H	25H
20.00	0.05	113H	81H	61H	45H	38H
15.00	0.07	151H	109H	82H	60H	51H
10.00	0.10	227H	163H	123H	90H	77H
7.50	0.13	287H	209H	160H	118H	100H
6.00	0.17	358H	262H	200H	148H	126H
5.00	0.20	430H	314H	240H	177H	151H
4.29	0.23	476H	353H	272H	202H	173H
3.75	0.27	545H	403H	311H	232H	198H
3.33	0.30	614H	454H	350H	261H	223H
3.00	0.33	649H	486H	378H	284H	243H
2.73	0.37	713H	535H	416H	312H	267H
2.31	0.43	804H	610H	478H	361H	310H
2.00	0.50	929H	705H	552H	417H	358H
1.67	0.60	1064H	816H	644H	489H	422H
1.43	0.70	1191H	922H	733H	560H	484H
1.25	0.80	1308H	1022H	817H	629H	545H
1.11	0.90	1417H	1116H	898H	695H	604H
1.00	1.00	1514H	1202H	973H	757H	659H
0.50	2.00	4811H	3408H	2556H	1859H	1573H
0.33	3.03	7290H	5163H	3872H	2816H	2383H
0.25	4.00	9623H	6816H	5112H	3718H	3146H
0.20	5.00	12028H	8520H	6390H	4647H	3932H
0.10	10.00	24057H	17041H	12780H	9295H	7865H
0.05	20.00	48115H	34082H	25561H	18590H	15730H
0.03	33.33	80193H	56803H	42602H	30983H	26217H

▭ 音声記録可能領域

▭ 音声記録不可領域

記録レートと録画時間一覧表

■音声なしの状態で460GBのハードディスクに記録した場合（領域を99%使用した場合）

記録レート（フィールド／秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC	NORMAL	ENHANCED	FINE	SUPER FINE
		15kB	22kB	30kB	42kB	50kB
60.00	0.02	115H	82H	61H	44H	37H
30.00	0.03	231H	164H	123H	89H	75H
20.00	0.05	347H	246H	184H	134H	113H
15.00	0.07	463H	328H	246H	179H	151H
10.00	0.10	695H	492H	369H	268H	227H
7.50	0.13	927H	656H	492H	358H	303H
6.00	0.17	1159H	821H	615H	447H	378H
5.00	0.20	1391H	985H	739H	537H	454H
4.29	0.23	1621H	1148H	861H	626H	530H
3.75	0.27	1854H	1313H	985H	716H	606H
3.33	0.30	2088H	1479H	1109H	807H	682H
3.00	0.33	2318H	1642H	1231H	895H	757H
2.73	0.37	2547H	1804H	1353H	984H	832H
2.31	0.43	3011H	2132H	1599H	1163H	984H
2.00	0.50	3477H	2463H	1847H	1343H	1136H
1.67	0.60	4164H	2950H	2212H	1609H	1361H
1.43	0.70	4863H	3445H	2583H	1879H	1590H
1.25	0.80	5564H	3941H	2956H	2149H	1819H
1.11	0.90	6266H	4438H	3328H	2421H	2048H
1.00	1.00	6955H	4926H	3695H	2687H	2273H
0.50	2.00	13910H	9853H	7390H	5374H	4547H
0.33	3.00	21077H	14929H	11197H	8143H	6890H
0.25	4.00	27821H	19707H	14780H	10749H	9095H
0.20	5.00	34777H	24633H	18475H	13436H	11369H
0.10	10.00	69554H	49267H	36950H	26873H	22738H
0.05	20.00	139108H	98535H	73901H	53746H	45477H
0.03	30.00	231847H	164225H	123169H	89577H	75796H

■音声ありの状態で460GBのハードディスクに記録した場合（領域を99%使用した場合）

記録レート（フィールド／秒）	記録周期（秒）	録画時間				
		BASIC	NORMAL	ENHANCED	FINE	SUPER FINE
		15kB	22kB	30kB	42kB	50kB
60.00	0.02	109H	78H	59H	43H	37H
30.00	0.03	218H	157H	119H	87H	74H
20.00	0.05	328H	236H	179H	131H	111H
15.00	0.07	437H	315H	238H	175H	148H
10.00	0.10	656H	472H	358H	262H	223H
7.50	0.13	829H	606H	463H	342H	291H
6.00	0.17	1037H	757H	579H	428H	364H
5.00	0.20	1244H	909H	695H	514H	437H
4.29	0.23	1378H	1020H	787H	586H	501H
3.75	0.27	1576H	1167H	900H	670H	573H
3.33	0.30	1775H	1315H	1014H	755H	645H
3.00	0.33	1876H	1407H	1094H	821H	703H
2.73	0.37	2062H	1546H	1203H	902H	773H
2.31	0.43	2326H	1765H	1383H	1044H	898H
2.00	0.50	2687H	2038H	1597H	1206H	1037H
1.67	0.60	3078H	2360H	1863H	1416H	1220H
1.43	0.70	3445H	2667H	2120H	1621H	1401H
1.25	0.80	3783H	2956H	2364H	1819H	1576H
1.11	0.90	4097H	3228H	2598H	2009H	1746H
1.00	1.00	4379H	3477H	2815H	2189H	1907H
0.50	2.00	13910H	9853H	7390H	5374H	4547H
0.33	3.03	21077H	14929H	11197H	8143H	6890H
0.25	4.00	27821H	19707H	14780H	10749H	9095H
0.20	5.00	34777H	24633H	18475H	13436H	11369H
0.10	10.00	69554H	49267H	36950H	26873H	22738H
0.05	20.00	139108H	98535H	73901H	53746H	45477H
0.03	33.33	231847H	164225H	123169H	89577H	75796H

音声記録可能領域

音声記録不可領域

記録レート設定／プリアラーム録画時間一覧表

■記録レート設定

記録レート（FPS）	通常記録（注1）	アラーム記録	プリアラーム記録（注2）	プログラム記録（注1）
60	○（注3）	×	×	×
30	○	○	○	○
20	○	○	○	×
15	○	○	○	○
10	○	○	○	×
7.5	○	○	○	○
6	○	○	○	×
5	○	○	○	×
4.286	○	○	○	×
3.75	○	○	○	○
3.333	○	○	○	×
3	○	○	○	×
2.727	○	○	○	×
2.308	○	○	○	×
2	○	○	○	×
1.875	×	×	×	○
1.667	○	○	○	×
1.429	○	○	○	×
1.25	○	○	○	×
1.111	○	○	○	×
1	○	○	○	○
0.5	○	○	×	○
0.333	○	○	×	○
0.25	○	○	×	○
0.2	○	○	×	○
0.1	○	○	×	○
0.05	○	○	×	○
0.033	○	○	×	○
切	×	×	×	○

（注1）ミラーリング“入”やプリアラーム記録“入”に設定している場合は、設定可能なレートが制限されます。
（注2）ミラーリング“入”に設定している場合は、設定可能なレートが制限されます。
（注3）カメラ1台を接続したときは、記録レートの設定はできますが表示は30FPSとなります。
● プログラム記録では、各チャンネル（CH）毎の記録レートを設定します。各CHで設定可能なレートは、自動計算されます。

■プリアラーム録画時間

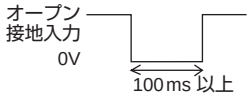
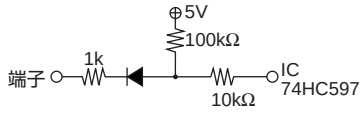
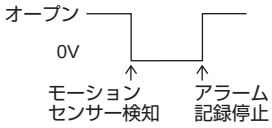
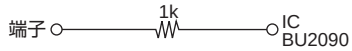
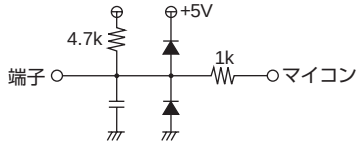
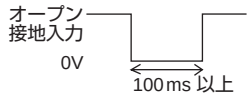
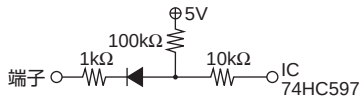
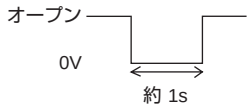
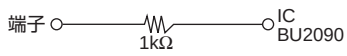
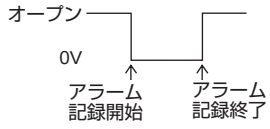
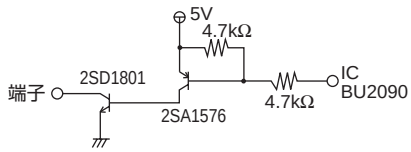
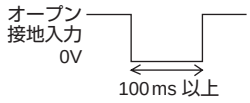
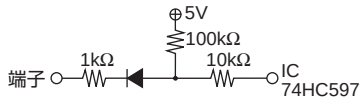
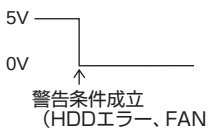
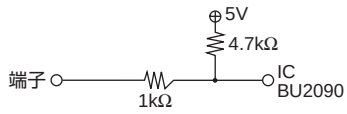
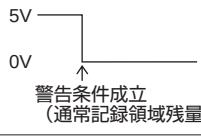
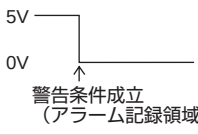
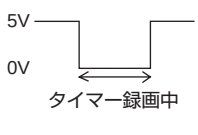
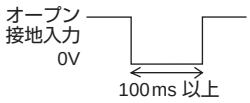
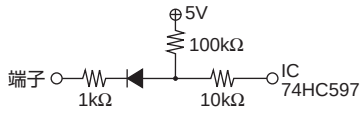
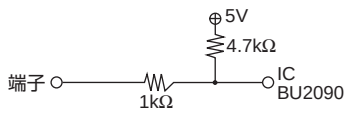
プリアラーム録画時の録画時間一覧表です。プリアラーム録画をするときにご覧ください。

記録レート（フィールド／秒）	記録時間（メニュー画面上での時間表示　sec：秒　m：分）											
	3s (3s)	5s (5s)	10s (10s)	20s (20s)	40s (40s)	60s (1m)	120s (2m)	180s (3m)	240s (4m)	300s (5m)	600s (10m)	900s (15m)
30.00	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20.00		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15.00		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10.00			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.50			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6.00			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5.00				○	○	○	○	○	○	○	○	○
4.29				○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.75				○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.33				○	○	○	○	○	○	○	○	○
3.00				○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.73				○	○	○	○	○	○	○	○	○
2.31					○	○	○	○	○	○	○	○
2.00					○	○	○	○	○	○	○	○
1.67						○	○	○	○	○	○	○
1.43						○	○	○	○	○	○	○
1.25						○	○	○	○	○	○	○
1.11						○	○	○	○	○	○	○
1.00						○	○	○	○	○	○	○

□ 初期設定値、記録レート：15FPS、記録時間：1分とします。

メニューでのアラーム持続時間の設定では、設定された記録レートで可能な持続時間しか設定できません。
また、記録レートを設定する場合には、設定された持続時間で可能な範囲でしか設定できません。たとえば、アラーム持続時間を3秒に設定した場合、記録レートは、30FPSしか選択できません。
速い記録レートを設定する場合は、一旦アラーム持続時間の設定を変更しないと設定できません。

プッシュロック端子仕様

入出力端子	信号レベル	入出力回路
<アラーム入力> [無電圧メーク接点]		
<モーションセンサー出力> [オープンコレクタ/ 1kΩ、Lowレベルアクティブ （最大25mA）]		
<コントロール端子>	（P12参照）	
リモート入力（R1、R2） [2線式電圧制御方式]		
時計合わせ入力 [無電圧メーク接点]		
時計合わせ出力 [オープンコレクタ/1kΩ Lowレベルアクティブ]		
アラーム総合出力 [オープンコレクタ/ Lowレベルアクティブ （最大500mA）]		
アラームリセット [無電圧メーク接点]		
警告出力 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]		
残量 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]		
アラーム残量 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]		
タイマー録画出力 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]		
外部タイマー入力 [無電圧メーク接点]		
出力選択 [DC5V/5.7kΩ、Active Low]		

アフターサービスについて

この商品は「保証書」を別途添付しております。
保証書は販売店（または工事店）でお渡しいたします。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間はお買い上げ日から1年間です

- 正常な使用状態で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書記載内容により、お買い上げの販売店（または工事店）が修理いたします。その他の詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店（または工事店）にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。
- 本機（フレームスイッチャー機能付きハードディスクデジタルレコーダー）が故障した場合、稼働していない時間に対する営業損失は補償対象外になります。

■定期点検・保守について

特に監視用などでご使用の場合は、定期点検・保守の実施をおすすめします。
詳しくは、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

■補修用性能部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、8年保有しています。
なお、保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な場合は、お買い上げ販売店（または工事店）にご相談ください。

修理を依頼されるときは

下記の事項をお買い上げ販売店（または工事店）にご連絡ください。

① 故障の状況（できるだけくわしく）

② 品名と品番
（フレームスイッチャー機能付き
ハードディスクデジタルレコーダー
VDH-F610A）

③ お買い上げ年月日（保証書に記入）

④ 製造番号（保証書に記入）

⑤ お名前、おところ、電話番号

メモ

修理相談窓口

三洋コンシューママーケティング株式会社
受付時間　月曜日～金曜日　9:00～18:30
土曜日・日曜日・祝日　9:00～17:30

修理や部品に関するご相談は、お買い上げ販売店、または下記電話番号にお問い合わせください(修理相談窓口の名称・電話番号は変更することがあります)。

◆東コールセンター　東京　☎（03）5302-3401
◆西コールセンター　大阪　☎（06）4250-8400

関東・首都圏及び近畿地区以外にお住まいのお客さまは、下記の電話をご利用いただけます。

◆東コールセンターへの転送電話番号
●北海道地区　札幌　☎（011）833-7888
●東北地区　仙台　☎（022）382-2213
●長野地区　長野　☎（0263）26-1772
●新潟地区　新潟　☎（025）285-2451
●福島地区　福島　☎（024）945-6811

◆西コールセンターへの転送電話番号
●北陸地区　金沢　☎（076）237-6650
●東海地区　名古屋　☎（052）979-3456
●中国地区　広島　☎（082）293-9333
●四国地区　高松　☎（087）844-8321
●九州地区　福岡　☎（092）922-9311

◆沖縄地区　沖縄　☎（098）944-5018
受付時間　月曜日～土曜日(日曜日、祝日、および当社の休日を除く)
9:00～12:00、13:00～17:30

修理相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

修理相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞

- 修理相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。
  なお、この目的のために三洋電機(株)および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

お客さまメモ

お買い上げの際に記入してください。お問い合わせのときに便利です。

お買い上げ年月日	年　月　日
お買い上げ店名	
電話番号	(　　)　　ー

三洋電機システムソリューションズ株式会社

システム事業ビジネスユニット　システム東部営業部　CCTV東日本営業所
〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目22番5号　☎ 東京（03）5803-3545
経営企画ユニット　システム事業推進部　CCTV推進課
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号　☎ 大東（072）870-6133

三洋電機株式会社

パーソナルエレクトロニクスグループ
DIカンパニー DSシステム ビジネスユニット
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号　☎ 大東（072）870-6277

この取扱説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

1AC6P1P3046--
L8HBM/JP2 (0306KR-SY)